

# 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

## 報 告 書

平成 31 年 2 月

東広島市



# 目 次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	
1	属性	2
2	家族の状況	
(1)	主な教育者	5
(2)	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	6
3	両親の就労状況	
(1)	母親の就労状況	8
(2)	父親の就労状況	11
(3)	共働きの状況	12
4	教育・保育事業の利用	
(1)	教育・保育事業の利用状況	13
(2)	教育・保育事業の利用希望	18
5	幼児教育・保育の無償化	
(1)	幼児教育・保育が無償化された場合の就労・通学状況の変更希望	24
(2)	就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設	25
6	育児休業	
(1)	育児休業取得状況	26
(2)	保育所（園）等に入れる場合の取得期間の希望	30
7	病気の際の対応	
(1)	病気等により幼稚園・保育所等を利用できなかった経験	31
(2)	病児・病後児保育施設の利用希望	33
8	不定期の保育事業	
(1)	不定期に利用したサービス	34
(2)	不定期に子どもを預ける事業の利用希望	36
(3)	保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験	37
9	放課後の過ごし方	
(1)	放課後の過ごし方	38
(2)	放課後子ども教室の利用希望	40
(3)	ファミリー・サポート・センターの利用希望	41
(4)	放課後児童クラブの利用希望	42
(5)	放課後児童クラブの満足度	46
(6)	放課後児童クラブに希望すること	46

10	子育て支援センター	
(1)	子育て支援センターの利用状況	47
(2)	今後の子育て支援センターの利用希望	51
(3)	子育て支援センター以外の支援施設の利用状況	52
11	子育て全般	
(1)	理想と現実の子どもの人数	53
(2)	子育ての楽しさの程度	55
(3)	子育てへの不安や負担の程度	56
(4)	子育ての悩み	57
(5)	相談先の有無	62
(6)	公的な相談窓口の利用のしやすさ	68
(8)	子育てに関する情報の入手方法	70
(9)	子育てに関する情報の入手状況	71
(10)	「出産・育児サポートセンターすくすく」の認知度	75
(11)	健康づくり支援の満足度	80
(12)	教育・保育事業や一時的な保育を行う事業の満足度	84
(13)	子どもの地域交流や体験の満足度	88
(14)	子どもの地域交流や体験場の参加希望	89
(15)	近所付き合いの程度	90
(16)	地域の人々や社会全体の支えの感じ方	91
(17)	地域の子育て環境や支援への満足度	93
(18)	東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか	94

# I 調査の概要

## 1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育て支援について要望を把握し、幼児教育・保育事業、地域子育て支援事業の「量の見込み」の算出など、東広島市子ども・子育て支援事業計画の基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査方法

- (1) 調査地域 東広島市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配付・郵送及びインターネットによる回収  
督促状1回発送
- (4) 調査対象 就学前児童 3,500世帯・小学生 3,000世帯
- (5) 調査時期 平成30年10月18日～平成30年11月5日（平成31年1月17日回収分まで含む）

## 3 回収結果

	配布数 (票)	有効回収数(票)		有効回答率 (%)
		郵送回収	インターネットによる回収	
就学前児童	3,500票	2,064票		59.0%
		1,902票	162票	
小学生	3,000票	1,756票		58.5%
		1,638票	118票	

## 4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 年齢・地域別分析の精度を高めるため、人口比率の小さい年齢・地域別の抽出率を高くして対象者の抽出を行った。そのため、年齢・地域別回答数の母集団に占める割合の差を調整するために、回収数の母集団比率が最も高い年齢・地域を基準とした係数を乗じ、母集団の年齢・地域比率に補正した規正標本数をもって集計を行っている。

## II 調査結果

### 1 属性

\* 規正標本数とは、母集団の年齢・地域比率に補正し、集計した数値であり、小数点第 1 位を四捨五入している

#### (1) 年齢・学年

##### (就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
0歳	534	412	20.0%
1歳	364	315	15.2%
2歳	363	314	15.2%
3歳	271	345	16.7%
4歳	258	334	16.2%
5歳	264	334	16.2%
無回答	10	10	0.5%

##### (小学生)

	回答数	規正標本数	割合
1年生	309	309	17.6%
2年生	292	295	16.8%
3年生	277	278	15.8%
4年生	316	315	17.9%
5年生	291	287	16.3%
6年生	267	269	15.3%
無回答	4	4	0.2%

#### (2) 居住地区

##### (就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
西条地区	877	1,119	54.2%
八本松地区	320	348	16.8%
志和地区	71	36	1.7%
高屋地区	298	251	12.1%
黒瀬地区	233	180	8.7%
福富地区	23	13	0.6%
豊栄地区	26	14	0.7%
河内地区	88	40	1.9%
安芸津地区	114	50	2.4%
無回答	14	14	0.7%

##### (小学生)

	回答数	規正標本数	割合
西条地区	736	847	48.2%
八本松地区	236	284	16.2%
志和地区	72	39	2.2%
高屋地区	267	283	16.1%
黒瀬地区	206	173	9.9%
福富地区	32	14	0.8%
豊栄地区	27	14	0.8%
河内地区	67	36	2.1%
安芸津地区	99	52	3.0%
無回答	14	14	0.8%

#### (3)-1 世帯構成

##### (就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	1,839	1,883	91.2%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	190	156	7.6%
その他の世帯	32	21	1.0%
無回答	3	3	0.2%

##### (小学生)

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	1,489	1,519	86.5%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	243	215	12.2%
その他の世帯	23	21	1.2%
無回答	1	1	0.1%

(3)-2 世帯構成（ひとり親世帯の有無）

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	1,959	1,960	95.0%
母子世帯	94	93	4.5%
父子世帯	4	5	0.2%
その他の世帯	-	-	-
無回答	7	6	0.3%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	1,538	1,538	87.6%
母子世帯	147	145	8.3%
父子世帯	23	23	1.3%
その他の世帯	2	2	0.1%
無回答	46	48	2.7%

(4) 両親の状況

<父親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,917	1,919	93.0%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	47	48	2.3%
死亡、離婚、未婚などでいない	94	93	4.5%
無回答	6	5	0.2%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,521	1,524	86.8%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	73	72	4.1%
死亡、離婚、未婚などでいない	153	151	8.6%
無回答	9	9	0.5%

<母親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	2,055	2,054	99.5%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	2	3	0.1%
死亡、離婚、未婚などでいない	5	6	0.3%
無回答	2	2	0.1%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,683	1,681	95.7%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	6	6	0.4%
死亡、離婚、未婚などでいない	28	28	1.6%
無回答	39	41	2.3%

(5) きょうだいの人数

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
1人	658	652	31.6%
2人	917	947	45.9%
3人以上	482	459	22.2%
無回答	7	7	0.3%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
1人	446	451	25.7%
2人	885	898	51.2%
3人以上	420	401	22.8%
無回答	5	5	0.3%

(6) 末子の年齢

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
0歳	335	253	18.0%
1歳	213	183	13.0%
2歳	235	208	14.8%
3歳	177	228	16.2%
4歳	164	208	14.8%
5歳	167	212	15.1%
無回答	108	113	8.0%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
5歳以下	14	14	1.1%
6歳	202	201	15.5%
7歳	202	202	15.5%
8歳	183	183	14.1%
9歳	220	218	16.8%
10歳	197	193	14.9%
11歳	177	177	13.6%
無回答	110	111	8.5%

(7) 調査票回答者

(就学前児童)

	回答数	規正標本数	割合
母親	1,939	1,929	93.5%
父親	120	130	6.3%
その他	5	5	0.2%
無回答	1	1	0.0%

(小学生)

	回答数	規正標本数	割合
母親	1,558	1,563	89.0%
父親	186	180	10.3%
その他	12	13	0.7%
無回答	1	1	0.1%

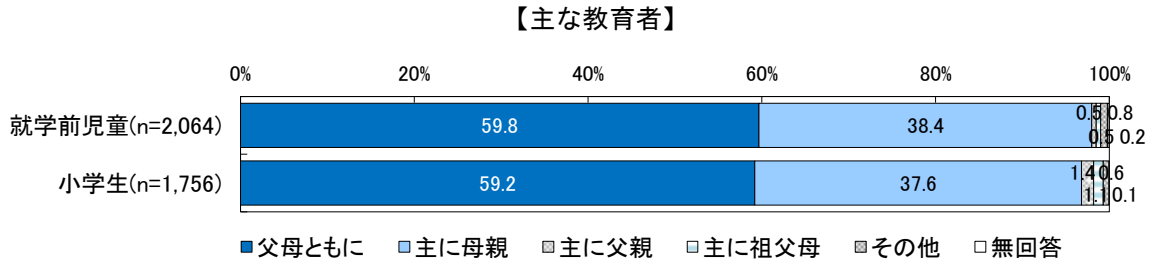


## 2 家族の状況

### (1) 主な教育者

問6 就学前児童・問7 小学生

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で回答してください。【〇は1つ】



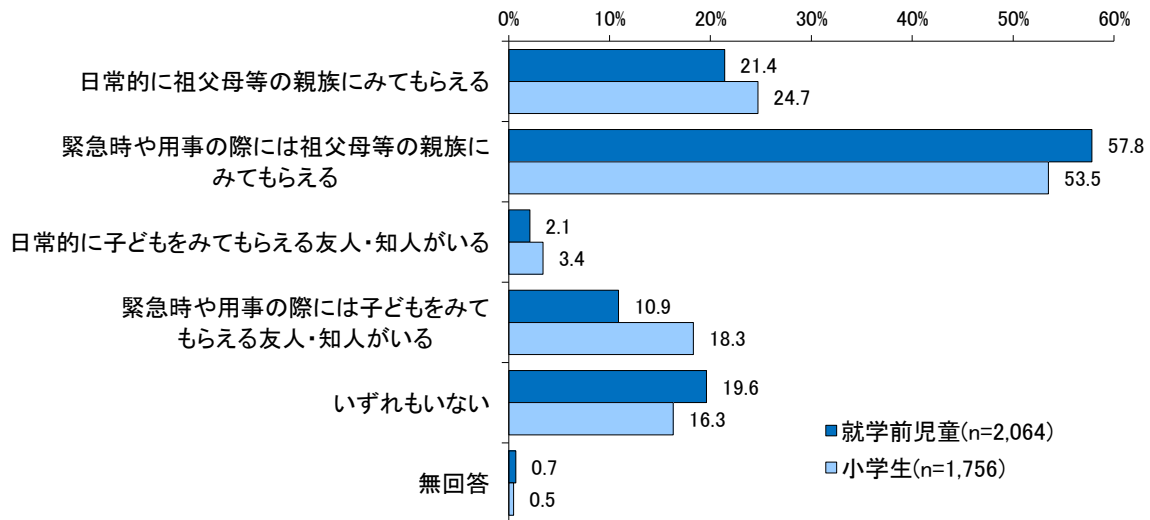
主な教育者について、「父母ともに」と回答した割合が就学前児童で59.8%、小学生で59.2%となっている。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問8 就学前児童・小学生

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】



子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で21.4%、小学生で24.7%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で57.8%、小学生で53.5%となっている。

また、子どもをみてもらえる友人の有無について、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が就学前児童で2.1%、小学生で3.4%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が就学前児童で10.9%、小学生で18.3%となっている。

一方、「いずれもない」と回答した割合は就学前児童で19.6%、小学生で16.3%となっている。

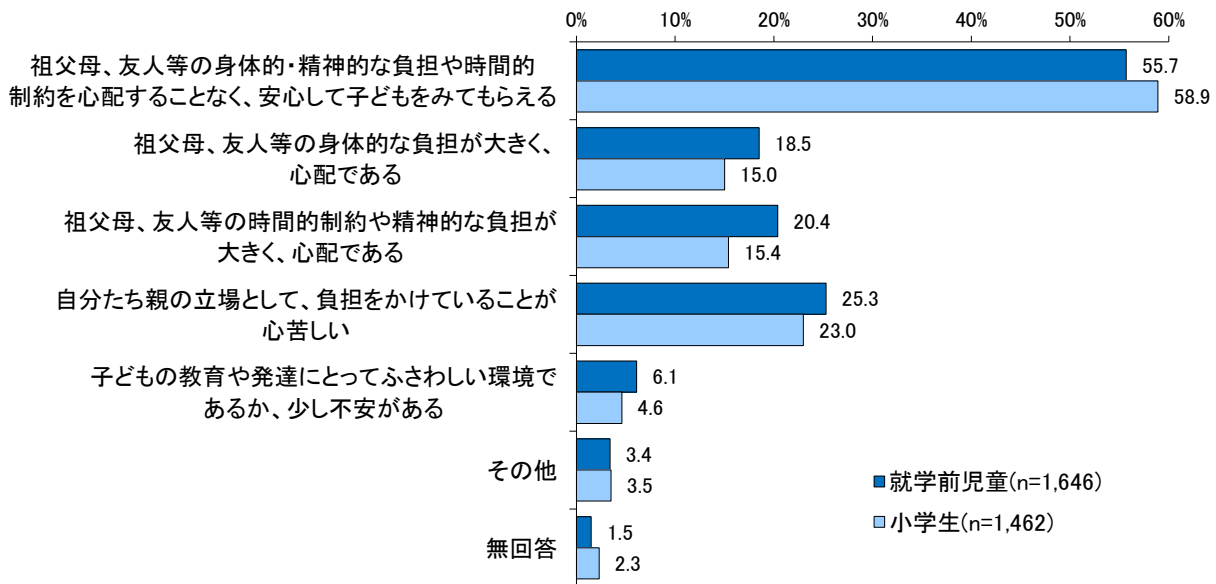
問8で「1」から「4」と回答した人のみ回答

問8-1 就学前児童・小学生

祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の状況】



子どもをみてもらえる親族・知人の状況について、「祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で55.7%、小学生で58.9%となっている。

一方、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合が就学前児童で25.3%、小学生で23.0%となっているなど、子どもをみてもらえる親族・知人がいても何らかの心配や心苦しい状況を回答した割合は就学前児童で39.4%、小学生で35.3%となっている。

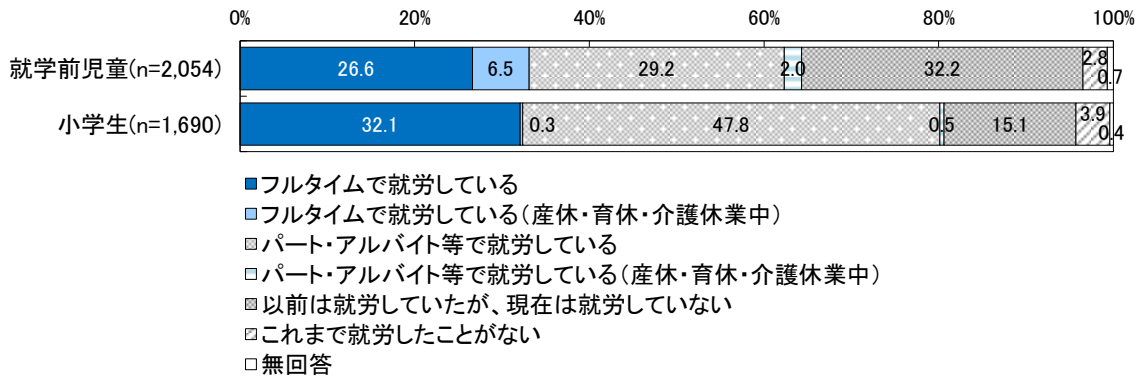
### 3 両親の就労状況

#### (1) 母親の就労状況

##### 問9 就学前児童・小学生

お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

【母親の就労状況】



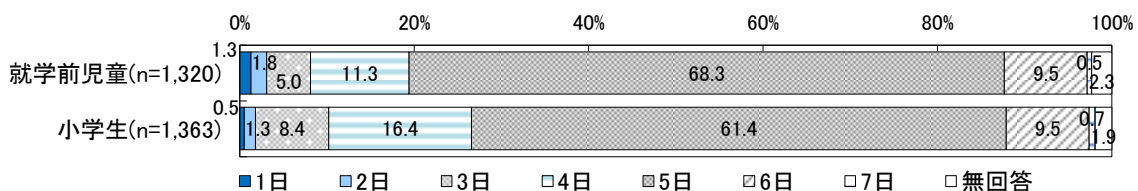
母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で33.1%、小学生で32.4%、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合が就学前児童で31.2%、小学生で48.3%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）と回答した割合が就学前児童で35.0%、小学生で19.0%となっている。

#### 問9で「1」から「4」と回答した人のみ回答

##### 問9-1 就学前児童・小学生

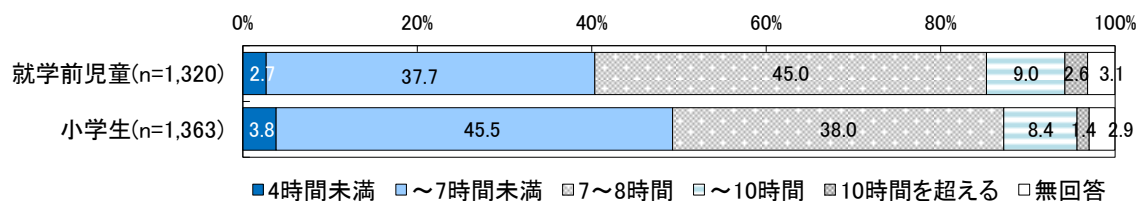
お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、土曜日・日曜日の勤務状況を回答してください。【数字を記入・土日の勤務は○は1つ】

【母親の1週当たりの就労日数】



母親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で68.3%、小学生で61.4%、「4日」と回答した割合が就学前児童で11.3%、小学生で16.4%となっている。

### 【母親の1日当たりの就労時間】



母親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」と回答した割合が就学前児童で45.0%、小学生で38.0%となっている。

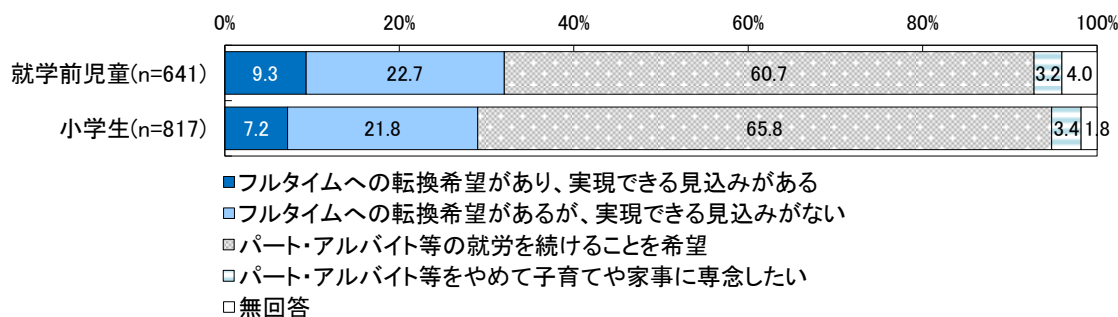
また、『8時間を超える』割合が就学前児童で11.6%、小学生で9.8%となっている。

問9で「3 パート・アルバイト等」または「4 パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」と回答した人のみ回答

#### 問9-2 就学前児童・小学生

お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

### 【母親のフルタイムへの転換希望】



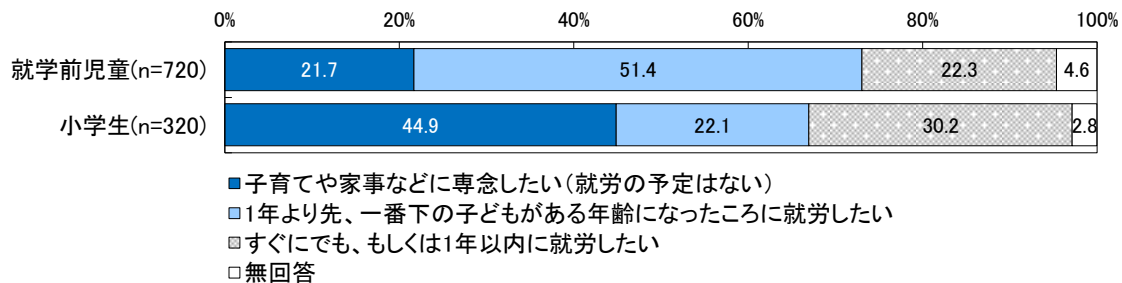
母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合が就学前児童で32.0%、小学生で29.0%となっている。

問9で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」と回答した人のみ回答

問9-3 就学前児童・小学生

お母さんは就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】

【母親の就労希望】



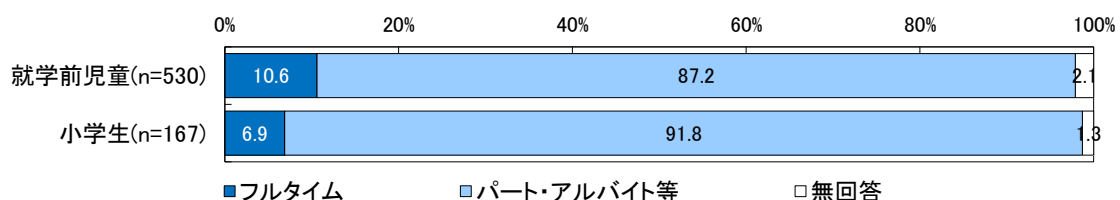
母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が就学前児童で22.3%、小学生で30.2%、「1年より先、一番下の子どもがある年齢になったら就労したい」と回答した割合が就学前児童で51.4%、小学生で22.1%となっている。

問9-3で「2」または「3」と回答した人のみ回答

問9-4 就学前児童・小学生

希望する就労形態を回答してください。【〇は1つ】

【母親の希望の就労形態】



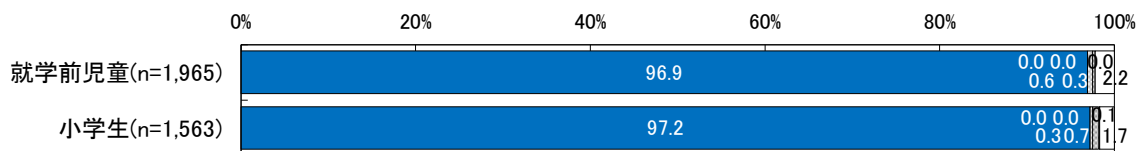
母親の希望の就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が就学前児童で10.6%、小学生で6.9%、「パート・アルバイト等」と回答した割合が就学前児童で87.2%、小学生で91.8%となっている。

(2) 父親の就労状況

問 10 就学前児童・小学生

お父さんの就労状況を回答してください。【〇は1つ】

【父親の就労状況】



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中)
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労している(産休・育休・介護休業中)
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

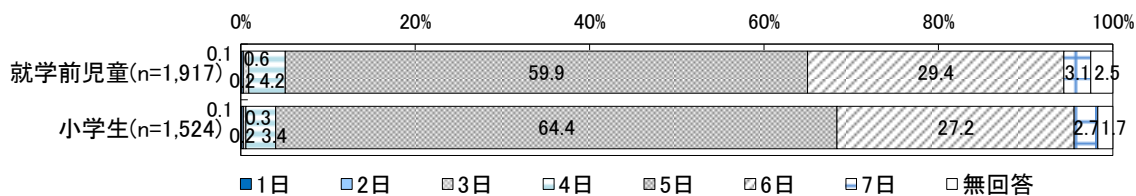
父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で 96.9%、小学生で 97.2%となっている。

問 10 で「1」から「4」と回答した人のみ回答

問 10-1 就学前児童・小学生

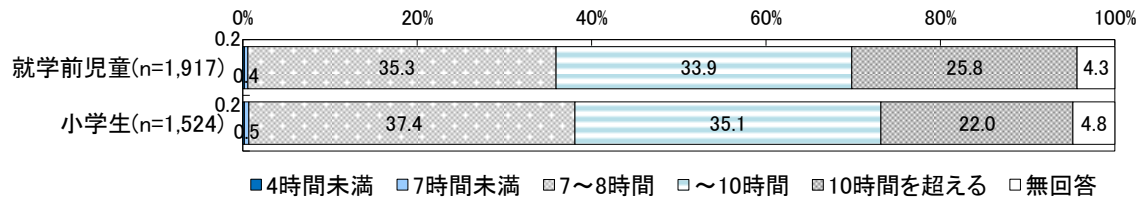
お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、土曜日・日曜日の勤務状況を回答してください。【数字を記入・土日の勤務は〇は1つ】

【父親の1週当たりの就労日数】



父親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で 59.9%、小学生で 64.4%と最も高く、次いで「6日」と回答した割合が就学前児童で 29.4%、小学生で 27.2%となっている。

### 【父親の1日当たりの就労時間】

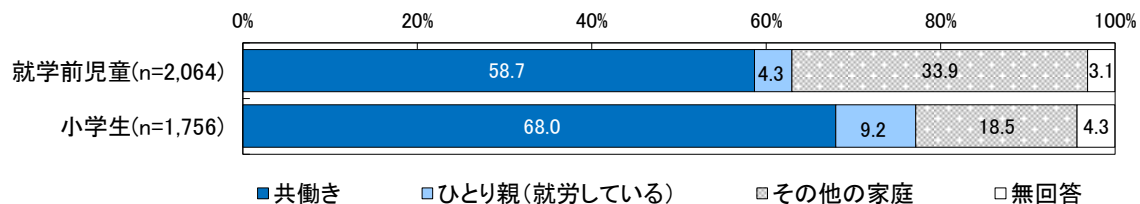


父親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」と回答した割合が就学前児童で35.3%、小学生で37.4%となっている。

また、「10時間を超える」と回答した割合が就学前児童で25.8%、小学生で22.0%となっている。

### (3) 共働きの状況

#### 【両親の共働きの状況】



母親、父親の就労状況による共働きの家庭の割合が就学前児童で58.7%、小学生で68.0%となっている。

また、ひとり親家庭で就労している家庭の割合が就学前児童で4.3%、小学生で9.2%となっている。



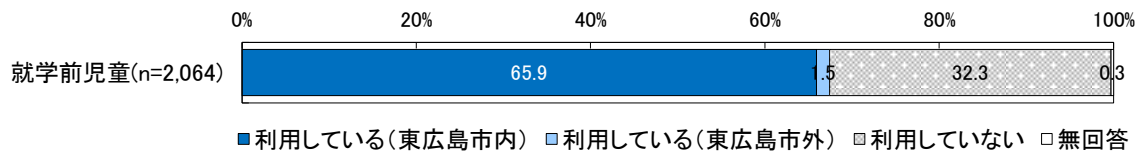
## 4 教育・保育事業の利用

### (1) 教育・保育事業の利用状況

#### 問 11 就学前児童

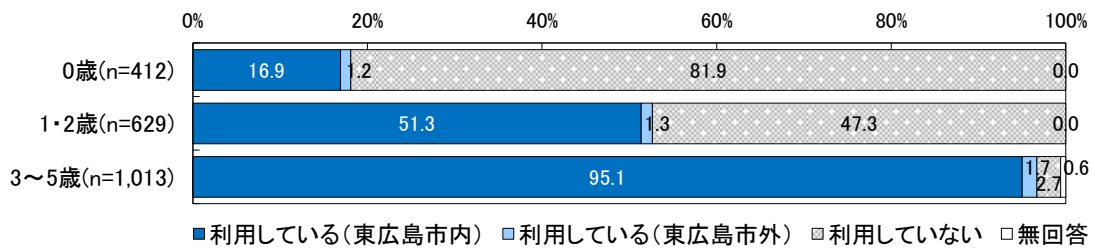
あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。【○は1つ】

【教育・保育事業の利用状況】



教育・保育事業の利用状況について、『利用している』（東広島市内+東広島市外）と回答した割合が 67.4%となっている。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・年齢別）】

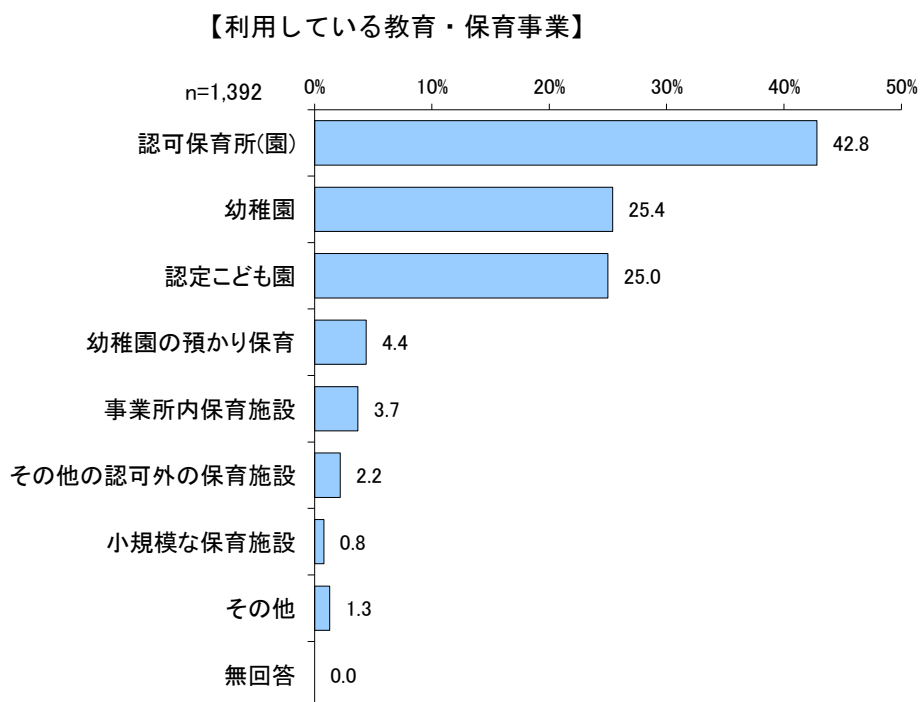


年齢別にみると、年齢が高くなるほど『利用している』と回答した割合が高くなっている。

問 11 で「1 利用している（東広島市内）」または「2 利用している（東広島市外）」と回答した人のみ回答

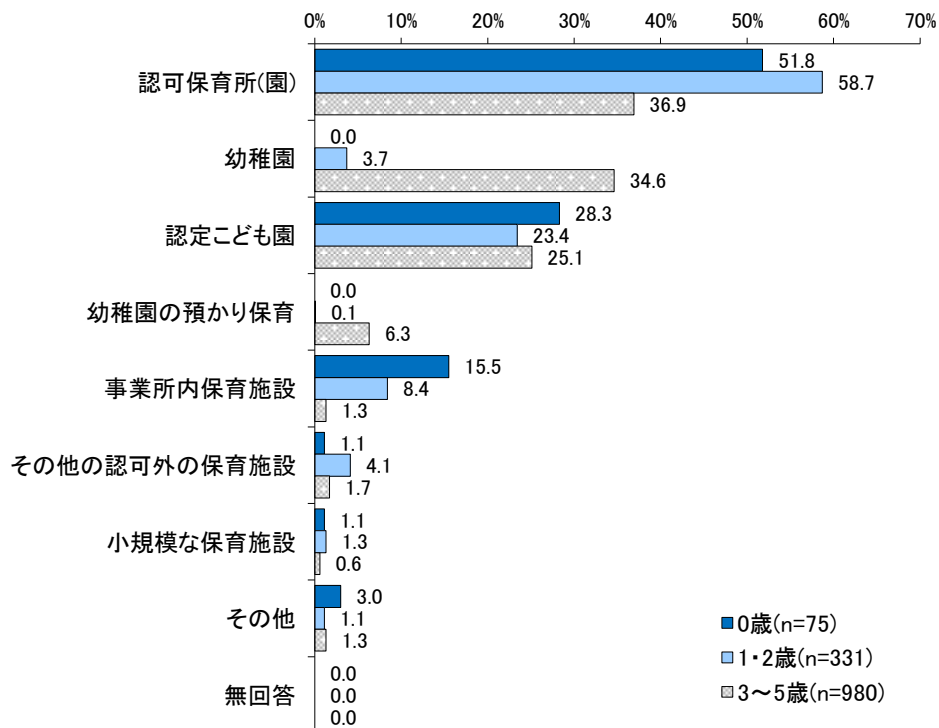
問 11-1 就学前児童

あて名のお子さんが、平日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



利用している教育・保育事業について、「認可保育所（園）」と回答した割合が 42.8%と最も高く、「幼稚園」（25.4%）、「認定こども園」（25.0%）が続いている。

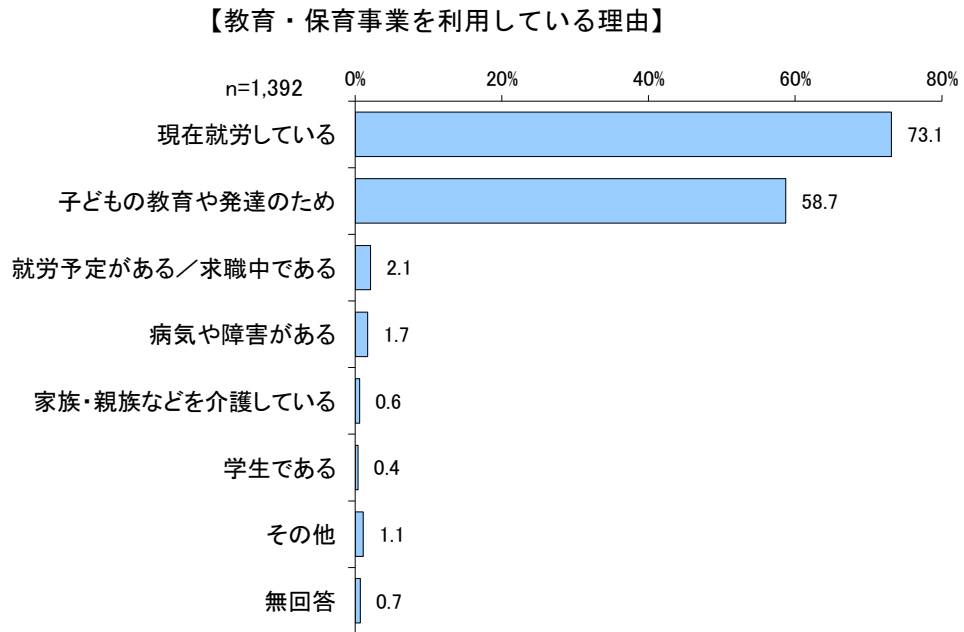
【利用している教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、0歳、1・2歳では「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」となっているが、3～5歳では「認可保育所（園）」と「幼稚園」がほぼ同様の値で高く、次いで「認定こども園」となっている。

問 11-2 就学前児童

平日、定期的に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用している理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



教育・保育事業を利用している理由について、「現在就労している」と回答した割合が 73.1% と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(58.7%) となっている。

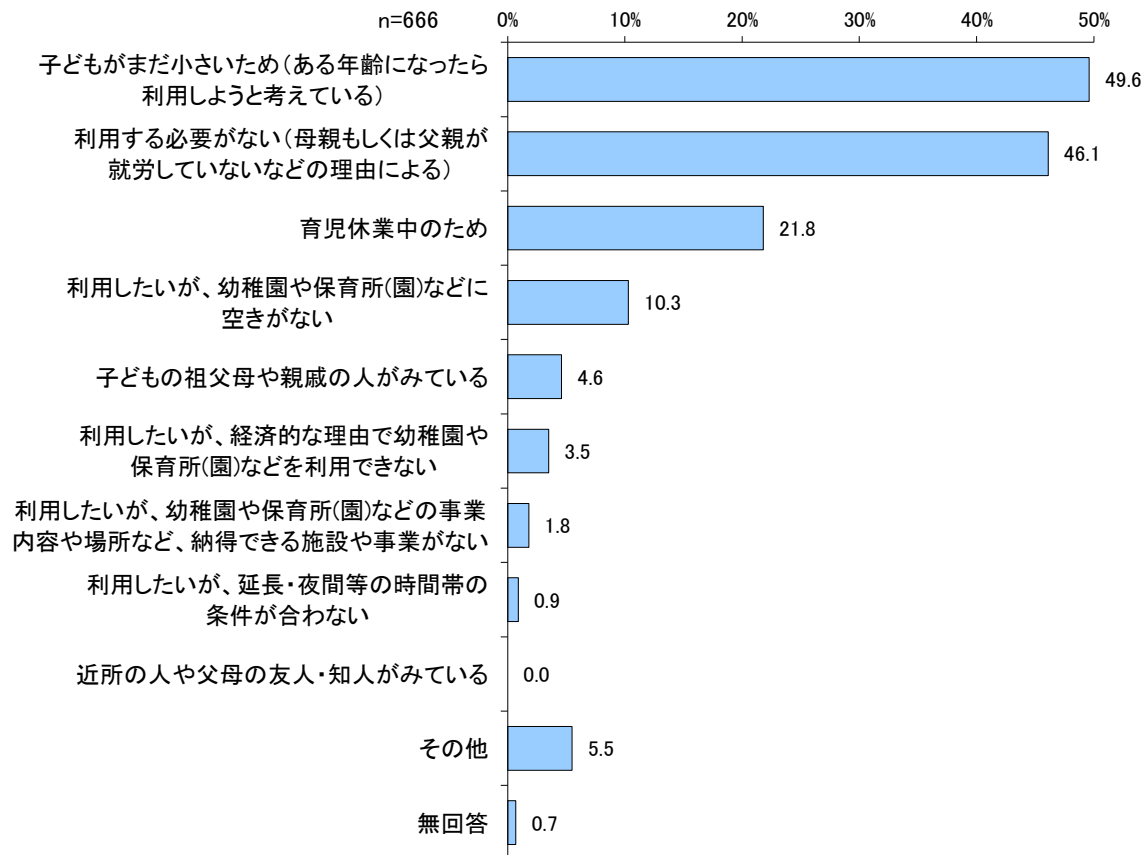
問 11 で「3 利用していない」と回答した人のみ回答

問 11-3 就学前児童

現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【教育・保育事業を利用していない理由】

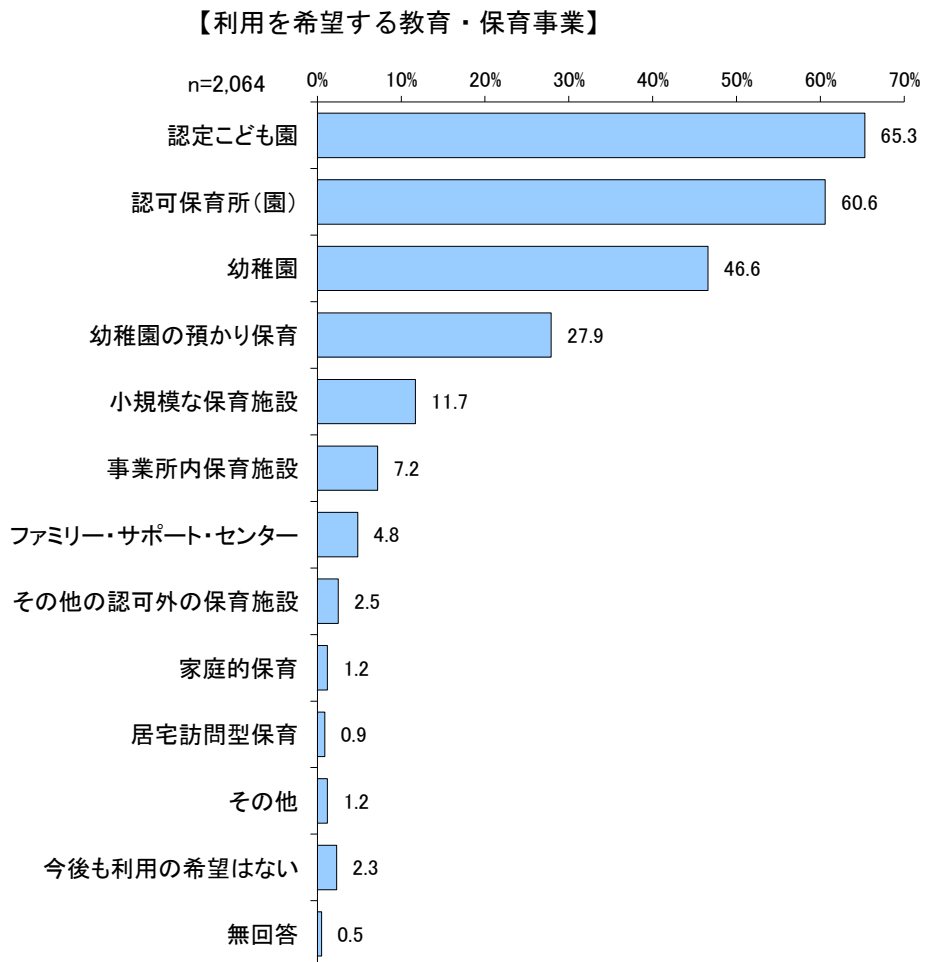


教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため(ある年齢になったら利用しようと考えている)」と回答した割合が 49.6%と最も高く、次いで「利用する必要がない(母親もしくは父親が就労していないなどの理由による)」(46.1%)となっている。

(2) 教育・保育事業の利用希望

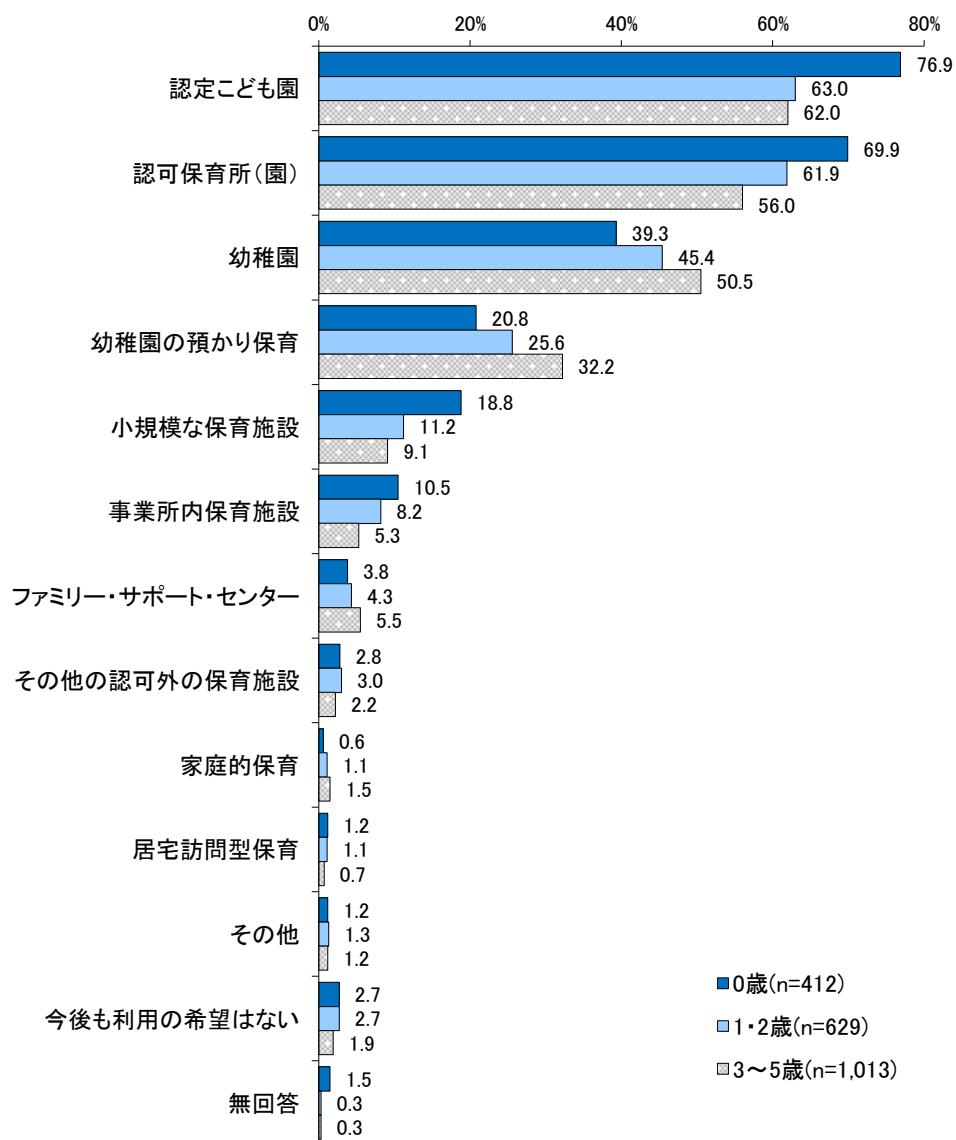
問 12 就学前児童

あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。【○は当てはまるものすべて】



利用を希望する教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 65.3%と最も高く、「認可保育所(園)」(60.6%)、「幼稚園」(46.6%)が続いている。

【利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】



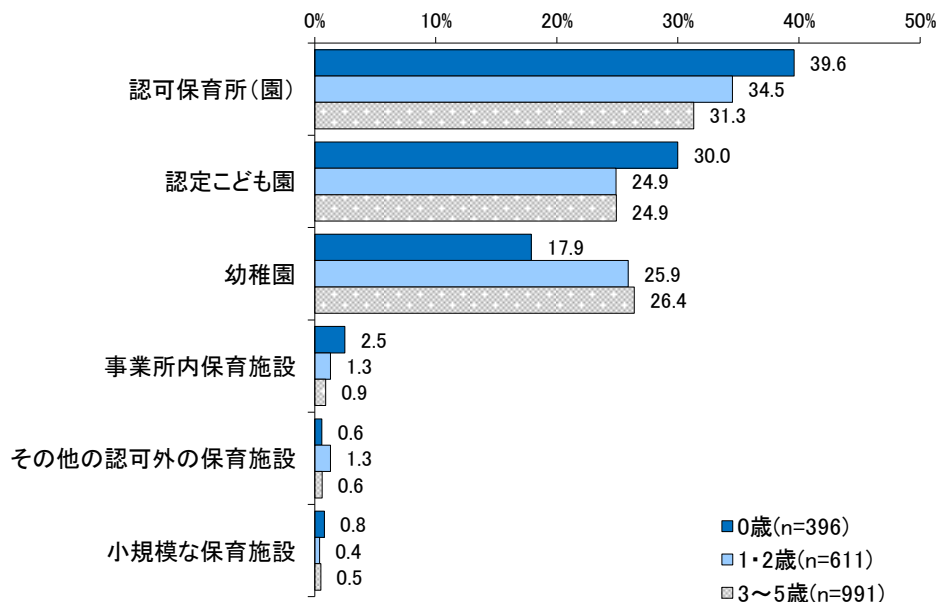
年齢別にみると、いずれの年齢も「認定こども園」と回答した割合が最も高く、「認可保育所(園)」、「幼稚園」が続いている。

また、年齢が高くなるほど「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」と回答した割合が高くなっている。

問 12-1 就学前児童

利用を希望する事業のうち、希望する順に上位3つを回答してください。【事業の番号を記入】

【1番目に利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別・上位6項目）】



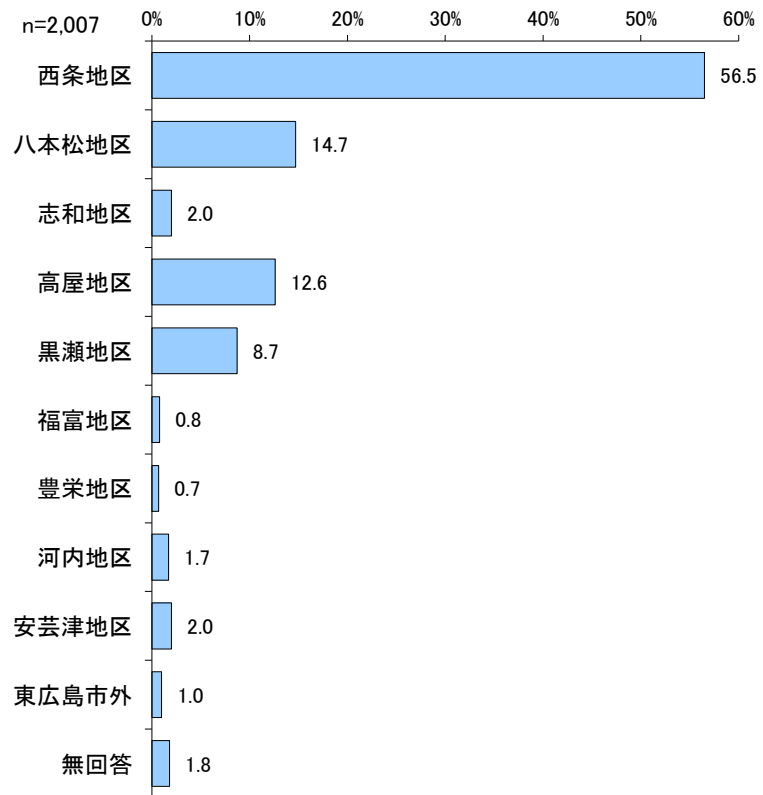
1番目に利用を希望する教育・保育事業について年齢別にみると、0歳では「認可保育所(園)」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」となっており、1・2歳、3～5歳では「認可保育所(園)」と回答した割合が最も高く、「幼稚園」、「認定こども園」がほぼ同様の値で続いている。



問 12-2 就学前児童

どの地区の教育・保育施設を利用したいですか。【〇は最も希望する地区を1つ】

【教育・保育事業の利用を希望する地区】

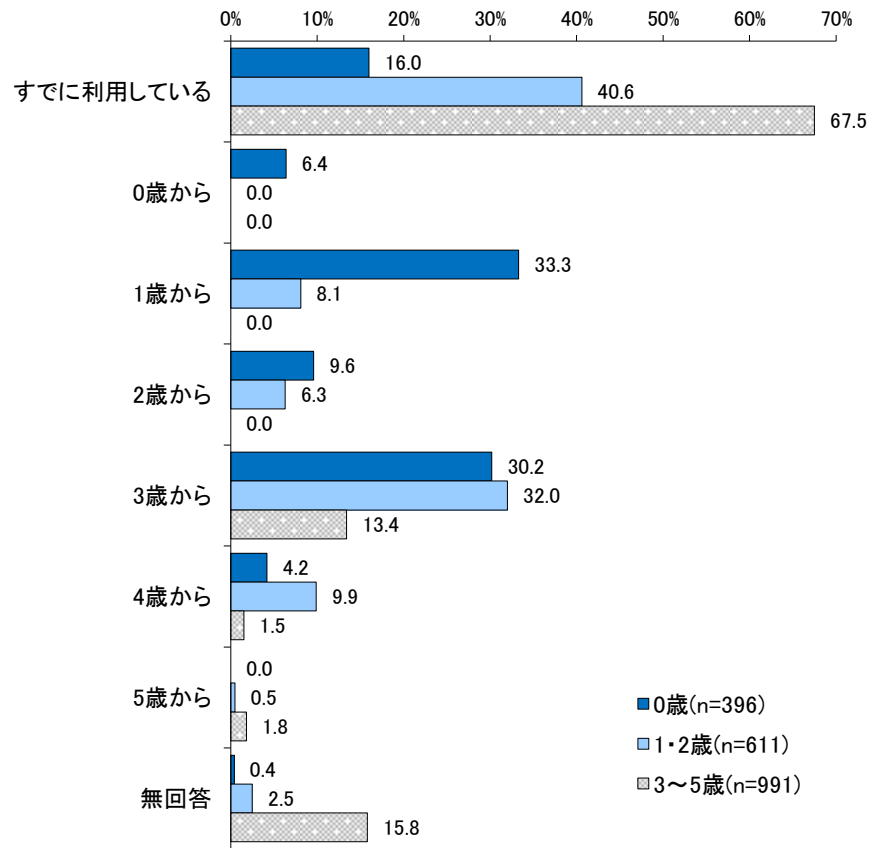


教育・保育事業の利用を希望する地区について、「西条地区」と回答した割合が 56.5%と最も高く、「八本松地区」(14.7%)、「高屋地区」(12.6%)、「黒瀬地区」(8.7%)が続いている。

問 12-3 就学前児童

お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。【〇は1つ】

【教育・保育事業の希望する利用開始年齢（就学前児童・年齢別）】

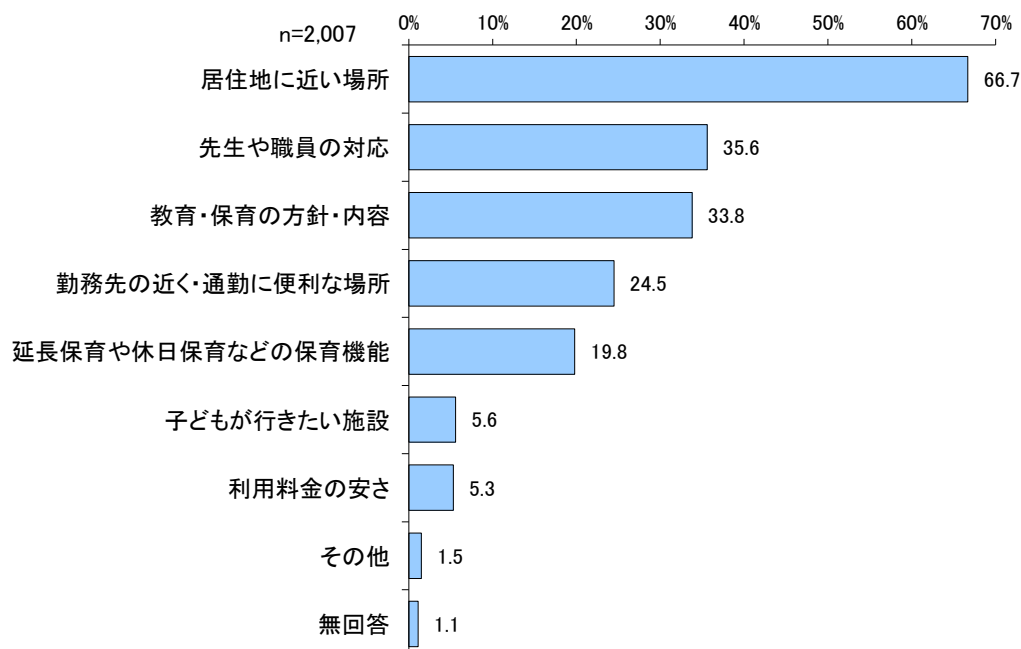


教育・保育事業の希望する利用開始年齢について年齢別にみると、0歳では「0歳から」と回答した割合が6.4%、「1歳から」と回答した割合が33.3%となっている。

問 12-4 就学前児童

幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を選ぶときに特に重視することを回答してください。【〇は2つまで】

【教育・保育事業を選ぶ際に重視すること】

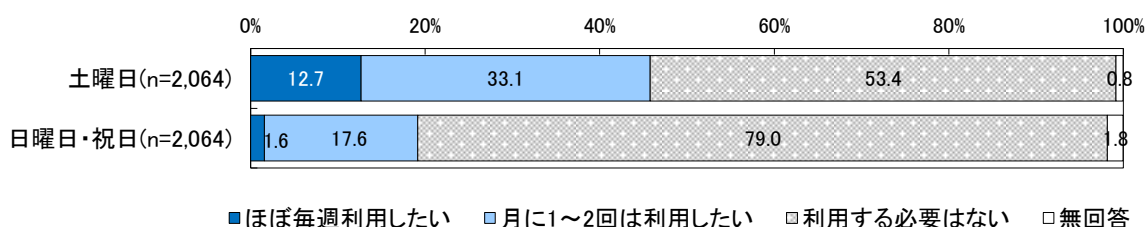


教育・保育事業を選ぶ際に重視することについて、「居住地に近い場所」と回答した割合が66.7%と最も高く、「先生や職員の対応」(35.6%)、「教育・保育の方針・内容」(33.8%)が続いている。

問 13 就学前児童

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用したいですか。【〇は1つ】

【土曜日・日曜日等の教育・保育事業の利用意向】



教育・保育事業の土曜日・日曜日・祝日の利用意向について、『利用したい』(「ほぼ毎週したい」+「月に1~2回は利用したい」と回答した割合は土曜日が45.8%、日曜日・祝日が19.2%となっている。

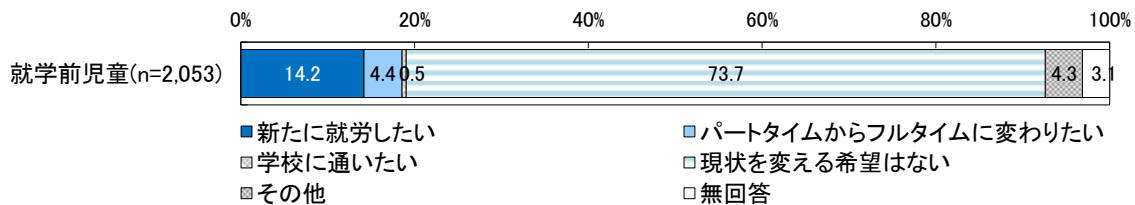
## 5 幼児教育・保育の無償化

### (1) 幼児教育・保育が無償化された場合の就労状況等の変更希望

#### 問 15 就学前児童

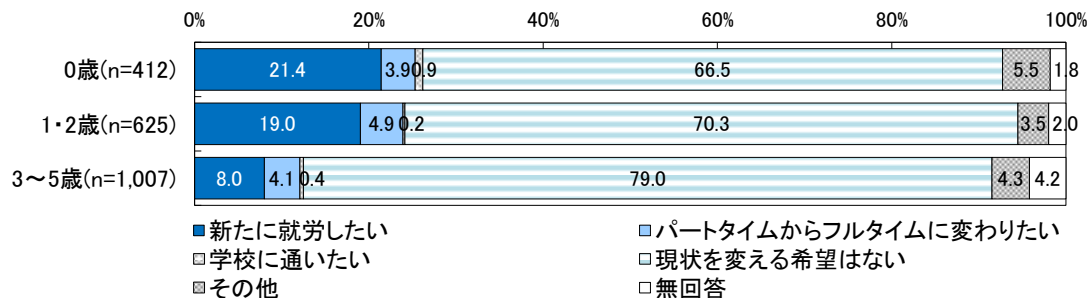
幼児教育・保育の無償化が実施された場合、あて名のお子さんのお母さん、お父さんは就労状況や通学状況を変える希望がありますか。【〇は1つ】

【幼児教育・保育が無償化された場合の就労状況等の変更希望（母親）】



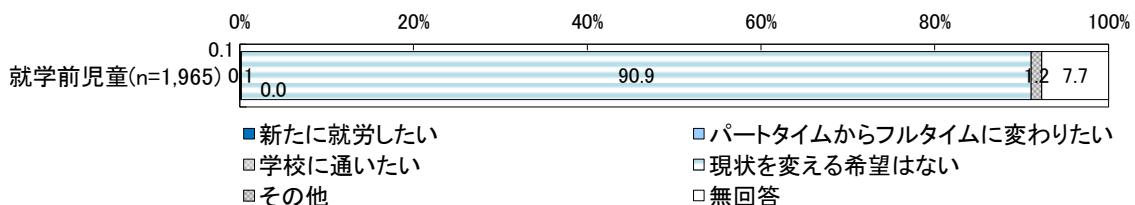
幼児教育・保育の無償化が実施された場合の母親の就労状況等の変更希望について、「新たに就労したい」と回答した割合が 14.2%、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合が 4.4%となっている。

【幼児教育・保育が無償化された場合の就労状況等の変更希望（母親）（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、3～5歳では「新たに就労したい」と回答した割合が 8.0%、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合が 4.1%となっている。

【幼児教育・保育が無償化された場合の就労状況等の変更希望（父親）】



幼児教育・保育が無償化された場合の父親の就労状況等の変更希望について、「新たに就労したい」、「パートタイムからフルタイムに変わりたい」と回答した割合がそれぞれ 0.1%となっている。

(2) 就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設

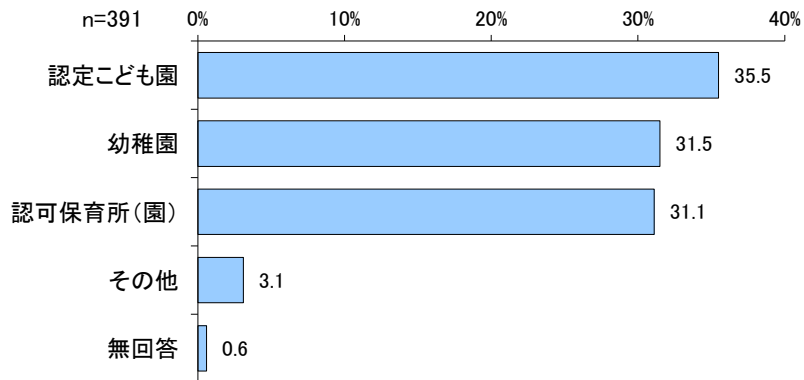
問 15 で「1」から「3」と回答した人のみ回答

問 16 就学前児童

就労や通学状況を変えた場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。

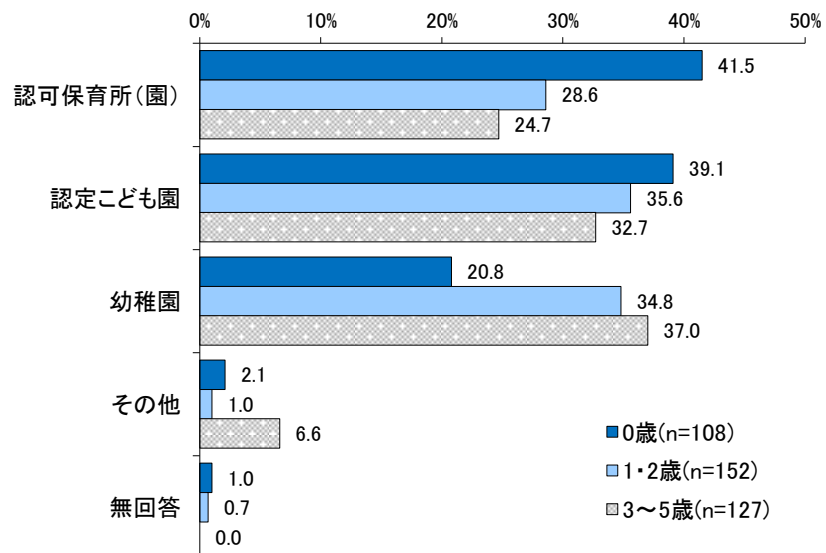
【〇は最も当てはまるもの1つ】

【就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設】



就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設について、「認定こども園」と回答した割合が 35.5%と最も高く、「幼稚園」(31.5%)、「認可保育所(園)」(31.1%)が続いている。

【就労・通学状況を変更した際に利用を希望する教育・保育施設 (就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、3～5歳では「幼稚園」と回答した割合が最も高く 37.0%で、「認定こども園」(32.7%)、「認可保育所(園)」(24.7%)が続いている。

## 6 育児休業

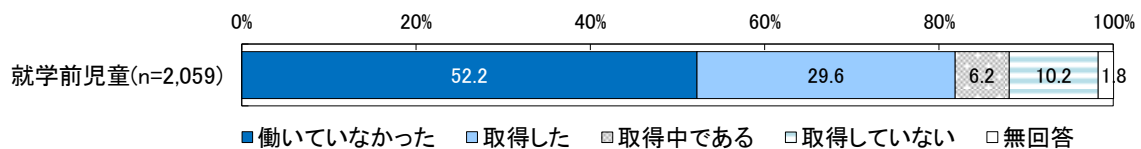
### (1) 育児休業取得状況

#### 問 17 就学前児童

あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんは育児休業を取得しましたか。

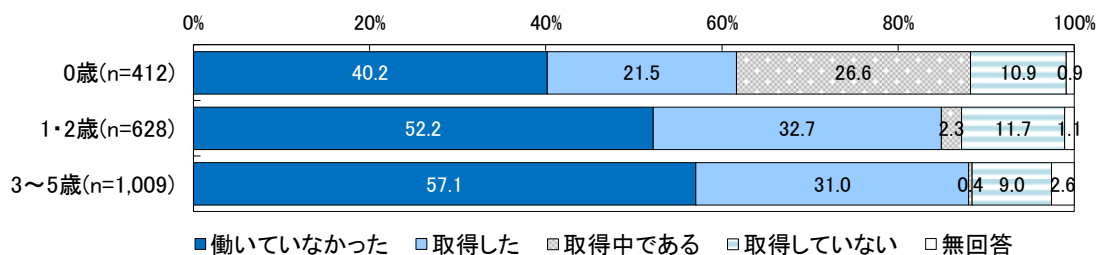
【○は1つ】

【育児休業取得状況（母親）】



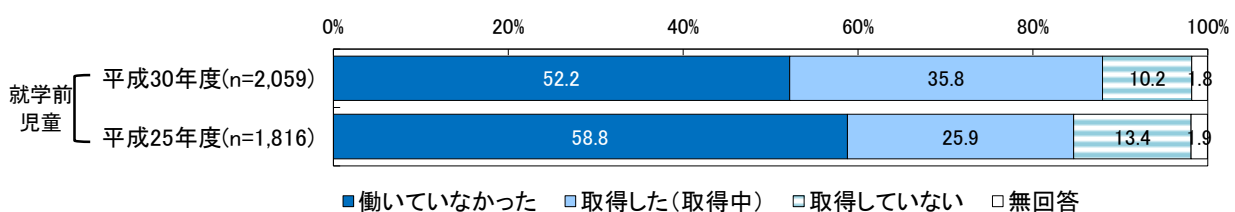
母親の育児休業取得状況について、『取得した（取得中である）』と回答した割合が 35.8%となっている。

【育児休業取得状況（母親）（就学前児童・年齢別）】



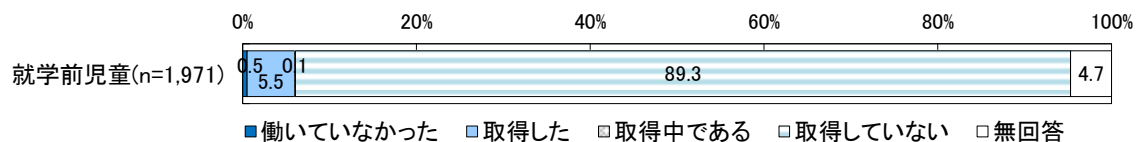
年齢別にみると、『取得した（取得中である）』と回答した割合は0歳で高くなっている。

【育児休業取得状況（母親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



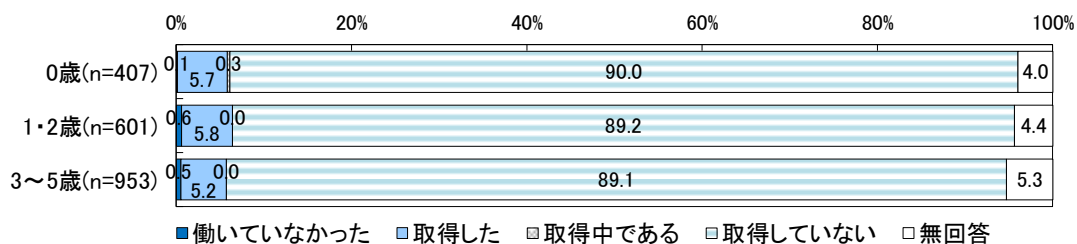
前回調査結果と比較すると、『取得した（取得中である）』と回答した割合が上昇している。

### 【育児休業取得状況（父親）】



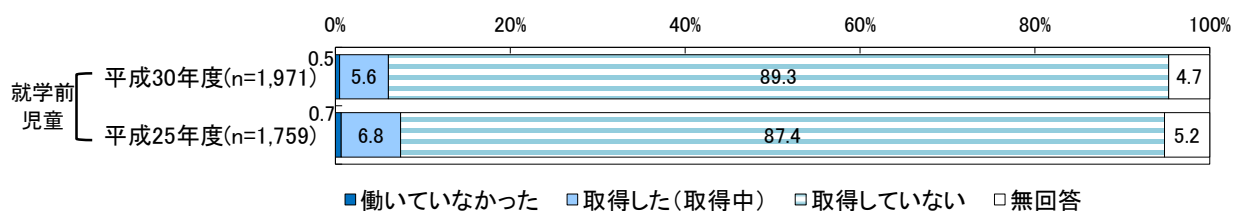
父親の育児休業取得状況について、『取得した（取得中である）』と回答した割合が 5.6%となっている。

### 【育児休業取得状況（父親）（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

### 【育児休業取得状況（母親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『取得した（取得中である）』と回答した割合は大きな変化はみられない。

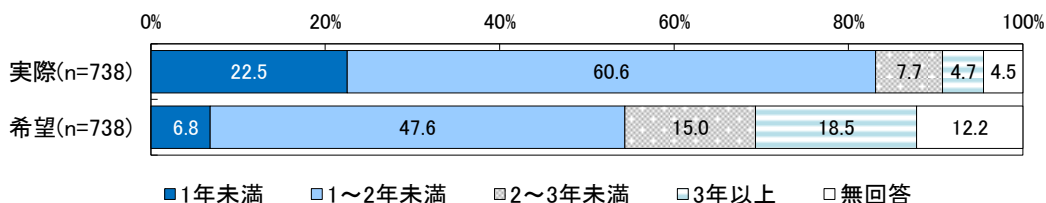
問 17 で「2 取得した」または「3 取得中である」と回答した人のみ回答

問 17-1 就学前児童

育児休業の実際の取得期間（取得中の人は予定）と希望の期間を記入してください。

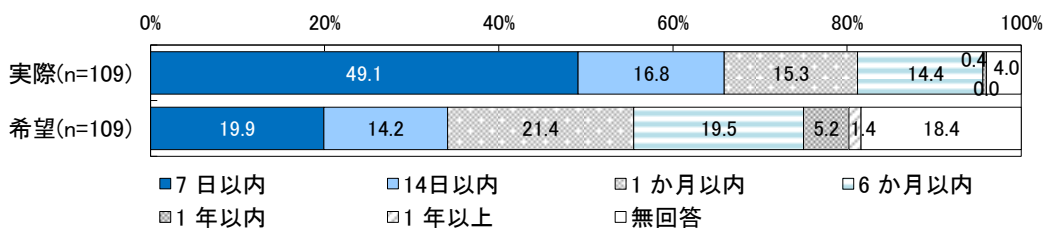
【数字を記入】

【育児休業の取得期間（母親）】



母親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「1～2年未満」と回答した割合が60.6%と最も高くなっているが、「1年未満」と回答した割合も22.5%となっている。希望の取得期間では、『2年以上』と回答した割合が33.5%となっている。

【育児休業の取得期間（父親）】



父親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「7日以内」と回答した割合が49.1%と最も高くなっている。

希望の取得期間では、「1か月以内」、「6か月以内」、「1年以内」等、実際の取得期間よりも長い期間の割合が高くなっている。

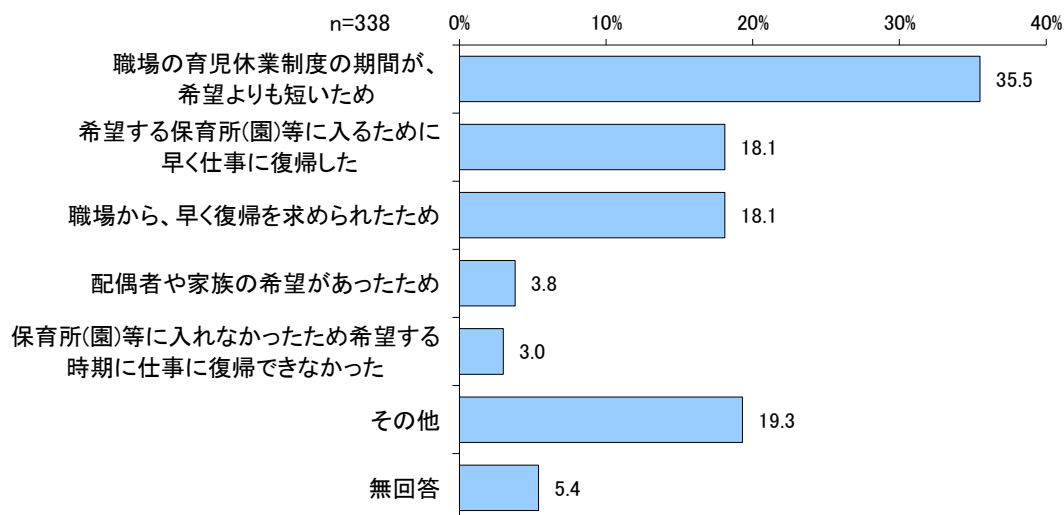


問 17-1 で育児休業の実際の期間と希望の期間が異なる人のみ回答

問 17-2 就学前児童

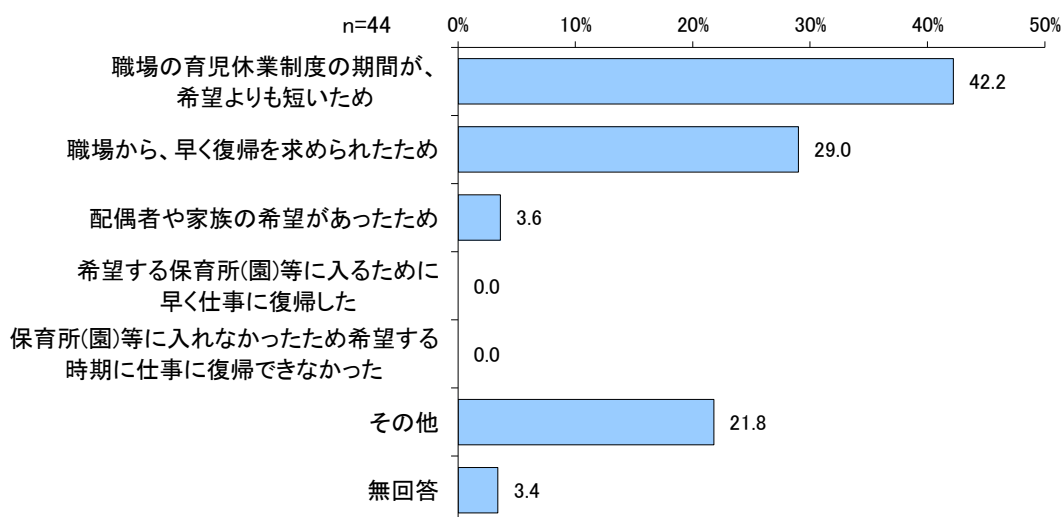
希望の期間取得できなかったのはどのような理由ですか。【〇は1つ】

【希望の期間取得できなかった理由（母親）】



母親が希望の期間取得できなかった理由について、「職場の育児休業制度の期間が、希望よりも短いため」と回答した割合が 35.5%と最も高く、「希望する保育所（園）等に入るために早く仕事に復帰した」、「職場から、早く復帰を求められたため」（18.1%）が続いている。

【希望の期間取得できなかった理由（父親）】



父親が希望の期間取得できなかった理由について、「職場の育児休業制度の期間が、希望よりも短いため」と回答した割合が 42.2%と最も高く、次いで「職場から、早く復帰を求められたため」（29.0%）となっている。

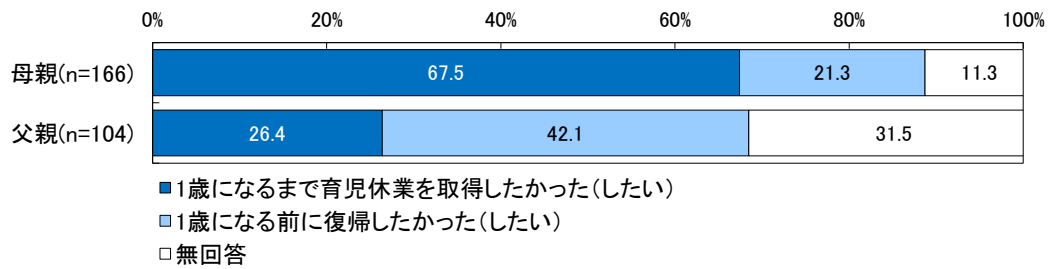
(2) 保育所（園）等に入れる場合の取得期間の希望

問 17-1 で実際の取得期間が 1 年未満の人のみ回答

問 17-3 就学前児童

あて名のお子さんが 1 歳になったときに保育所（園）等に必ず入ることができるならば、1 歳になるまで育児休業を取得したかった（したい）ですか。【〇は 1 つ】

【保育所（園）等に入れる場合の取得期間の希望（就学前児童・育児休業取得期間が 1 年未満）】



1 歳になったときに保育所（園）等に必ず入ることができる際の育児休業の取得期間の希望について、「取得したかった（したい）」と回答した割合が母親で 67.5%、父親で 26.4%となっている。

## 7 病気の際の対応

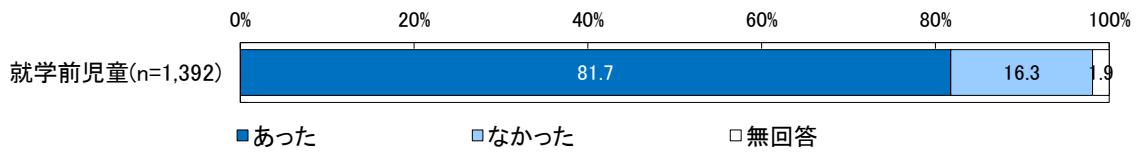
### (1) 病気等により幼稚園・保育所等を利用できなかった経験

平日に幼稚園や保育所(園)などを利用している人のみ回答

#### 問 18 就学前児童

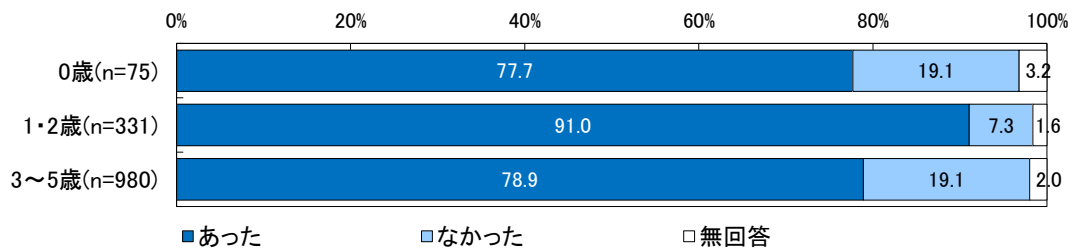
この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などを利用できなかったことはありましたか。【〇は1つ】

【病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験】



病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験について、「あった」と回答した割合が81.7%となっている。

【病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験(就学前児童・年齢別)】



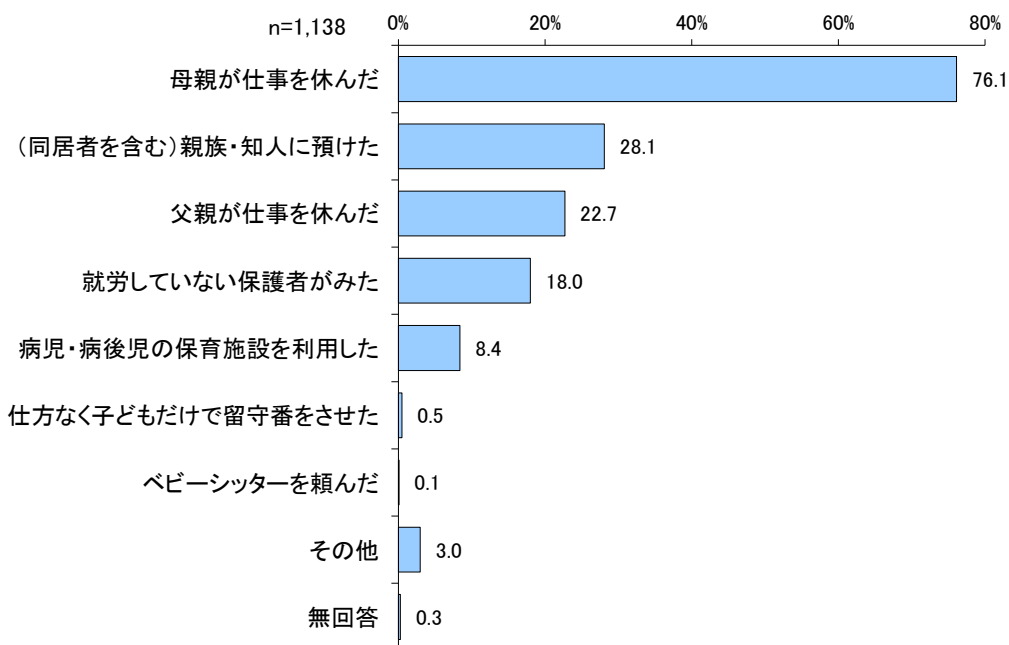
年齢別にみると、「あった」と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

問 18 で「1 あった」と回答した人のみ回答

問 18-1 就学前児童

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などを利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。【〇は当てはまるものすべて】

【病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった際の対応方法】



病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった際の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が 76.1%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(28.1%)となっている。

【病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった際の年間対応日数(平均日数)】

	回答数	平均(日)
父親が仕事を休んだ	245	4.1
母親が仕事を休んだ	799	9.6
(同居者を含む)親族・知人に預けた	282	6.6
就労していない保護者がみた	182	7.8
病児・病後児の保育施設を利用した	92	5.5
ベビーシッターを頼んだ	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5	2.4
その他	29	7.0

病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった際の年間対応日数について、「母親が仕事を休んだ」の平均日数が 9.6 日、「就労していない保護者がみた」の平均日数が 7.8 日となっている。

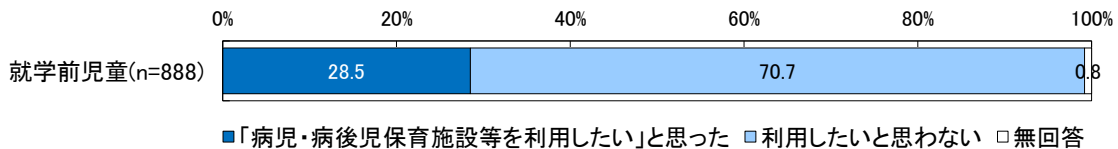
## (2) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 18-1 で「1 父親が仕事を休んだ」または「2 母親が仕事を休んだ」と回答した人のみ回答

問 18-2 就学前児童

その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。【〇は1つ】

【病児・病後児保育施設の利用希望】



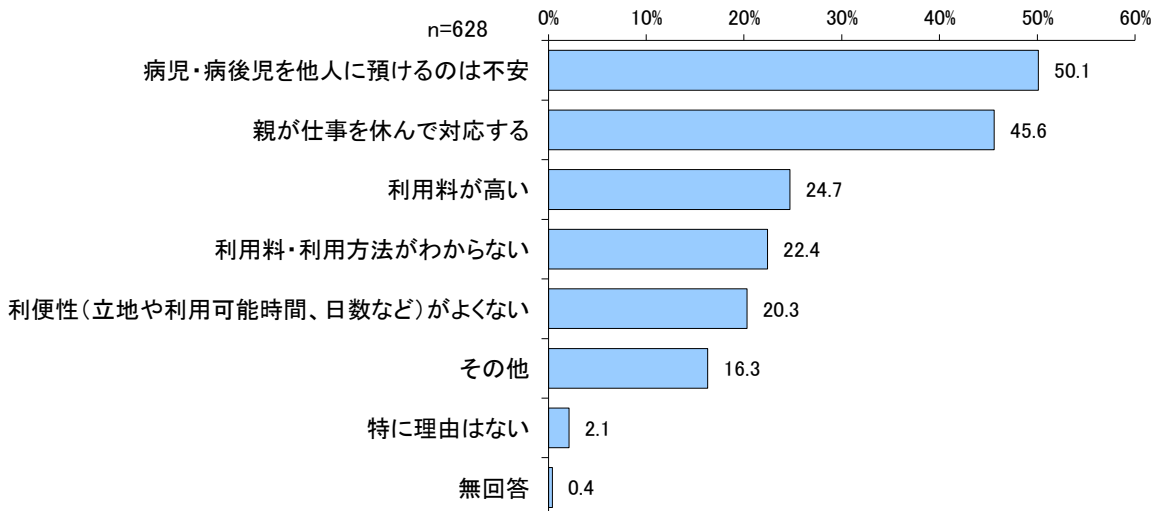
病児・病後児保育施設の利用希望について、「病児・病後児保育施設等を利用したい」と思った」と回答した割合が 28.5%となっている。

問 18-2 で「2 利用したいと思わない」と回答した人のみ回答

問 18-3 就学前児童

利用したくないと思う理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【病児・病後児保育施設を利用したくない理由】



病児・病後児保育施設を利用したくない理由について、「病児・病後児を他人に預けるのは不安」と回答した割合が 50.1%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(45.6%)となっている。

一方、「利用料が高い」(24.7%)、「利用料・利用方法がわからない」(22.4%)、「利便性(立地や利用可能時間、日数)などがよくない」(20.3%)という事業の内容に関する理由もあがっている。

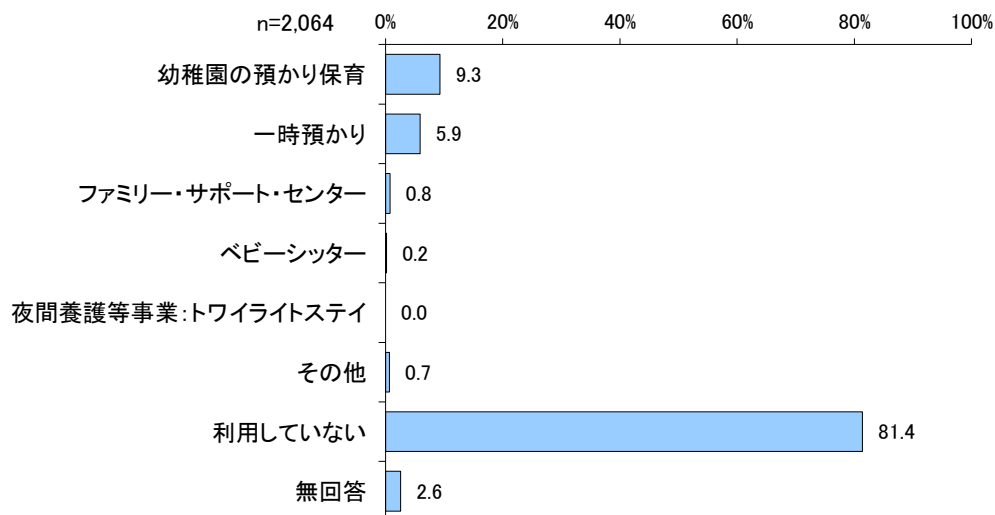
## 8 不定期の保育事業

### (1) 不定期に利用したサービス

#### 問 19 就学前児童

あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。【〇は当てはまるものすべて】

【不定期に利用したサービス】



不定期に利用したサービスについて、「幼稚園の預かり保育」と回答した割合が9.3%と最も高く、「一時預かり」と回答した割合が5.9%となっている。

また、「利用していない」と回答した割合が81.4%となっている。

【不定期のサービスの年間利用日数（平均日数）】

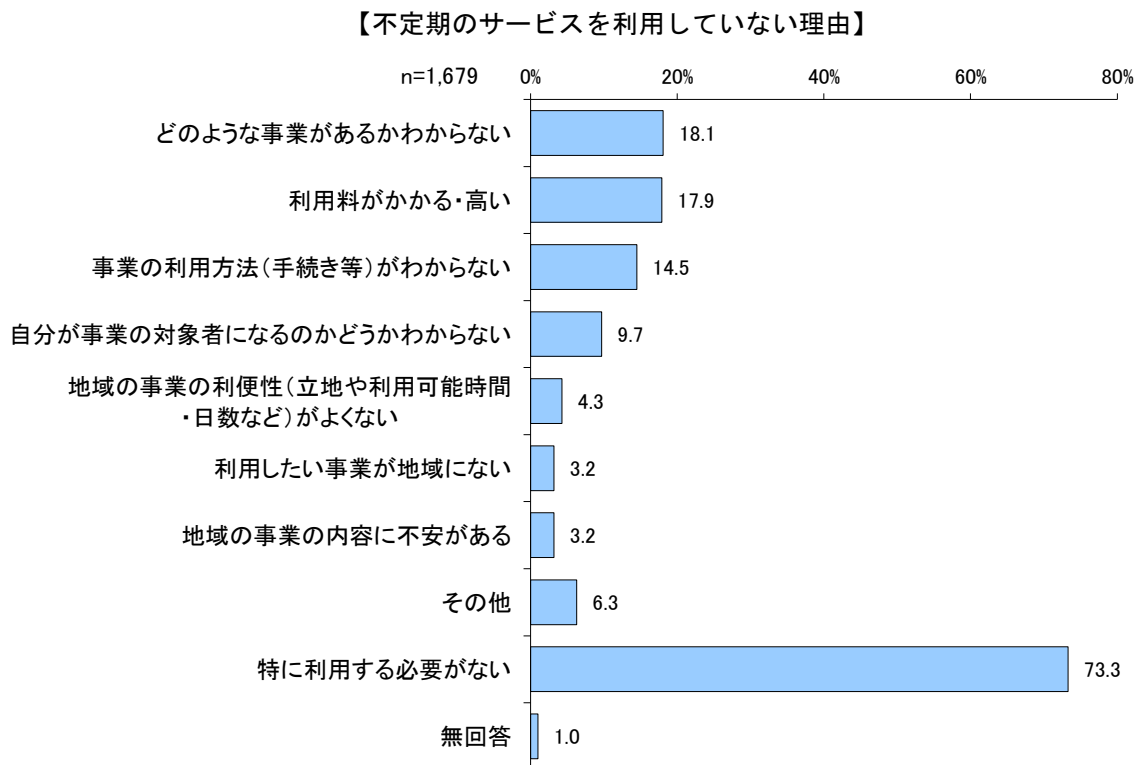
	回答数	平均 (日)
一時預かり	112	12.3
幼稚園の預かり保育	186	24.1
ファミリー・サポート・センター	15	14.1
夜間養護等事業:トワイライトステイ	-	-
ベビーシッター	3	20.0
その他	13	10.7

不定期のサービスの年間利用日数について、「幼稚園の預かり保育」の平均日数が24.1日、「一時預かり」の平均日数が12.3日となっている。

問 19 で「7 利用していない」と回答した人のみ回答

問 19-1 就学前児童

現在、利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



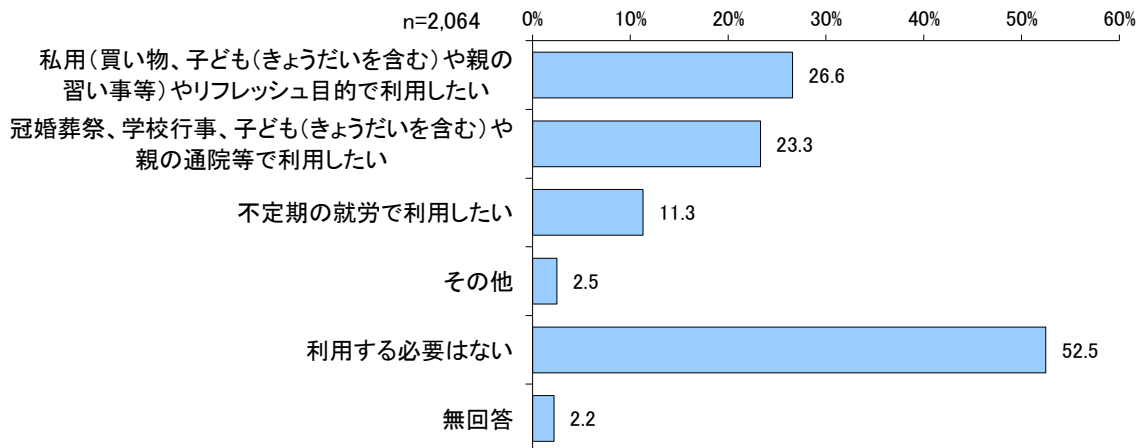
不定期のサービスを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「どのような事業があるかわからない」(18.1%)、「利用料がかかる・高い」(17.9%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.5%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(9.7%)と回答した割合が上位にあがっており、事業の周知に関する項目が多くなっている。

(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望

問 20 就学前児童

あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。【○は当てはまるものすべて】

【不定期に子どもを預ける事業の利用希望】



不定期に子どもを預ける事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合と無回答を除く 45.3%が何らかの希望を回答しており、「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」（26.6%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい」（23.3%）と回答した割合が高くなっている。

【不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数（平均日数）】

	回答数	平均（日）
私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的で利用したい	507	13.6
冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等で利用したい	429	9.0
不定期の就労で利用したい	196	29.0
その他	31	38.1

不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数について、「不定期の就労で利用したい」の平均日数が 29.0 日と多くなっており、「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」の平均日数が 13.6 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい」の平均日数が 9.0 日となっている。



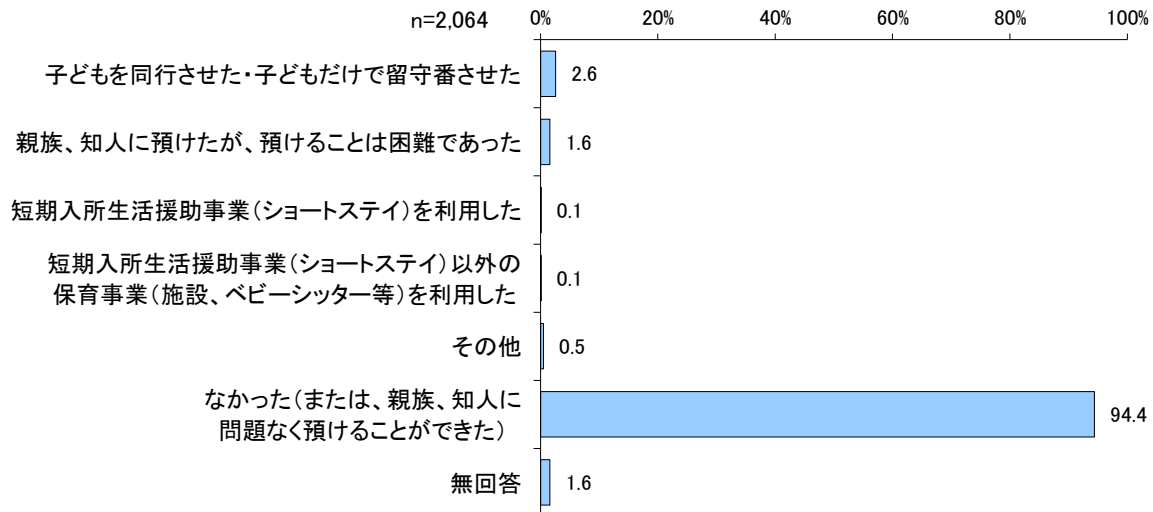
(3) 保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験

問 21 就学前児童

この1年間に、親の用事（冠婚葬祭、親・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで保育施設等に預けなければならなかった経験がありましたか。

【〇は当てはまるものすべて】

【保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験】



保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験について、「子どもを同行させた・子どもだけで留守番させた」と回答した割合が2.6%、「親族、知人に預けたが、預けることは困難であった」と回答した割合が1.6%となっている。

【保育施設等の年間利用泊数（平均泊数）】

経験内容	回答数	平均(泊)
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	6.0
短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業(施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-
親族、知人に預けたが、預けることは困難であった	31	3.4
子どもを同行させた・子どもだけで留守番させた	38	4.0
その他	5	6.2

保育施設等の年間利用泊数について、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」の平均泊数が6.0泊となっている。

## 9 放課後の過ごし方

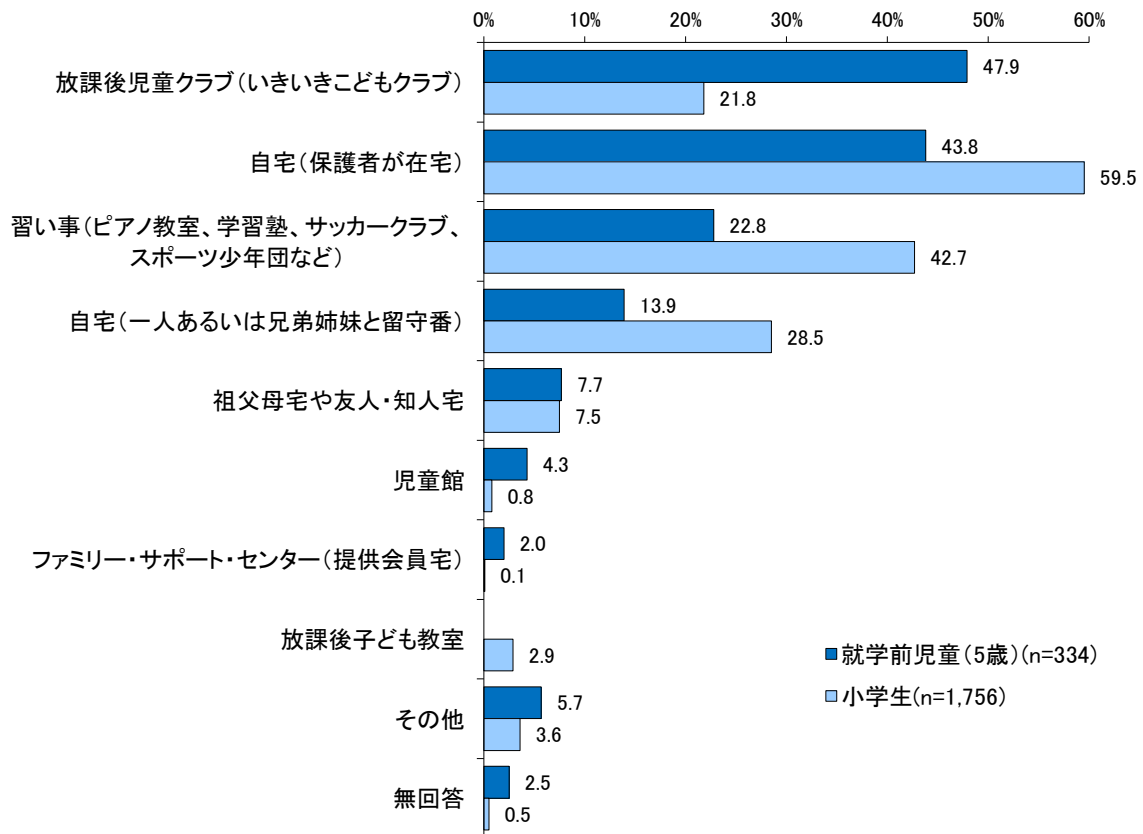
### (1) 放課後の過ごし方

#### 5歳以上の就学前児童と小学生のみ回答

問 22 就学前児童・問 11 小学生

あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（過ごしていますか）。【〇は当てはまるものすべて】

【放課後の過ごし方】



放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）」と回答した割合が就学前児童（5歳）で47.9%、小学生で21.8%となっている。

また、「放課後子ども教室」と回答した割合が小学生で2.9%となっている。

【放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たり利用日数（平均日数）】

	就学前児童(5歳)		小学生	
	回答数	平均 (日)	回答数	平均 (日)
自宅(保護者が在宅)	123	4.2	996	4.1
自宅(一人あるいは兄弟姉妹と留守番)	44	2.8	486	3.3
祖父母宅や友人・知人宅	22	3.1	122	3.0
習い事(ピアノ教室、学習塾、サッカー クラブ、スポーツ少年団など)	73	2.1	746	2.4
児童館	14	3.8	14	2.6
放課後児童クラブ (いきいきこどもクラブ)	148	4.5	381	4.3
放課後子ども教室			48	1.1
ファミリー・サポート・センター (提供会員宅)	7	3.6	1	1.0
その他	18	3.3	63	3.2

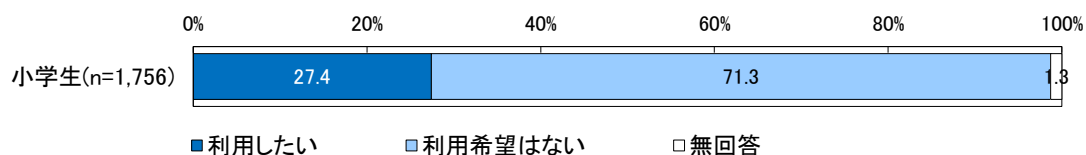
放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たり利用平均日数について、「放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）」と回答した人の平均日数は就学前児童で4.5日、小学生で4.3日となっている。

## (2) 放課後子ども教室の利用希望

### 問 12 小学生

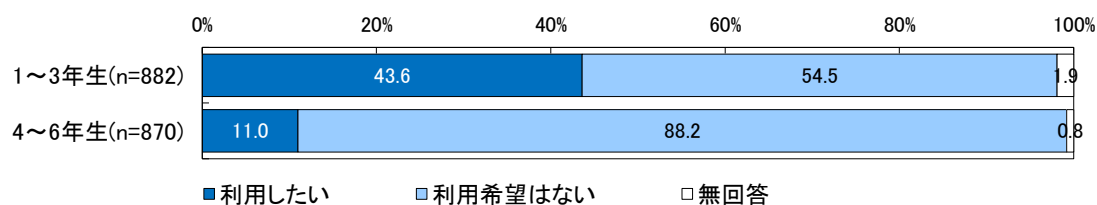
あて名のお子さんについて、今後、放課後子ども教室を利用したいと思いますか。【○は1つ】

【放課後子ども教室の利用希望】



放課後子ども教室の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 27.4%となっている。

【放課後子ども教室の利用希望（小学生・学年別）】

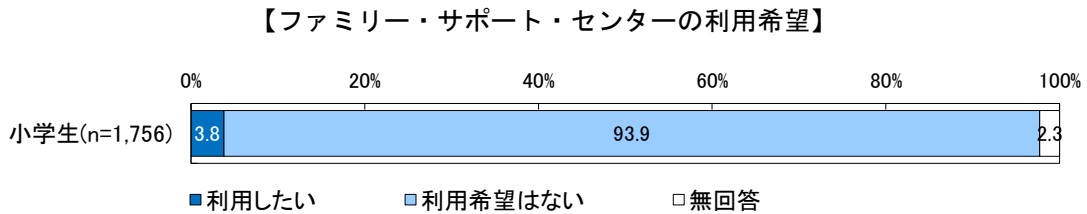


学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生が 43.6%、4～6年生が 11.0%となっている。

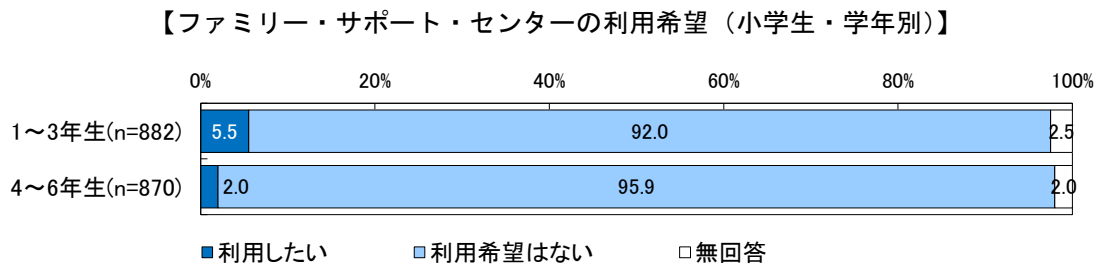
### (3) ファミリー・サポート・センターの利用希望

#### 問 13 小学生

あて名のお子さんについて、今後、ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。【〇は1つ】



ファミリー・サポート・センターの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 3.8%、となっている。



学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は 1～3 年生が 5.5%、4～6 年生が 2.0% となっている。

#### (4) 放課後児童クラブの利用希望

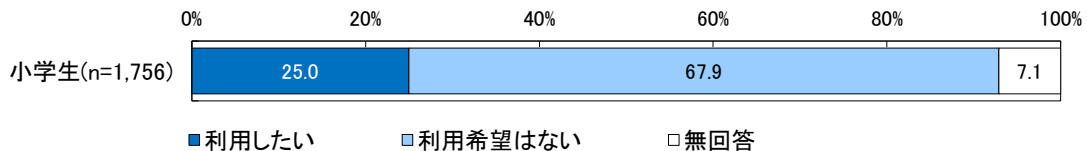
##### 問 14 小学生

あて名のお子さんについて、放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）を利用したいと思いませんか。平日の放課後、土曜日、長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

【○は1つ】

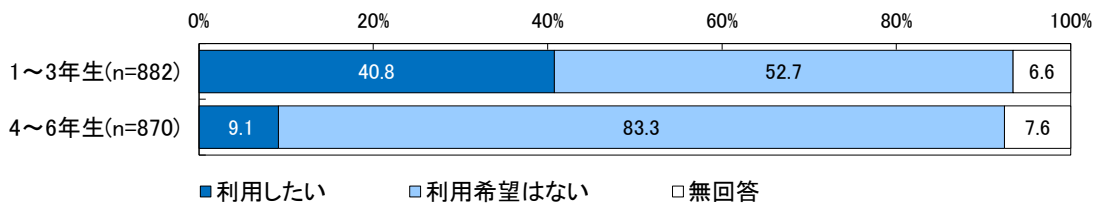
<平日>

【放課後児童クラブの利用希望】



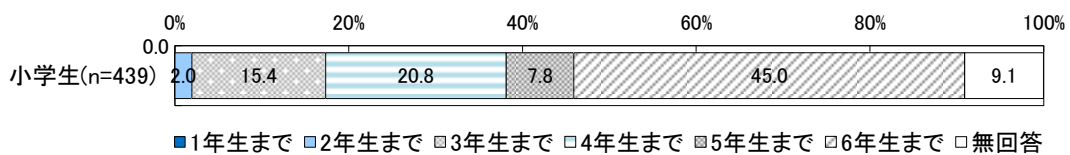
平日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 25.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学生・学年別）】



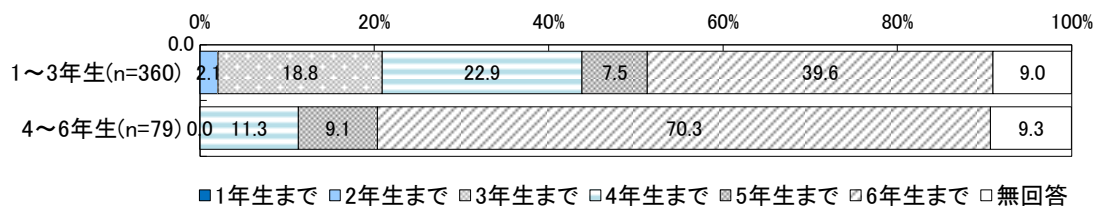
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生が40.8%、4～6年生が9.1%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



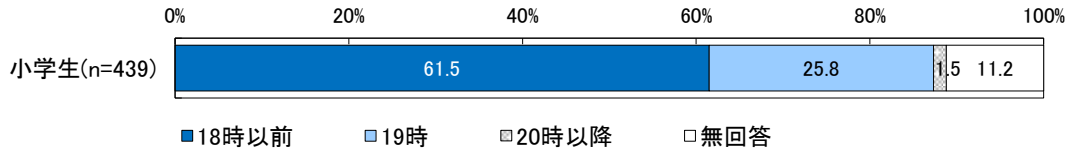
平日の放課後児童クラブの利用を希望する場合の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が45.0%と最も高くなっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生・学年別）】



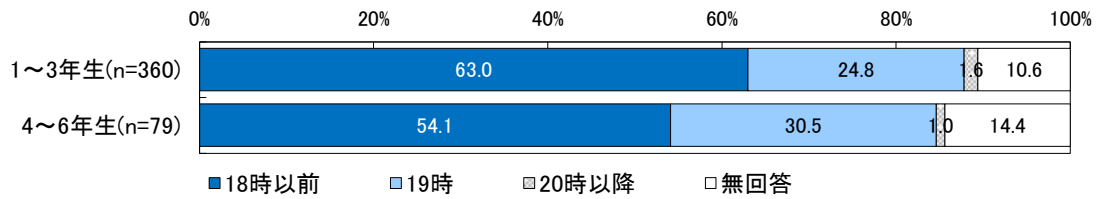
学年別にみると、4～6年生では「6年生まで」と回答した割合が70.3%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了時間】



平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間について、「18時以前」と回答した割合が61.5%、「19時」と回答した割合が25.8%となっている。

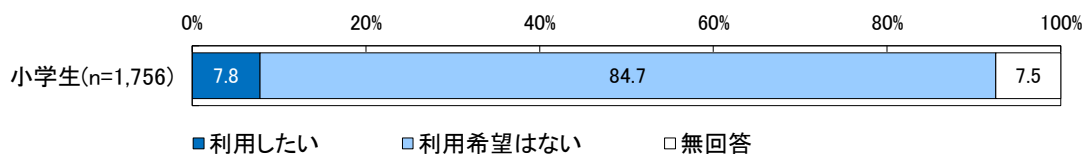
【放課後児童クラブの利用希望終了時間（小学生・学年別）】



学年別にみると、4～6年生で「19時」と回答した割合が1～3年生よりも高く、30.5%となっている。

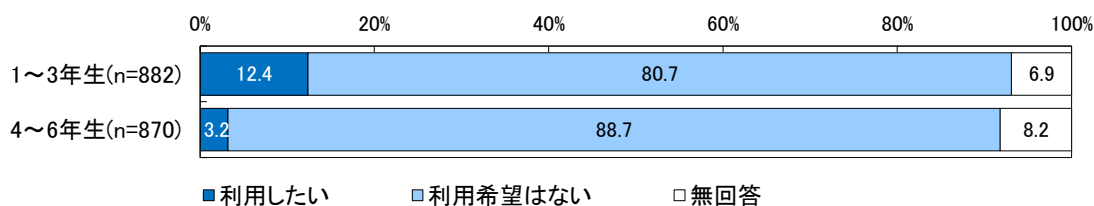
<土曜日>

【放課後児童クラブの利用希望】



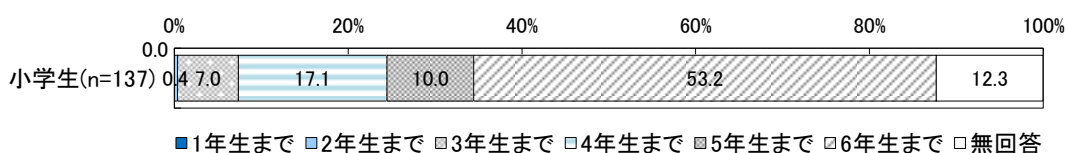
土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が7.8%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学生・学年別）】



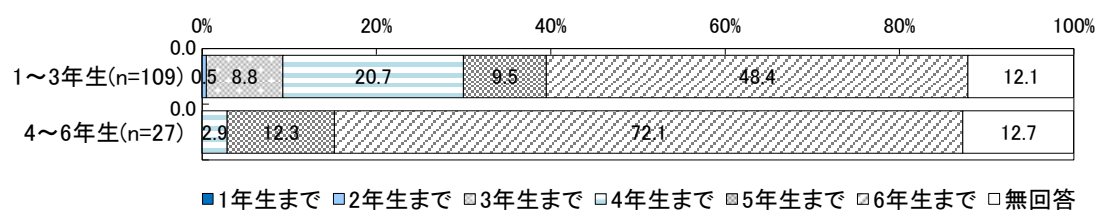
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生が12.4%、4～6年生が3.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が53.2%と最も高くなっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生・学年別）】

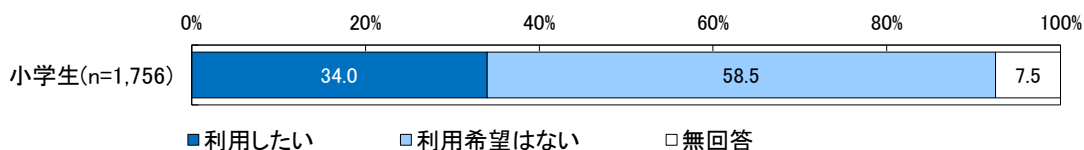


学年別にみると、4～6年生で「6年生まで」と回答した割合が72.1%となっている。



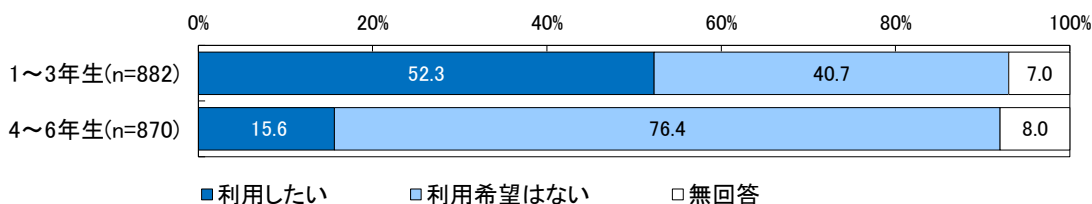
<長期休暇中>

【放課後児童クラブの利用希望】



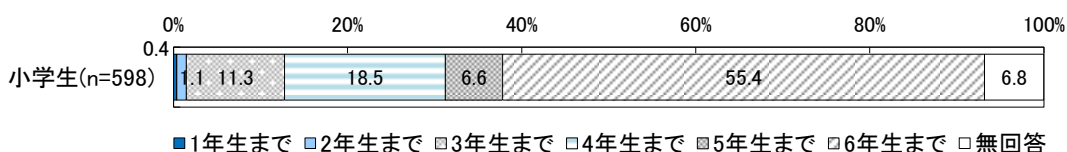
長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 34.0% となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学生・学年別）】



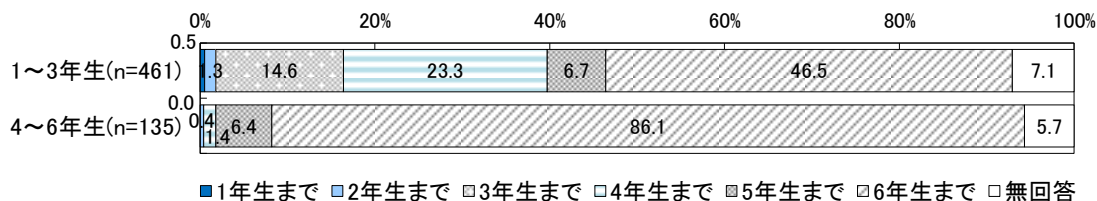
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は 1～3 年生が 52.3%、4～6 年生が 15.6% となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望終了学年について、「6 年生まで」と回答した割合が 55.4% と最も高くなっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生・年齢別）】



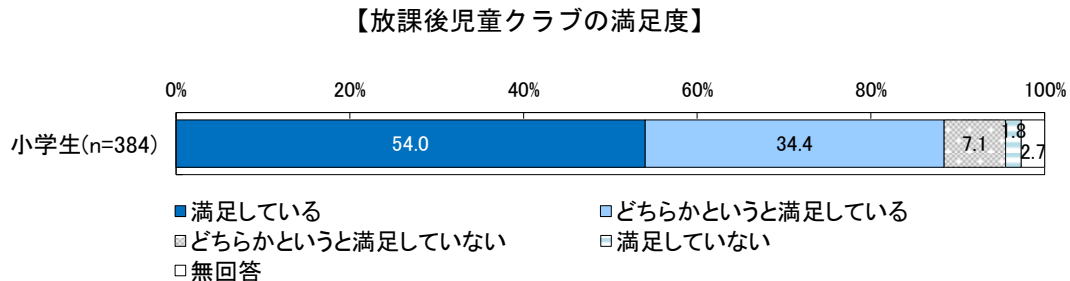
学年別にみると、4～6 年生で「6 年生まで」と回答した割合が 86.1% となっている。

(5) 放課後児童クラブの満足度

放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）を利用している人のみ回答

問 15 小学生

放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）に満足していますか。【〇は1つ】



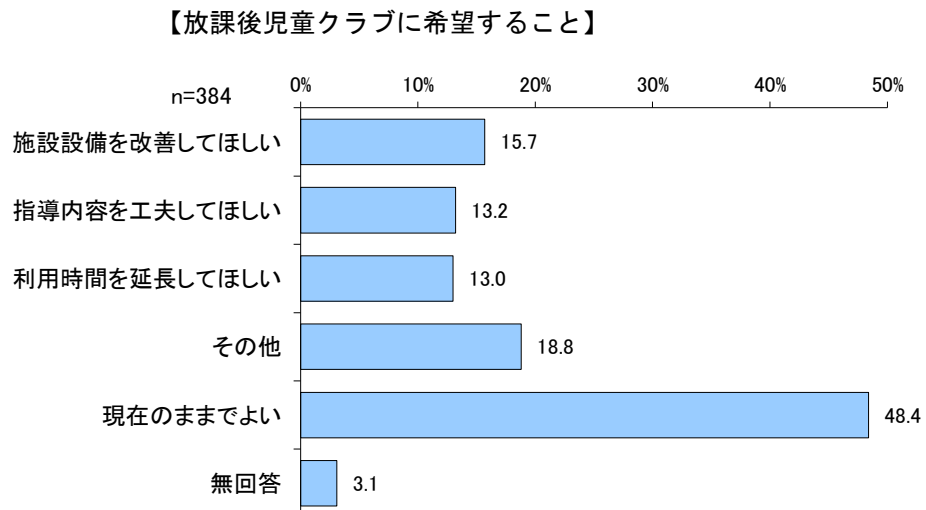
放課後児童クラブの満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合が88.4%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合が8.9%となっている。

(6) 放課後児童クラブに希望すること

問 16 小学生

放課後児童クラブ（いきいきこどもクラブ）に対してどのようなことを希望しますか。

【〇は当てはまるものすべて】



放課後児童クラブに希望することについて、「施設設備を改善してほしい」と回答した割合が15.7%と最も高くなっている。

また、「現在のままでよい」と回答した割合が48.4%となっている。

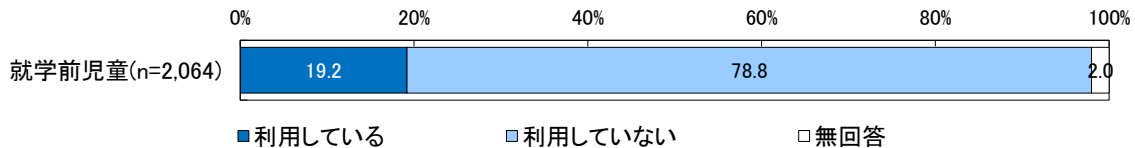
## 10 子育て支援センター

### (1) 子育て支援センターの利用状況

#### 問 23 就学前児童

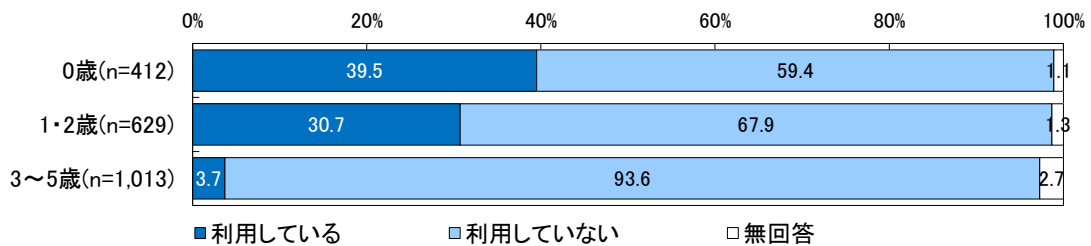
あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を利用していますか。【〇は1つ】

【子育て支援センターの利用状況】



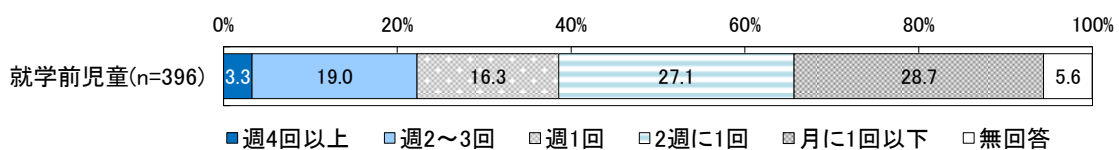
子育て支援センターの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 19.2%となっている。

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】



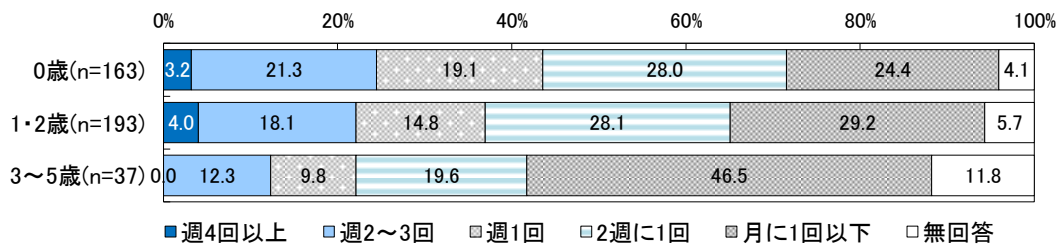
年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は0歳で39.5%、1・2歳で30.7%となっている。

【子育て支援センターの利用回数】



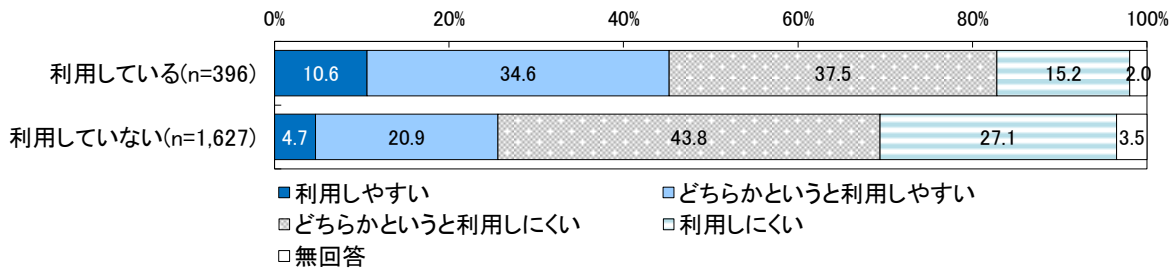
子育て支援センターの利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が38.6%となっている。

【子育て支援センターの利用回数（就学前児童・年齢別）】



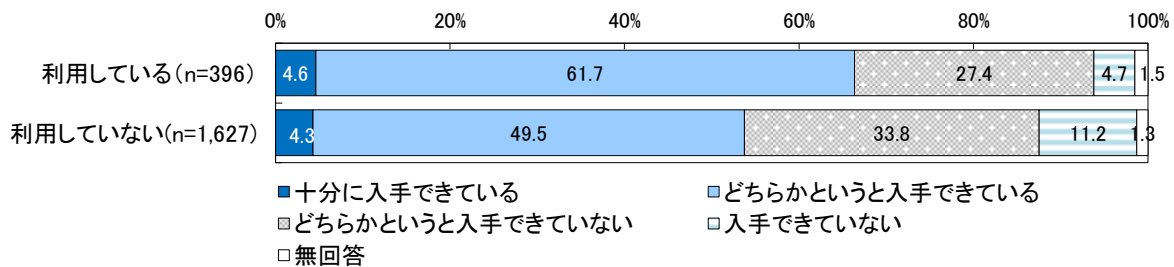
年齢別にみると、年齢が高くなるほど『週1回以上』と回答した割合が低くなっている。

【公的な相談窓口の利用のしやすさ（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



公的な相談窓口の利用のしやすさについて、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では公的な相談窓口を『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという利用しやすい」）と回答した割合が高く、45.2%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



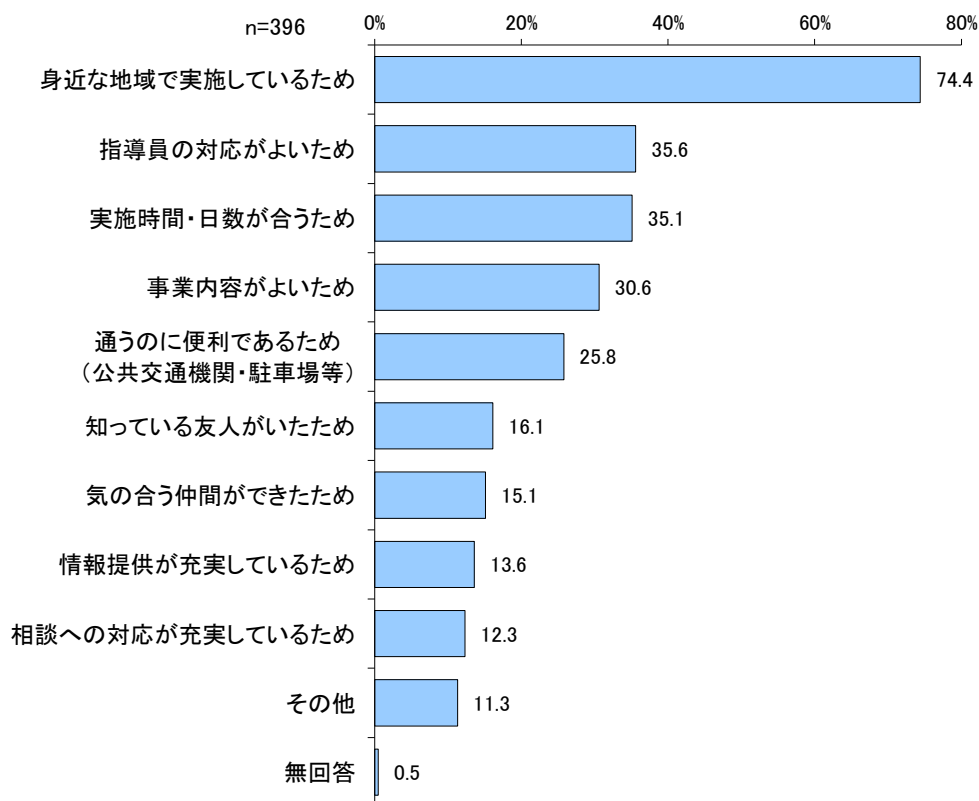
子育てに関する情報の入手状況について、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では子育てに関する情報を『入手できている』（「十分に入手できている」＋「どちらかという入手できている」）と回答した割合が高く、66.3%となっている。

問 23 で「1 利用している」と回答した人のみ回答

問 23-1 就学前児童

利用している理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターを利用している理由】



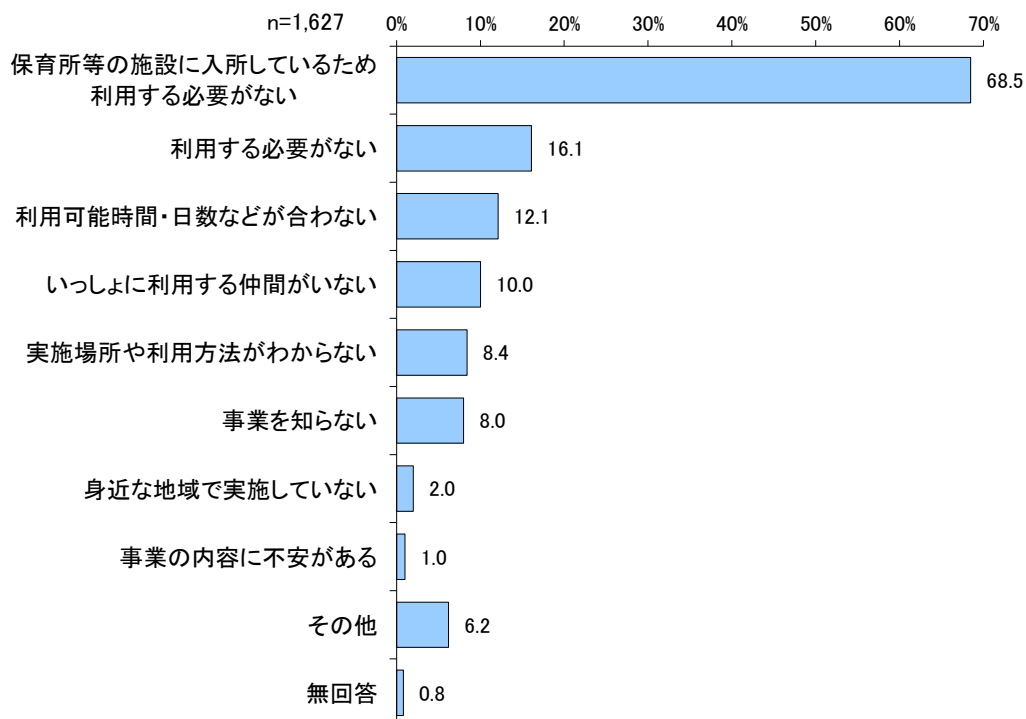
子育て支援センターを利用している理由について、「身近な地域で実施しているため」と回答した割合が74.4%と最も高く、「指導員の対応がよいため」(35.6%)、「実施時間・日数が合うため」(35.1%)が続いている。

問 23 で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

問 23-2 就学前児童

現在、利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターを利用していない理由】



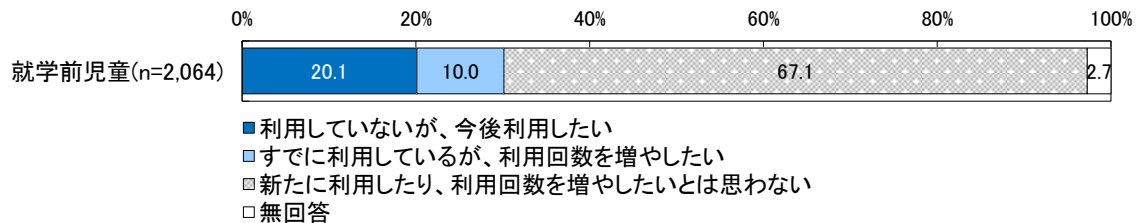
子育て支援センターを利用していない理由について、『利用する必要がない』（「保育所の施設に入所しているため利用する必要がない」+「利用する必要がない」）を除くと、「利用可能時間・日数などが合わない」（12.1%）、「いっしょに利用する仲間がない」（10.0%）と回答した割合が上位となっている。

(2) 今後の子育て支援センターの利用希望

問 24 就学前児童

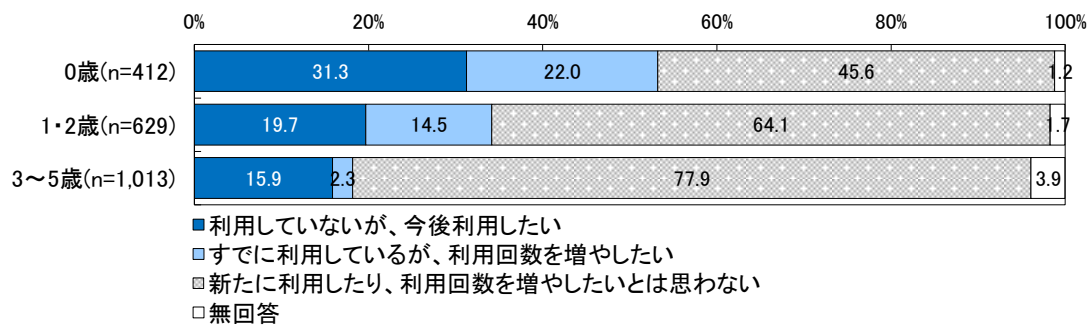
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。【○は1つ】

【子育て支援センターの利用希望】



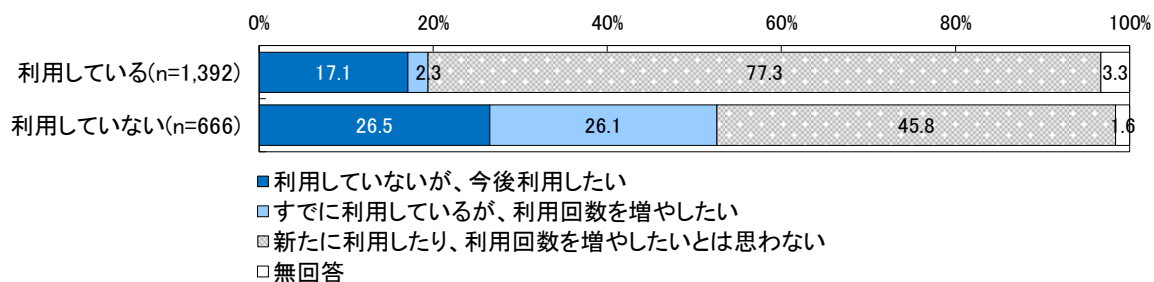
子育て支援センターの利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が20.1%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が10.0%となっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、年齢が低くなるほど「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が高く、0歳では、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は31.3%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合は22.0%となっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



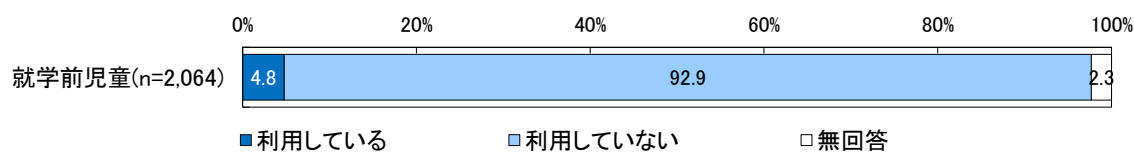
教育・保育事業の利用状況別にみると、利用していない層では、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が26.5%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が26.1%となっている。

(3) 子育て支援センター以外の支援施設の利用状況

問 25 就学前児童

あて名のお子さんは、現在、問 23 の子育て支援センター以外の地域の子育て団体やグループによる子育てサークルやサロンを利用していますか。【○は1つ】

【子育て支援センター以外の支援施設の利用状況】



子育て支援センター以外の支援施設の利用状況について、「利用している」と回答した割合が4.8%、「利用していない」と回答した割合が92.9%となっている。

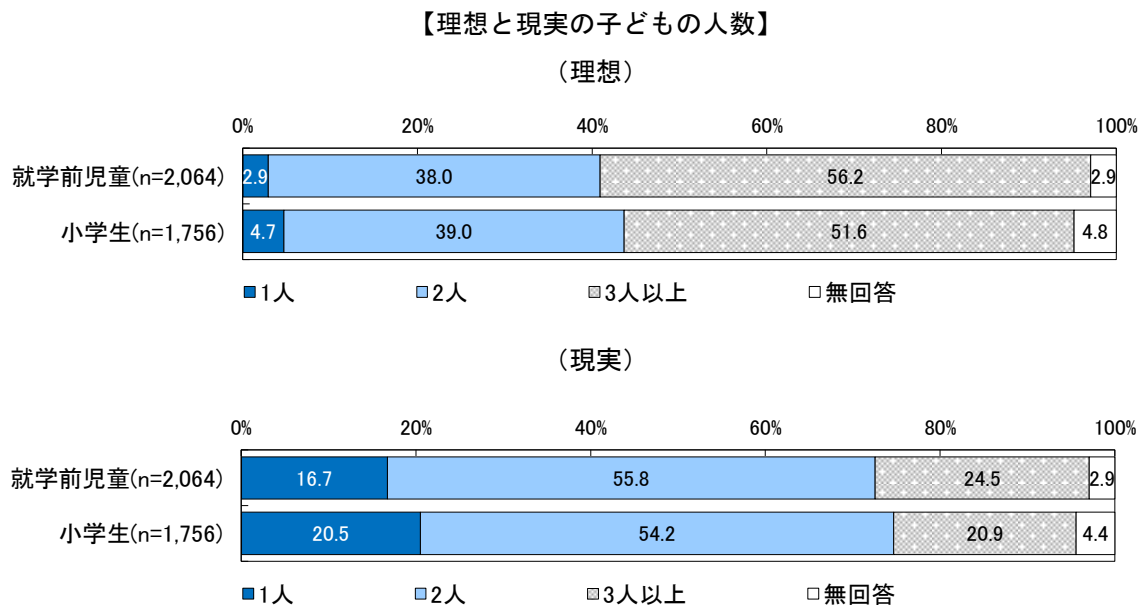


## 11 子育て全般

### (1) 理想と現実の子どもの人数

問 27 就学前児童・問 18 小学生

あなたの家庭では、子どもの人数は何人が理想だと考えますか。また、現実的に育てられる子どもの人数は何人と考えますか。【数字を記入】



子どもの人数について「3人以上」と回答した割合は、理想では就学前児童で56.2%、小学生で51.6%と高くなっているが、現実では就学前児童で24.5%、小学生で20.9%と低くなっている。

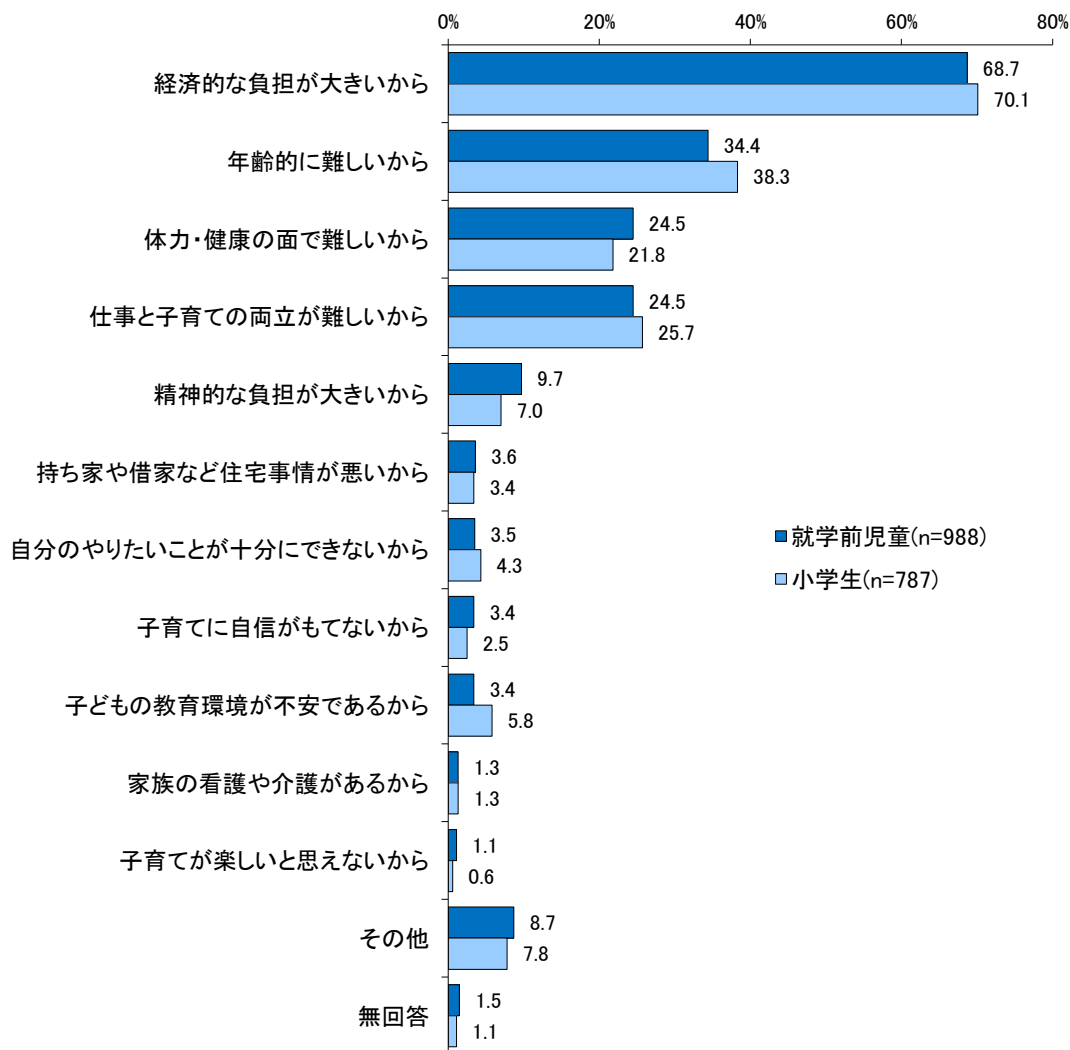
問 27・問 18 で現実的な子どもの人数が、理想の子どもの人数より少ない人のみ回答

問 27-1 就学前児童・問 18-1 小学生

現実的な子どもの人数が、理想の子どもの人数より少ないのはどのような理由からですか。

【○は主な理由 2 つまで】

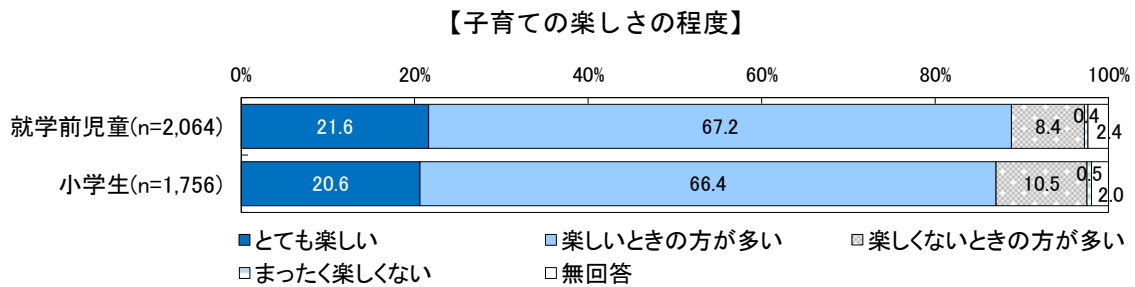
【現実的な子どもの人数が理想より少ない理由】



現実的な子どもの人数が理想より少ない理由について、「経済的な負担が大きいから」と回答した割合が最も高く、就学前児童で 68.7%、小学生で 70.1%となっており、「年齢的に難しいから」（就学前児童で 34.4%・小学生で 38.3%）、「体力・健康の面で難しいから」（就学前児童で 24.5%・小学生で 21.8%）、「仕事と子育ての両立が難しいから」（就学前児童で 24.5%・小学生で 25.7%）が続いて上位となっている。

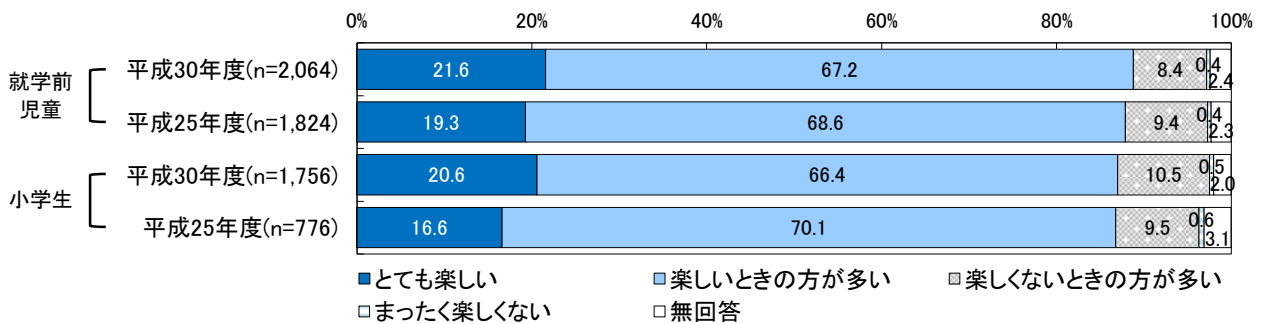
(2) 子育ての楽しさの程度

問 30 就学前児童・問 21 小学生  
子育ては楽しいですか。【〇は1つ】



子育ての楽しさの程度について、『楽しい』（「とても楽しい」＋「楽しいときの方が多い」）と回答した割合が就学前児童で 88.8%、小学生で 87.0%、『楽しくない』（「まったく楽しくない」＋「楽しくないときの方が多い」）と回答した割合が就学前児童で 8.8%、小学生で 11.0%となっている。

【子育ての楽しさの程度（前回調査結果との比較）】

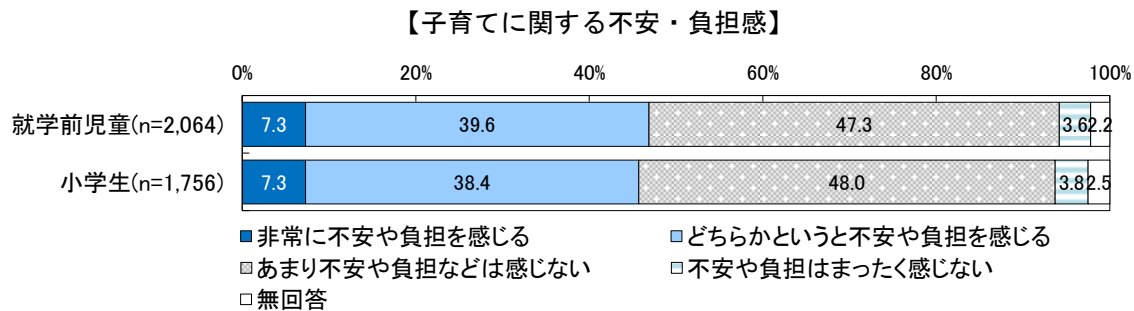


前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

(3) 子育てへの不安や負担の程度

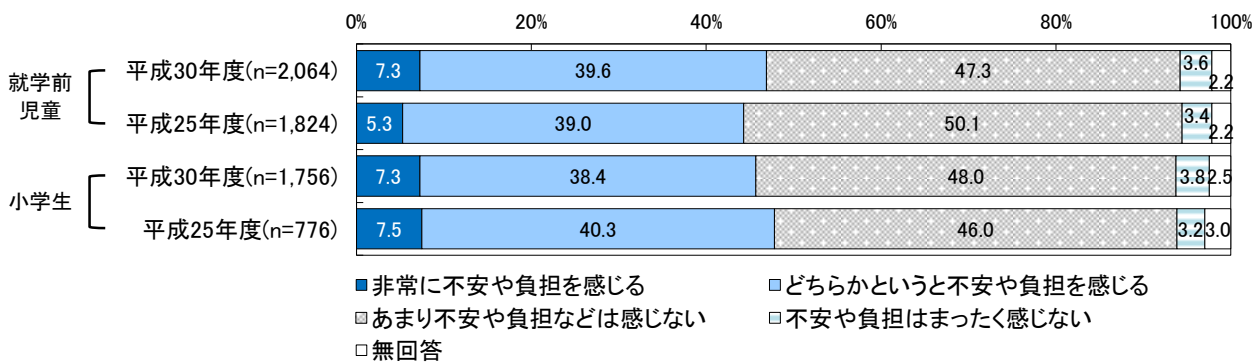
問 31 就学前児童・問 22 小学生

子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。【○は1つ】



子育てに関する不安・負担感について、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」＋「どちらかという不安や負担を感じる」と回答した割合が就学前児童で 46.9%、小学生で 45.7%、『不安や負担を感じない』（「不安や負担はまったく感じない」＋「あまり不安や負担などは感じない」と回答した割合が就学前児童で 50.9%、小学生で 51.8%となっている。

**【子育てに関する不安・負担感（前回調査結果との比較）】**

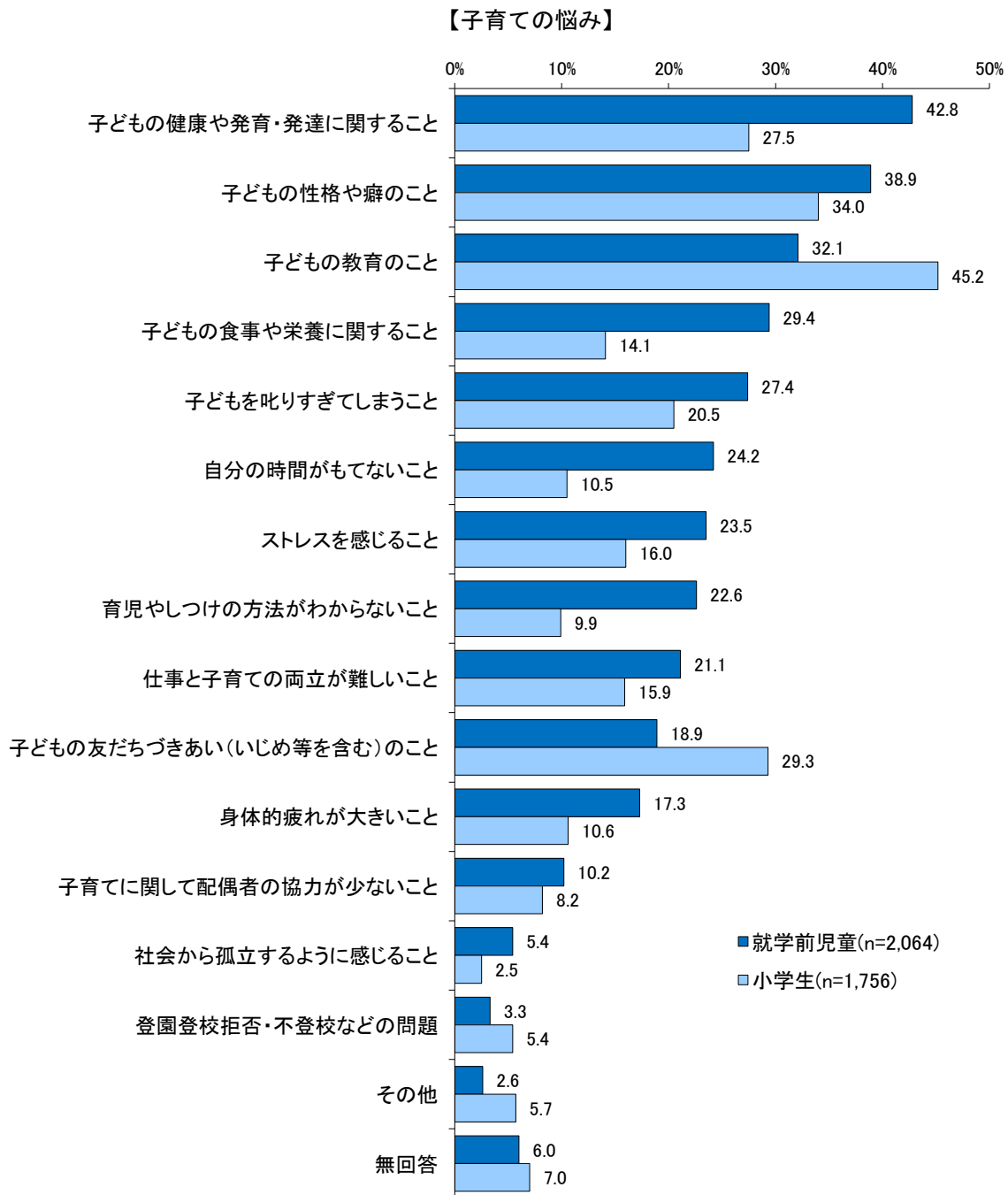


前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

(4) 子育ての悩み

問 35 就学前児童・問 26 小学生

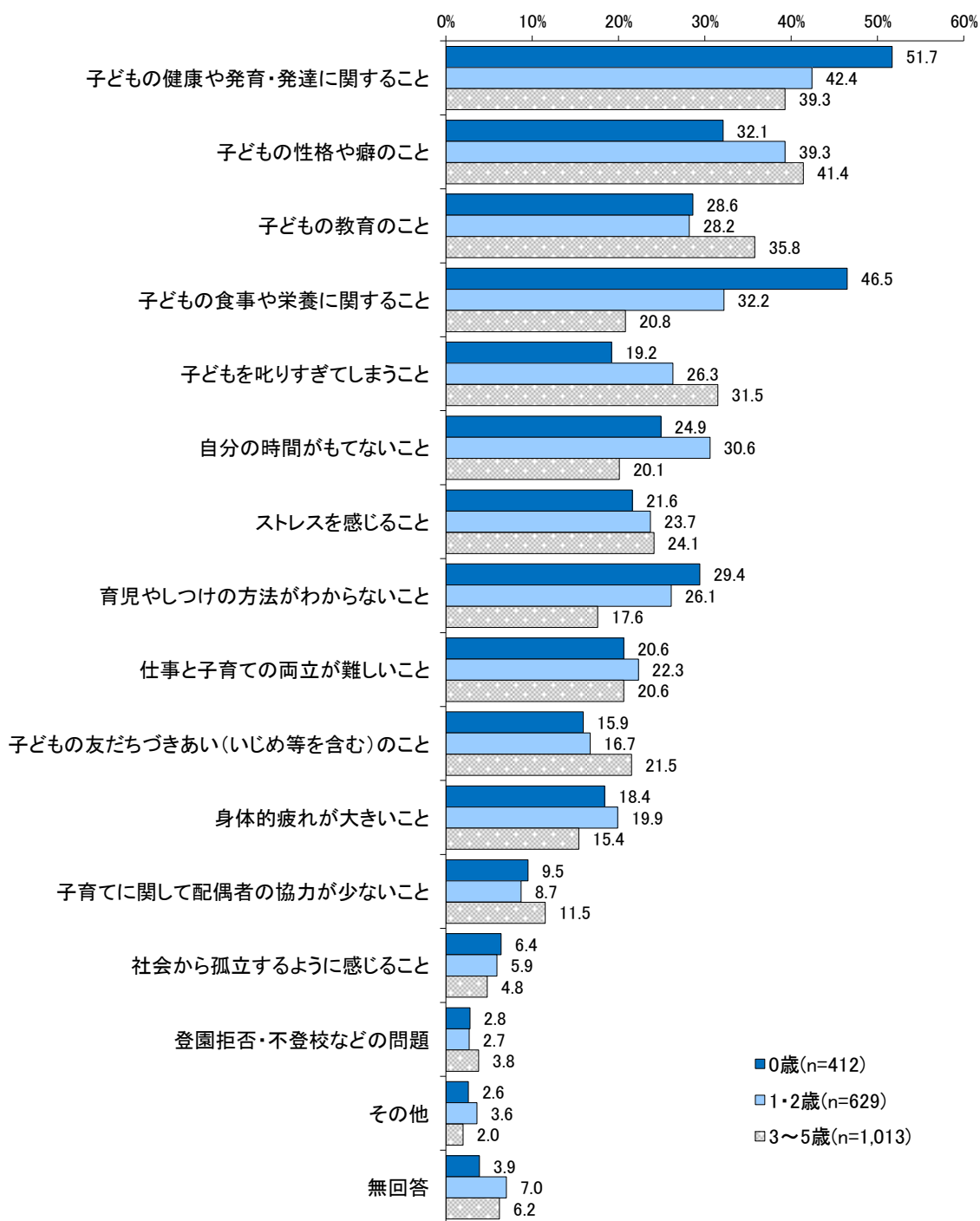
子育ての悩み、気になることはどのようなことですか。【〇は当てはまるものすべて】



子育ての悩みについて、就学前児童では「子どもの健康や発育・発達に関すること」と回答した割合が 42.8%と最も高く、次いで「子どもの性格や癖のこと」(38.9%)、「子どもの教育のこと」(32.1%)となっている。

小学生では「子どもの教育のこと」と回答した割合が 45.2%と最も高く、次いで「子どもの性格や癖のこと」(34.0%)、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)のこと」(29.3%)となっている。

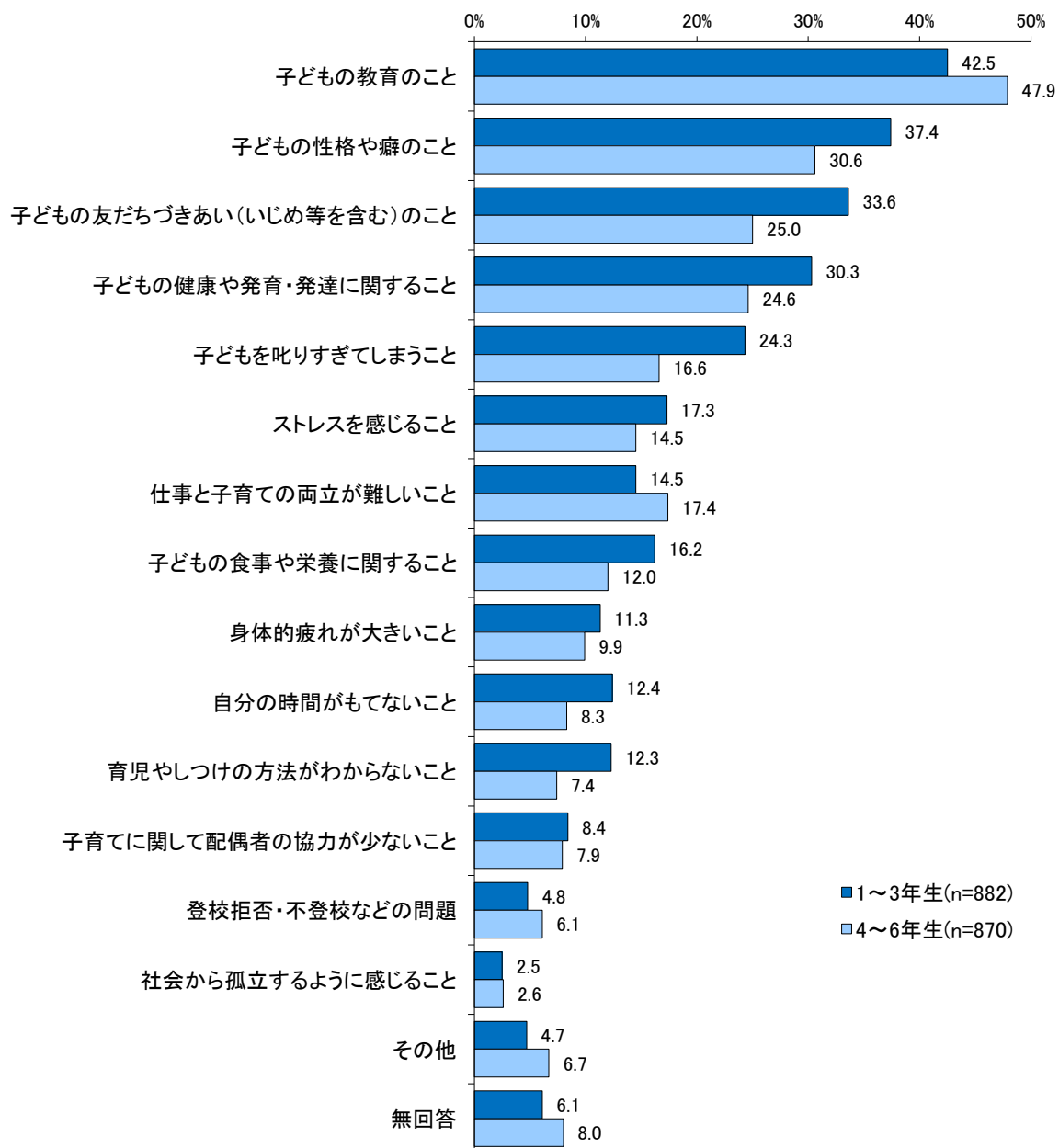
【子育ての悩み（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「子どもの健康や発育・発達に関すること」、「子どもの食事や栄養に関すること」、「育児やしつけの方法がわからないこと」と回答した割合は年齢が低いほど高く、「子どもの性格や癖のこと」、「子どもを叱りすぎてしまうこと」と回答した割合は年齢が高いほど高くなっている。

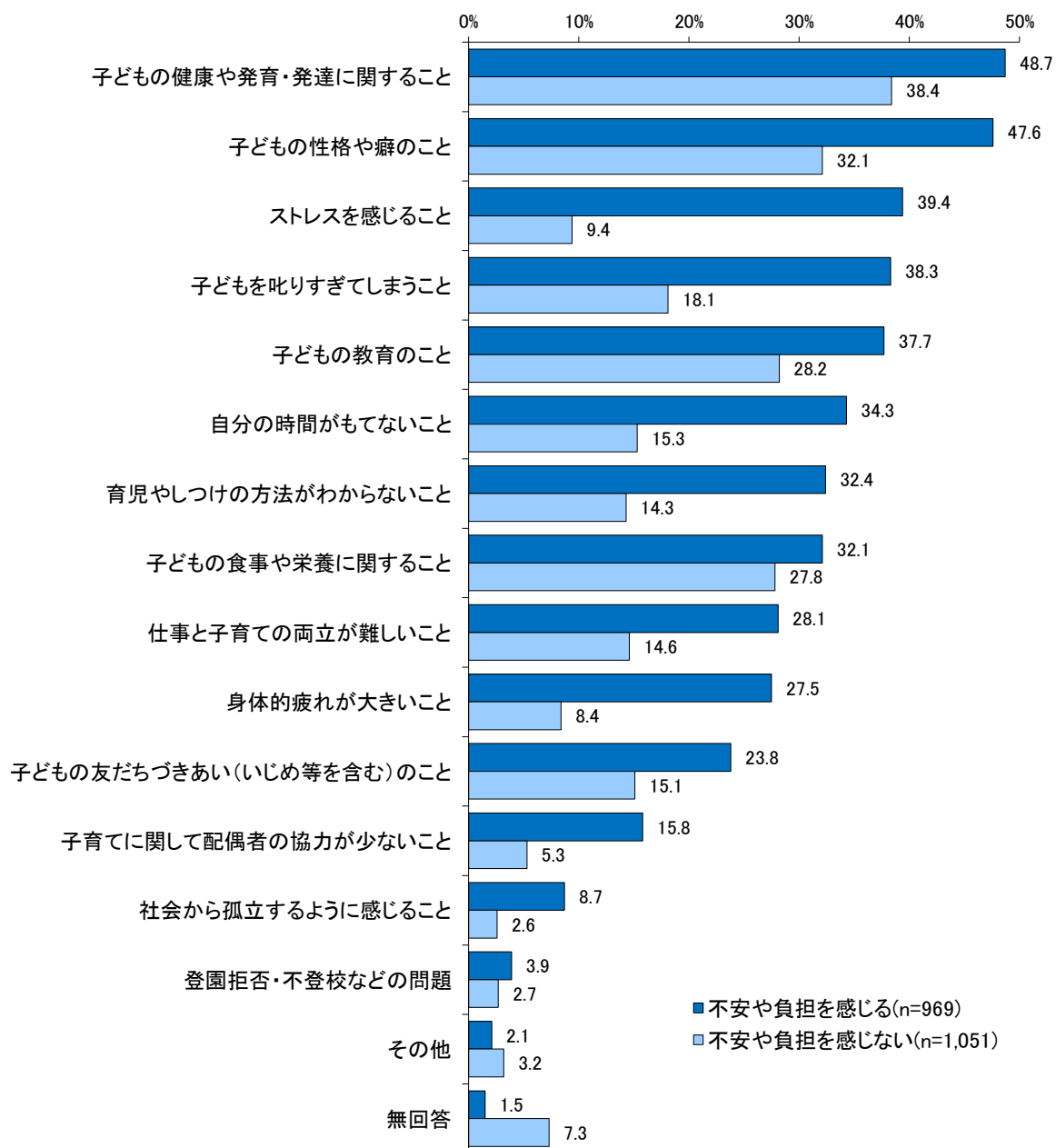
また、「子どもの教育のこと」と回答した割合は3～5歳で、「自分の時間がもてないこと」と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

【子育ての悩み（小学生・学年別）】



学年別にみると、多くの項目で1～3年生が4～6年生よりも高くなっているが、「子どもの教育のこと」と回答した割合は4～6年生で高くなっている。

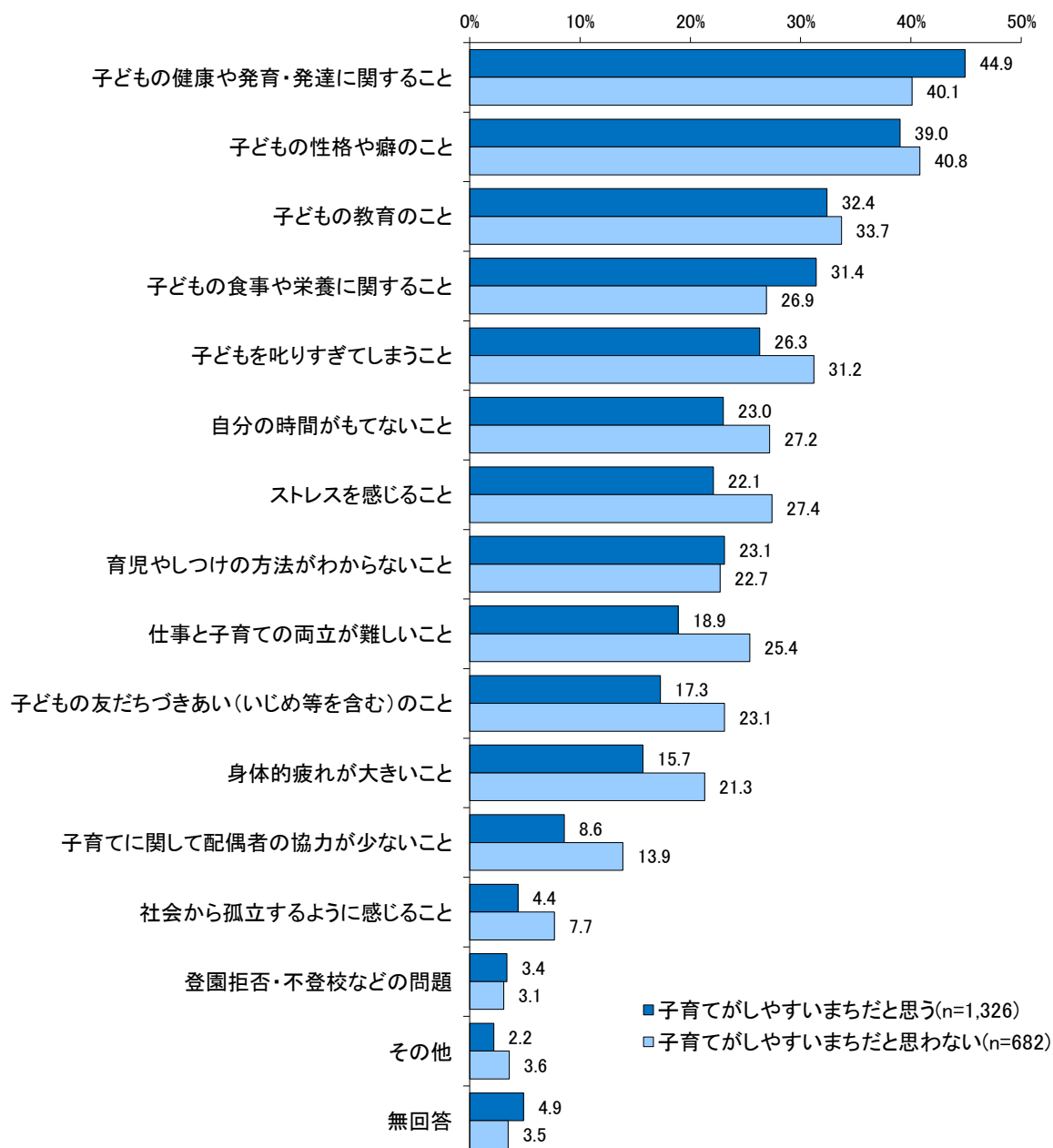
【子育ての悩み（就学前児童・子育てに関する不安や負担の有無別）】



子育てに関する不安や負担の有無別にみると、多くの項目で不安や負担を感じる層が感じない層よりも高くなっているが、特に「ストレスを感じること」、「子どもを叱りすぎてしまうこと」、「身体的疲れが大きいこと」、「自分の時間がもてないこと」、「育児やしつけの方法がわからないこと」と回答した割合の差が大きくなっている。



【子育ての悩み（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



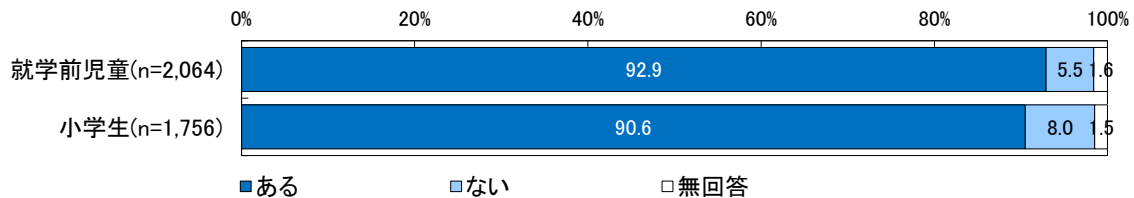
子育てがしやすいまちの評価別にみると、「子どもを叱りすぎてしまうこと」、「自分の時間がもてないこと」、「ストレスを感じること」、「仕事と子育ての両立が難しいこと」、「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）のこと」、「身体的疲れが大きいこと」、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(5) 相談先の有無

問 33 就学前児童・問 24 小学生

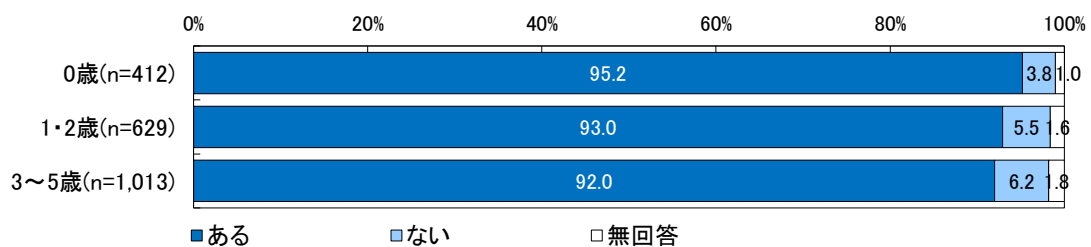
子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる先（人・場所）はありますか。【○は1つ】

【子育てについての相談先の有無】



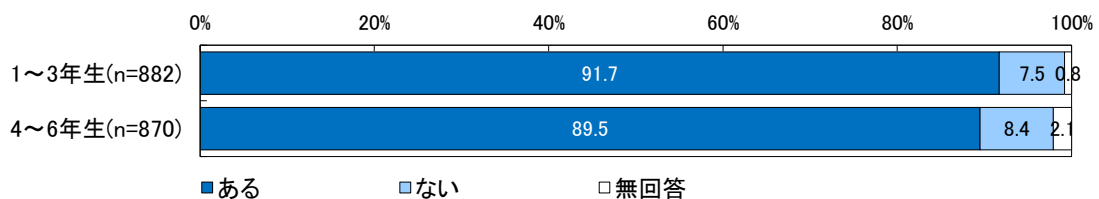
子育てについての相談先の有無について、「ある」と回答した割合が就学前児童で 92.9%、小学生で 90.6%となっている。

【子育てについての相談先の有無（就学前児童・年齢別）】



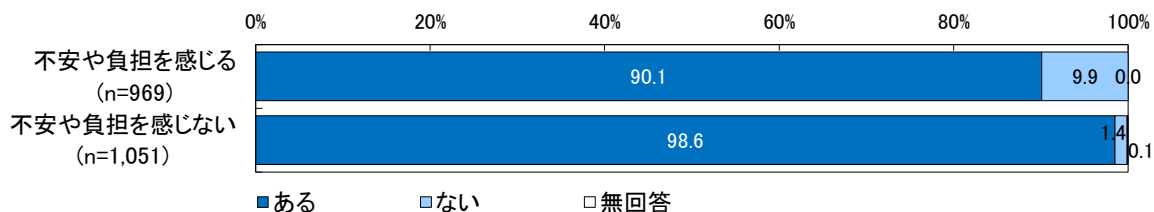
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【子育てについての相談先の有無（小学生・学年別）】



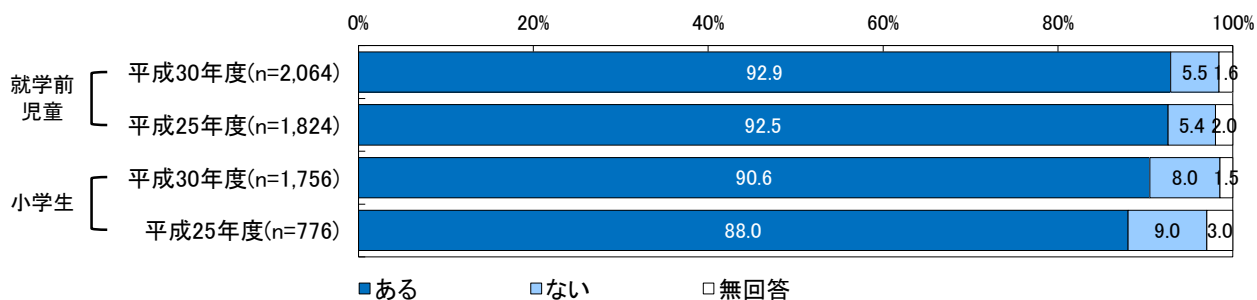
学年別にみると、大きな差はみられない。

【子育てについての相談先の有無（就学前児童・子育てへの不安や負担の程度別）】



子育てへの不安や負担の程度別にみると、不安や負担を感じる層で相談先が「ない」と回答した割合が高くなっている。

【子育てについての相談先の有無（前回調査結果との比較）】



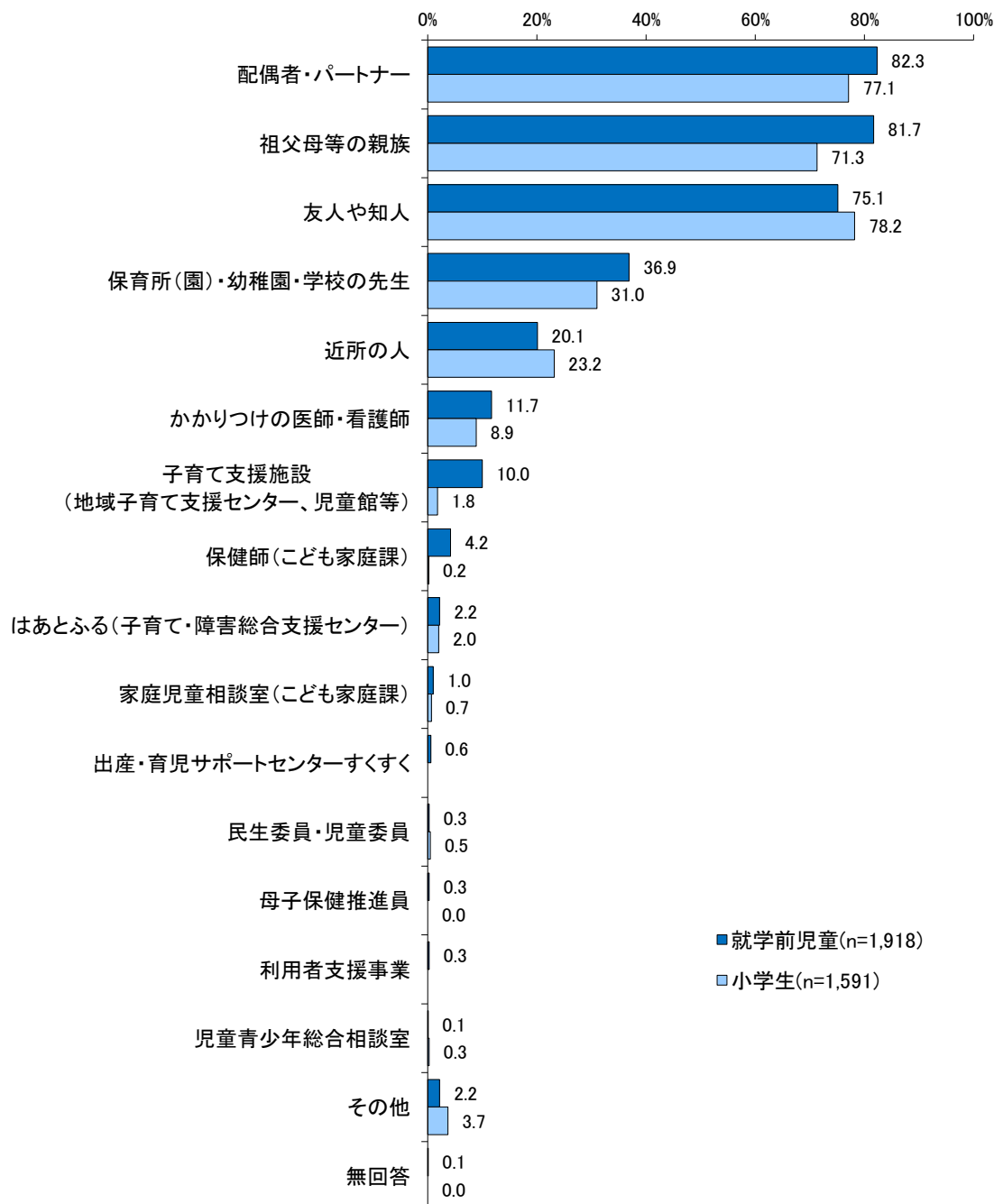
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

問 33・問 24 で「1 ある」と回答した人のみ回答

問 33-1 就学前児童・問 24-1 小学生

気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【〇は当てはまるものすべて】

【子育てについての相談先】



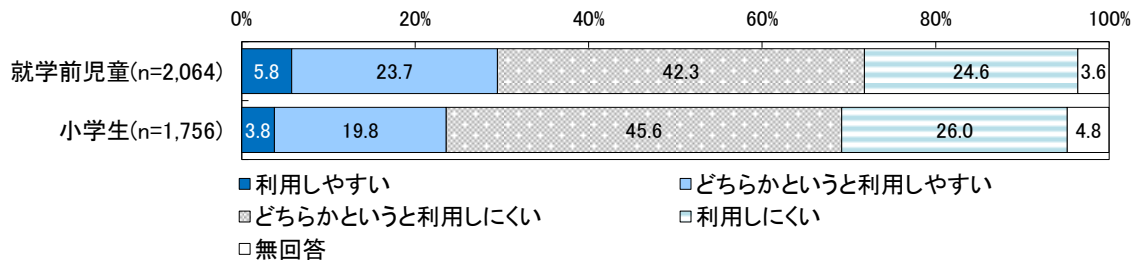
子育てについての相談先について、就学前児童では「配偶者・パートナー」と回答した割合が82.3%と最も高く、「祖父母等の親族」(81.7%)、「友人や知人」(75.1%)が続いている。

小学生では「友人や知人」と回答した割合が78.2%と最も高く、「配偶者・パートナー」(77.1%)、「祖父母等の親族」(71.3%)が続いている。

(6) 公的な相談窓口の利用のしやすさ

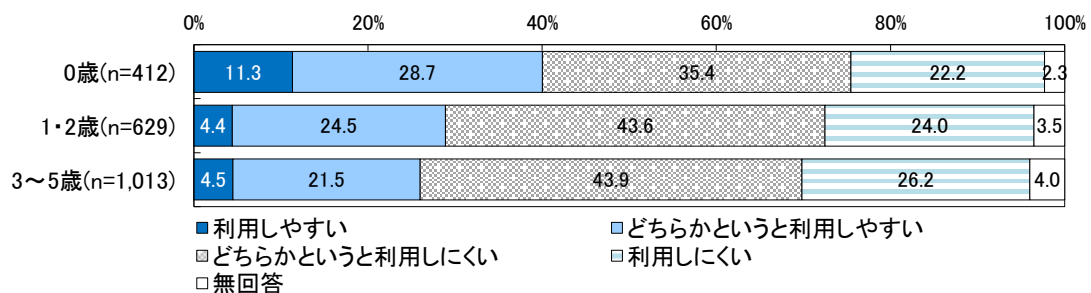
問 34 就学前児童・問 25 小学生  
市などの公的な相談窓口を利用しやすいと思いますか。【○は1つ】

【公的な相談窓口の利用のしやすさ】



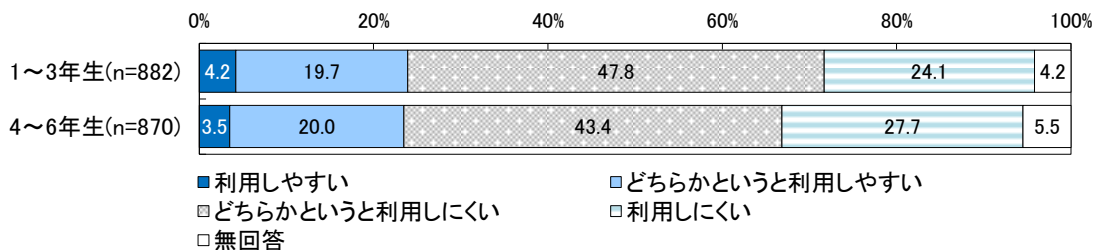
公的な相談窓口の利用のしやすさについて、『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという利用しやすい」）と回答した割合が就学前児童で 29.5%、小学生で 23.6%、『利用しにくい』（「利用しにくい」＋「どちらかという利用しにくい」）と回答した割合が就学前児童で 66.9%、小学生で 71.6%となっている。

【公的な相談窓口の利用のしやすさ（就学前児童・年齢別）】



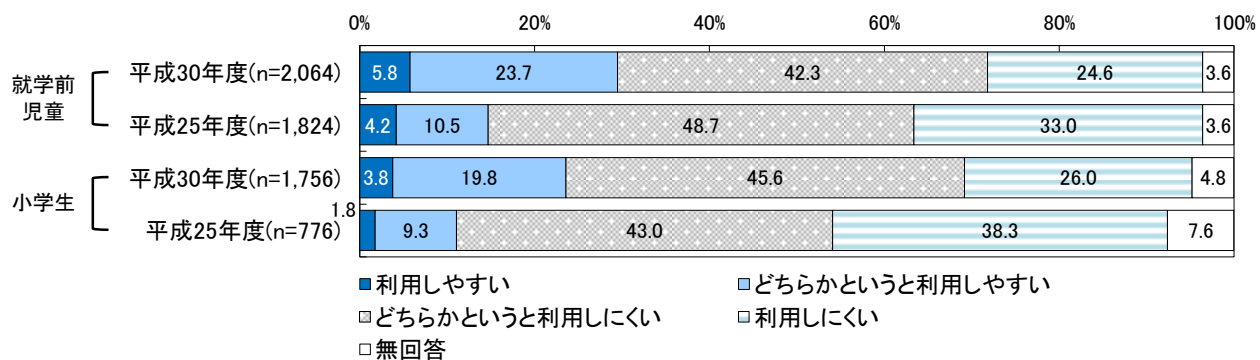
年齢別にみると、『利用しやすい』と回答した割合は0歳で高くなっている。

【公的な相談窓口の利用のしやすさ（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【公的な相談窓口の利用のしやすさ（前回調査結果との比較）】

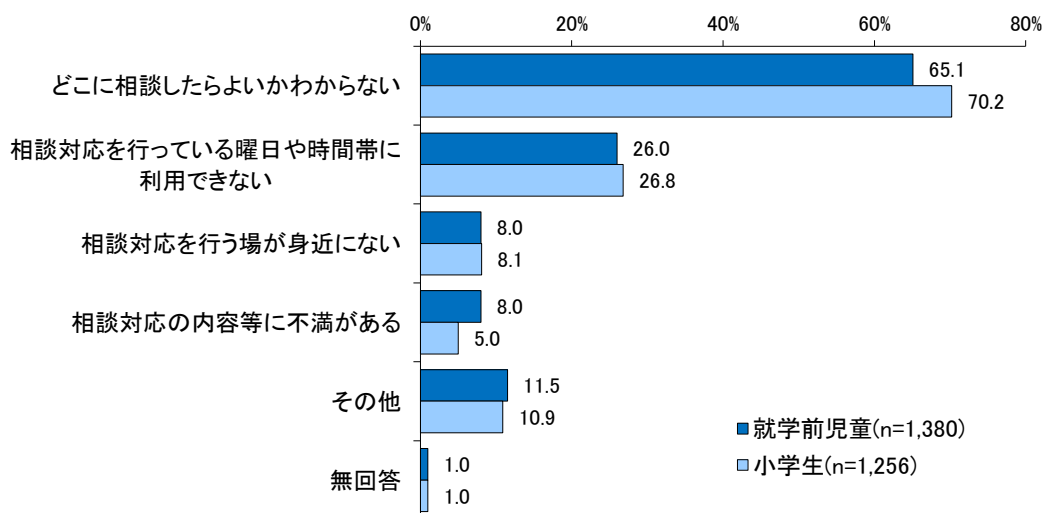


前回調査結果と比較すると、『利用しやすい』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

問 34・問 25 で「3 どちらかという利用しにくい」または「4 利用しにくい」と回答した人のみ回答

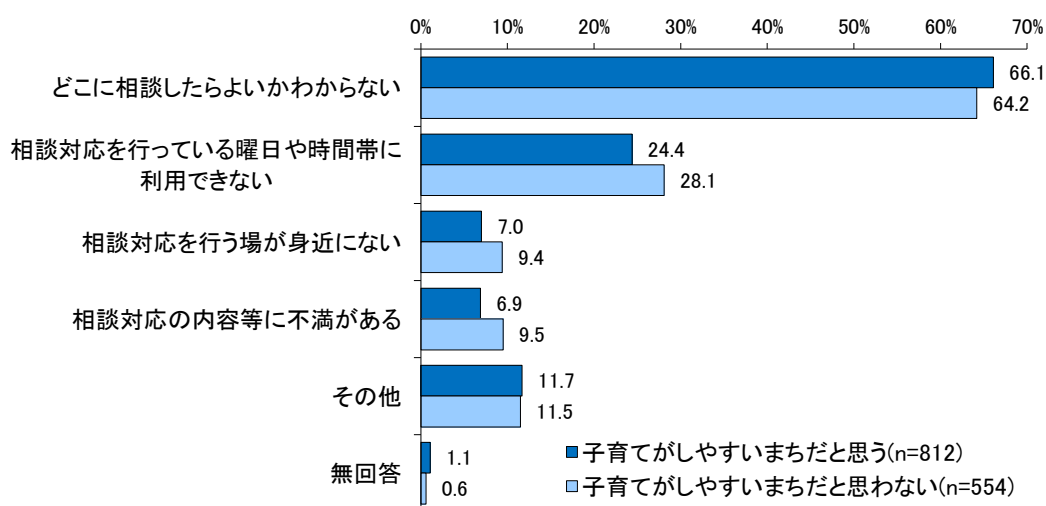
問 34-1 就学前児童・問 25-1 小学生  
 利用しにくいと思う理由は何ですか。【〇は当てはまるものすべて】

【公的な相談窓口を利用しにくい理由】



公的な相談窓口を利用しにくい理由について、「どこに相談したらよいかわからない」と回答した割合が最も高く、就学前児童で 65.1%、小学生で 70.2%であり、次いで「相談対応を行っている曜日や時間帯に利用できない」(就学前児童 26.0%・小学生 26.8%)となっている。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由(就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別)】



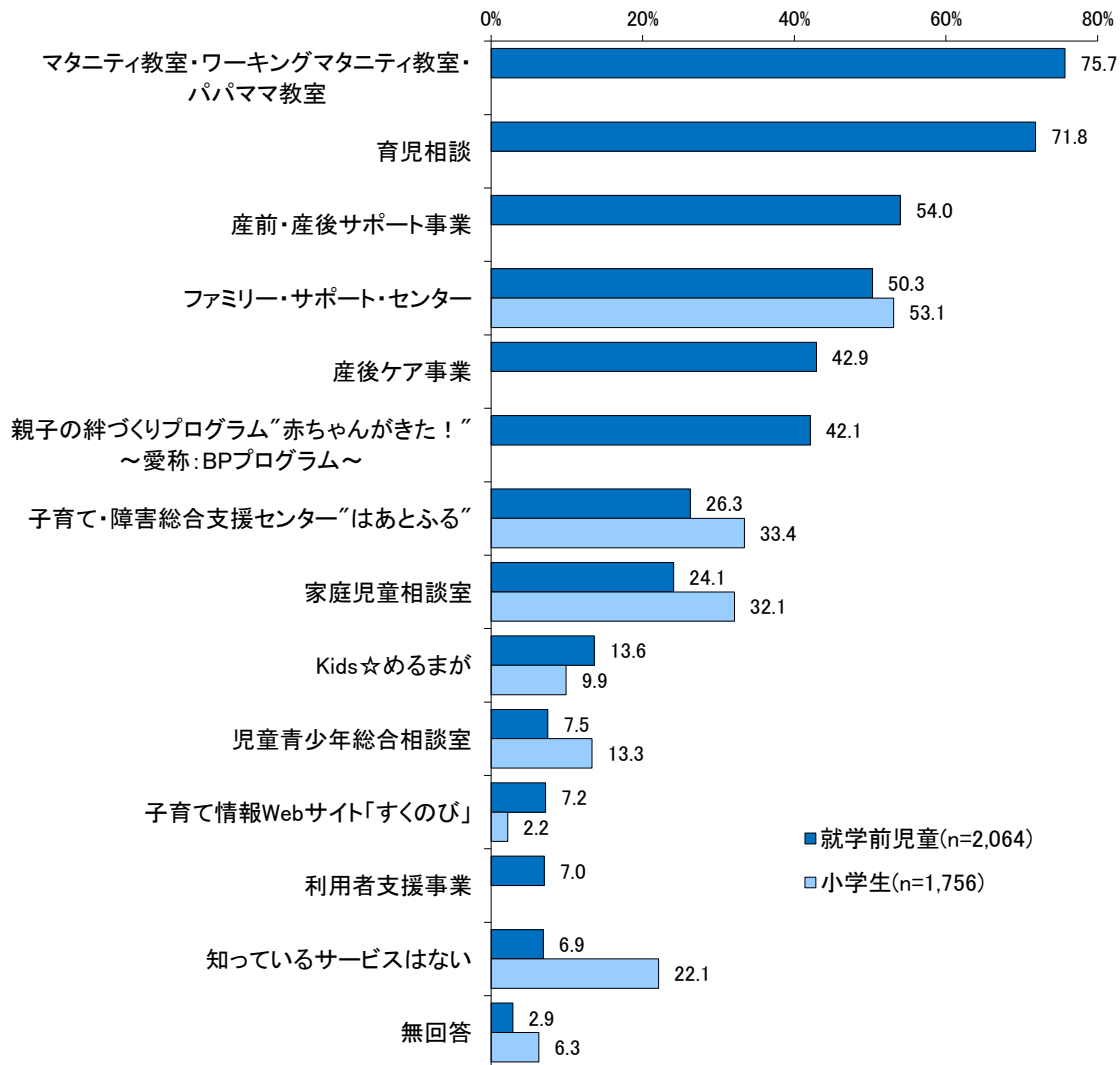
子育てがしやすいまちの評価別にみると、大きな差はみられない。

(7) 子育て支援サービスの認知度

問 26 就学前児童・問 17 小学生

子育て支援サービスで知っているものを回答してください。【〇は知っているものすべて】

【知っている子育て支援サービス】

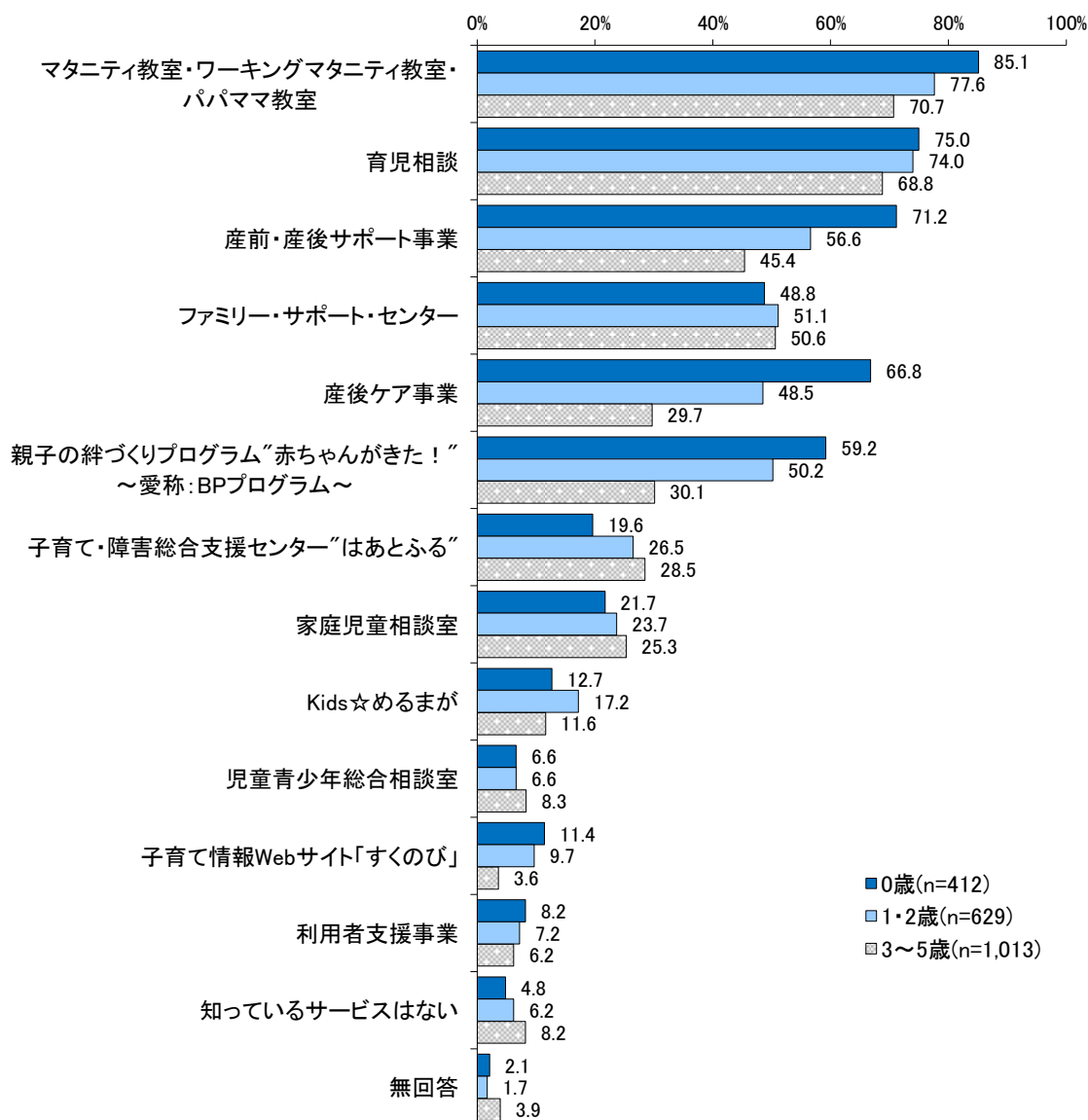


知っている子育て支援サービスについて、就学前児童では「マタニティ教室・ワーキングマタニティ教室・パパママ教室」(75.7%)、「育児相談」(71.8%)と回答した割合が高く、「利用者支援事業」、「子育て情報Webサイト『すくのび』」、「児童青少年総合相談室」、「Kids☆めるまが」と回答した割合が低くなっている。

小学生では「ファミリー・サポート・センター」と回答した割合が高く、「子育て情報Webサイト『すくのび』」、「Kids☆めるまが」、「児童青少年総合相談室」と回答した割合が低くなっている。



【知っている子育て支援サービス（就学前児童・年齢別）】



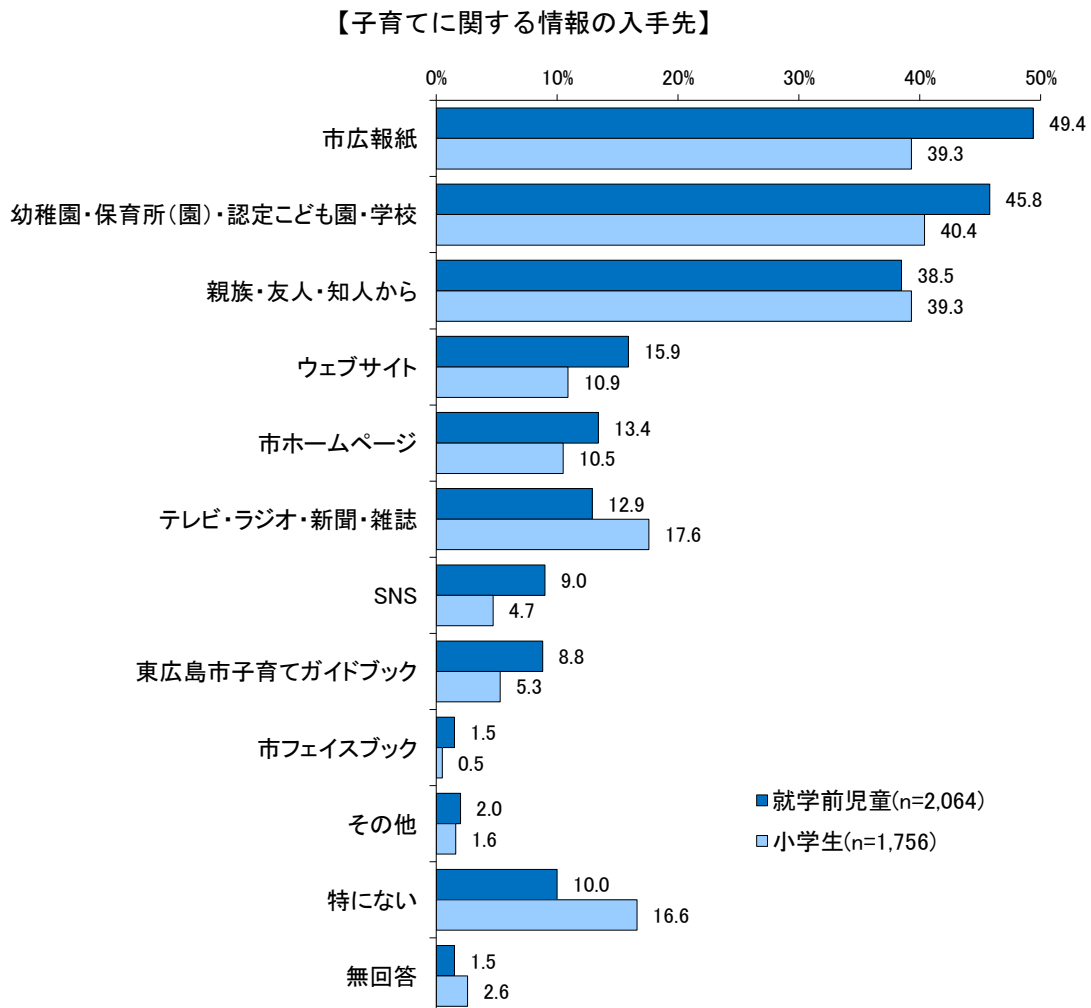
年齢別にみると、「産前・産後サポート事業」、「産後ケア事業」、「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”～愛称：BPプログラム～」と回答した割合は年齢が低くなるほど高くなっている。

また、サービスの情報を周知する「子育て情報Webサイト『すくのび』」、「Kids☆めるまが」と回答した割合はいずれの年齢層でも低くなっている。

(8) 子育てに関する情報の入手方法

問 36 就学前児童・問 27 小学生

どのようにして子育て支援に関する情報を入手していますか。【〇は当てはまるものすべて】



子育てに関する情報の入手先について、就学前児童では「市広報紙」と回答した割合が49.4%と最も高く、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・学校」(45.8%)、「親族・友人・知人から」(38.5%)が続いている。

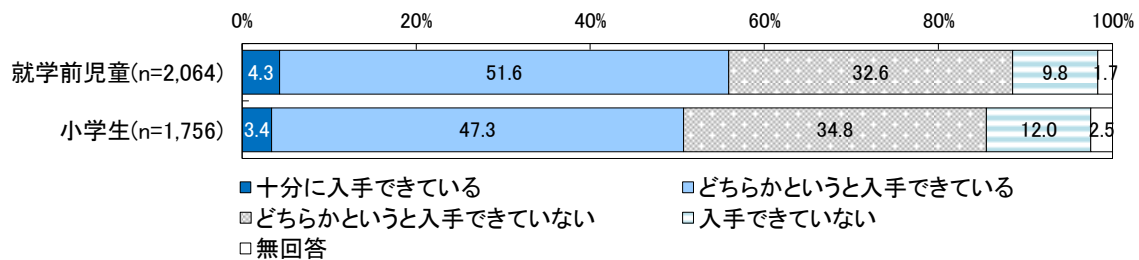
小学生では「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・学校」と回答した割合が40.4%と最も高く、「市広報紙」、「親族・友人・知人から」(39.3%)が続いている。

(9) 子育てに関する情報の入手状況

問 37 就学前児童・問 28 小学生

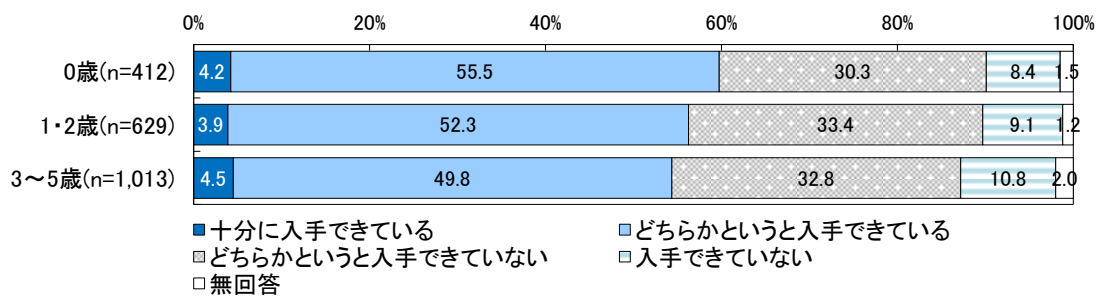
子育て支援に関する情報を十分に入手できていると思いますか。【〇は1つ】

【子育てに関する情報の入手状況】



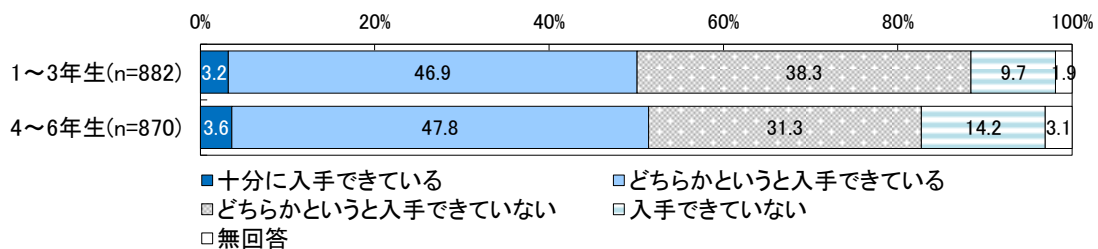
子育てに関する情報の入手状況について、『入手できている』（「十分に入手できている」＋「どちらかという入手できている」と回答した割合が就学前児童で55.9%、小学生で50.7%、『入手できていない』（「入手できていない」＋「どちらかという入手できていない」と回答した割合が就学前児童で42.4%、小学生で46.8%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・年齢別）】



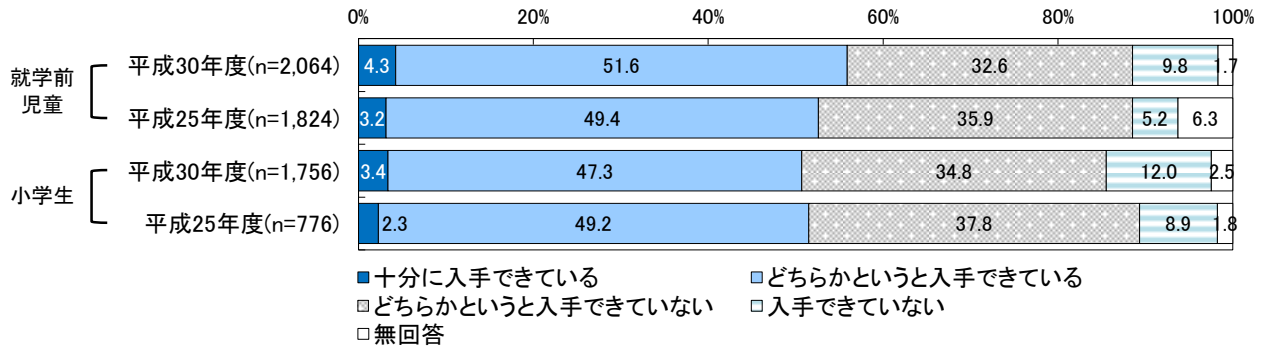
年齢別にみると、年齢が低いほど『入手できている』と回答した割合が高くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【子育てに関する情報の入手状況（前回調査結果との比較）】



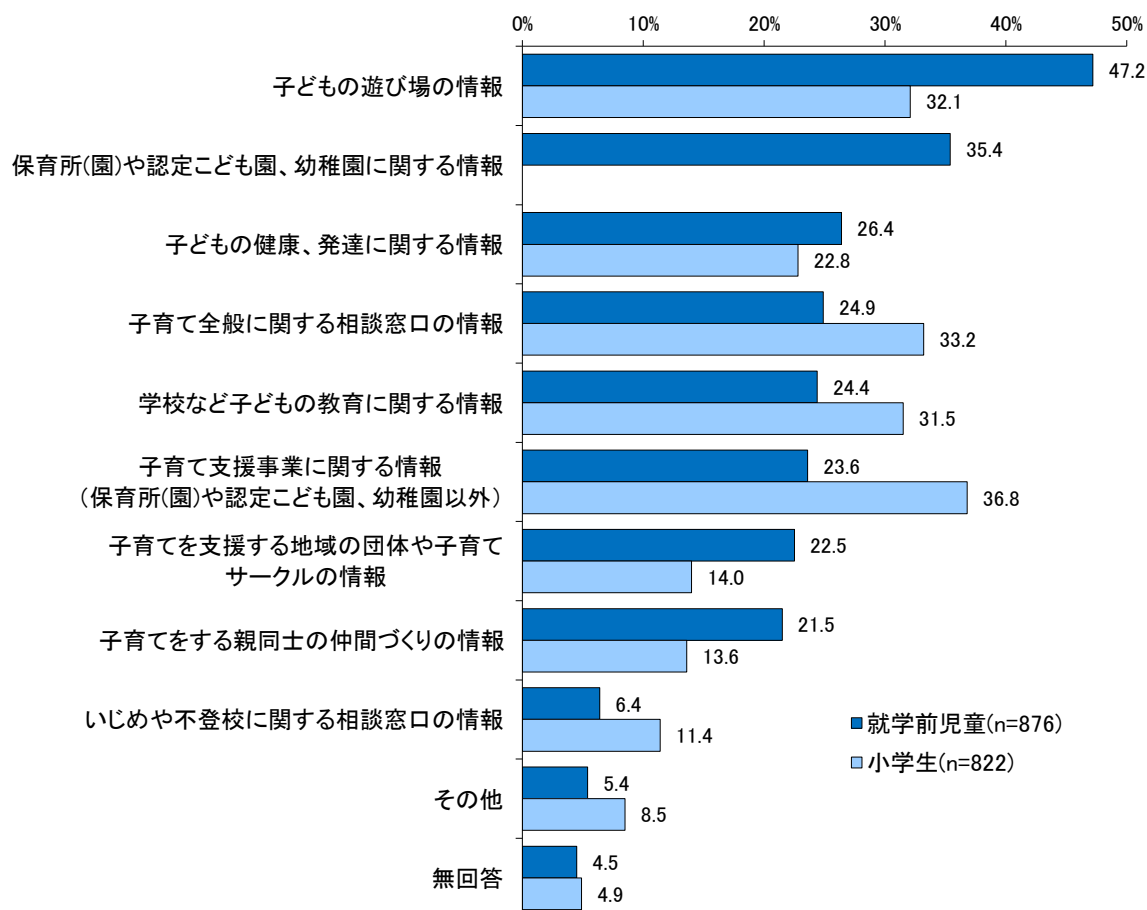
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

問 37・問 28 で「3 どちらかという入手できていない」または「4 入手できていない」と回答した人のみ回答

問 37-1 就学前児童・問 28-1 小学生

どのような情報が不足していると思いますか。【〇は当てはまるものすべて】

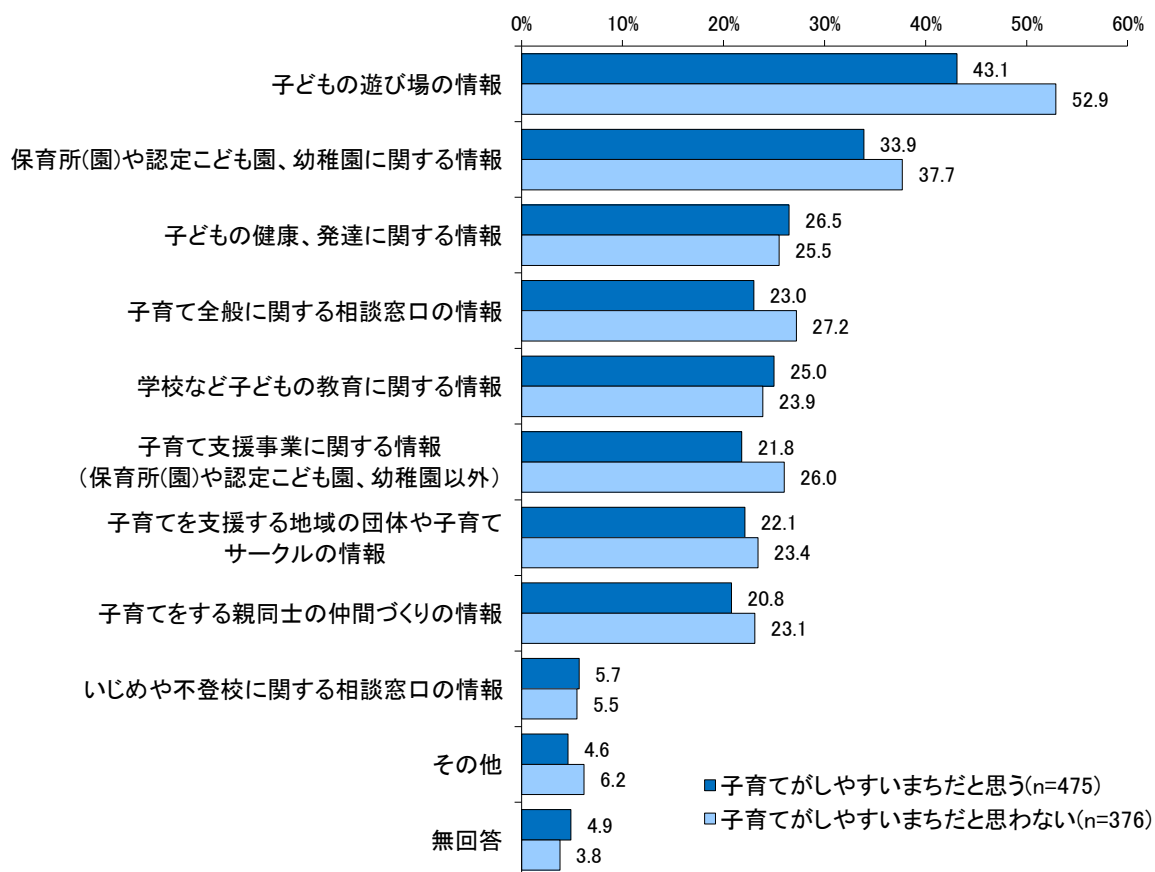
【不足していると思う子育てに関する情報】



不足していると思う子育てに関する情報について、就学前児童では「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が47.2%と最も高く、次いで「保育所(園)や認定こども園、幼稚園に関する情報」(35.4%)となっている。

小学生では「子育て支援事業に関する情報(保育所(園)や認定こども園、幼稚園以外)」と回答した割合が36.8%と最も高く、「子育て全般に関する相談窓口の情報」(33.2%)、「子どもの遊び場の情報」(32.1%)、「学校など子どもの教育に関する情報」(31.5%)が続いている。

【不足していると思う子育てに関する情報（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



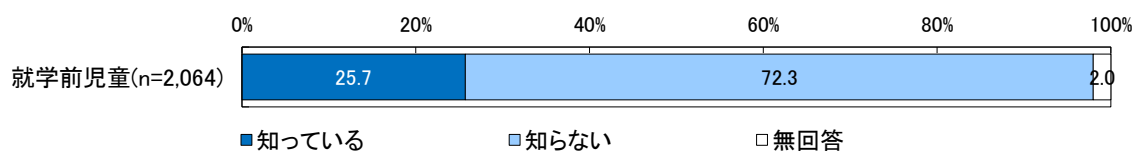
子育てがしやすいまちの評価別にみると、「子どもの遊び場の情報」、「保育所（園）や認定こども園、幼稚園に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」、「子育て支援事業に関する情報（保育所（園）や認定こども園、幼稚園以外）」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(10) 「出産・育児サポートセンターすくすく」の認知度

問 39 就学前児童

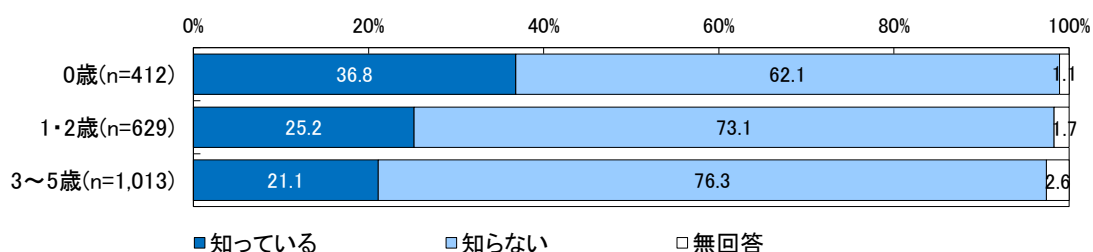
「出産・育児サポートセンターすくすく」を知っていますか。【○は1つ】

【「出産・育児サポートセンターすくすく」の認知度】



「出産・育児サポートセンターすくすく」の認知度について、「知っている」と回答した割合が 25.7%となっている。

【「出産・育児サポートセンターすくすく」の認知度（就学前児童・年齢別）】



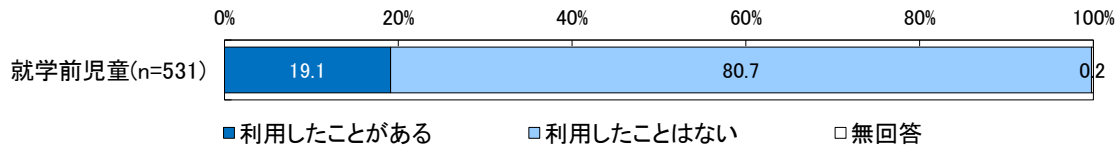
年齢別にみると、年齢が低いほど「知っている」と回答した割合は高くなっているが、0歳においても 36.8%と4割に満たない。

問 39 で「1 知っている」と回答した人のみ回答

問 39-1 就学前児童

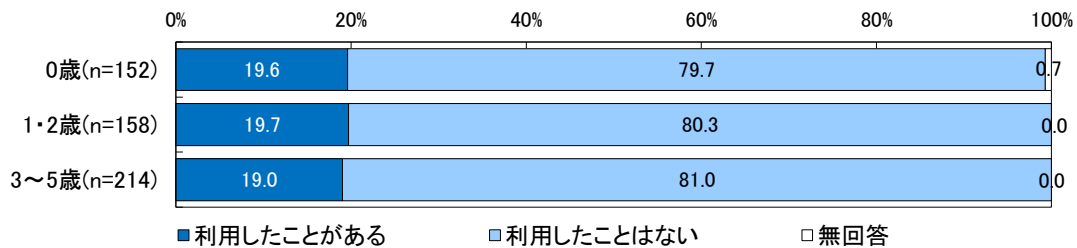
「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用したことがありますか。【〇は1つ】

【「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況】



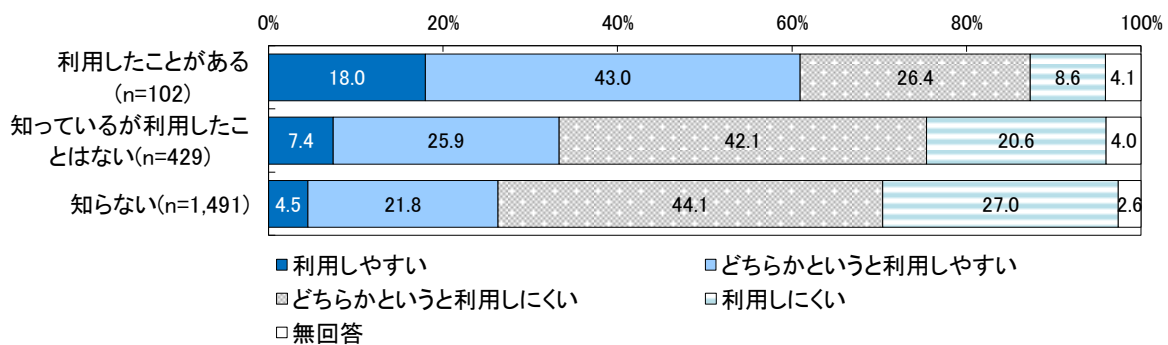
「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が 19.1%となっている。

【「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

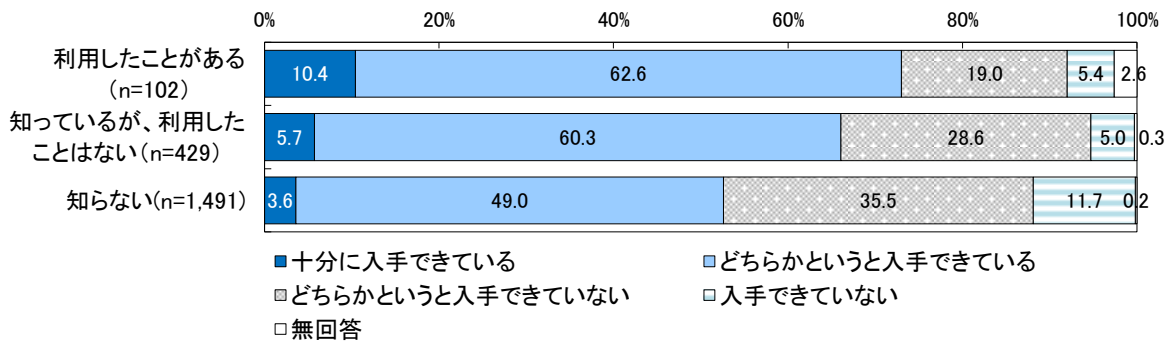
【公的な相談窓口の利用のしやすさ（就学前児童・「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況別）】



公的な相談窓口の利用のしやすさについて、「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況別にみると、利用したことがある層では公的な相談窓口を『利用しやすい』と回答した割合が高く、61.0%となっている。



【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況別）】



子育てに関する情報の入手状況について、「出産・育児サポートセンターすくすく」の利用状況別にみると、利用したことがある層では子育てに関する情報を『入手できている』と回答した割合が高く、73.0%となっている。

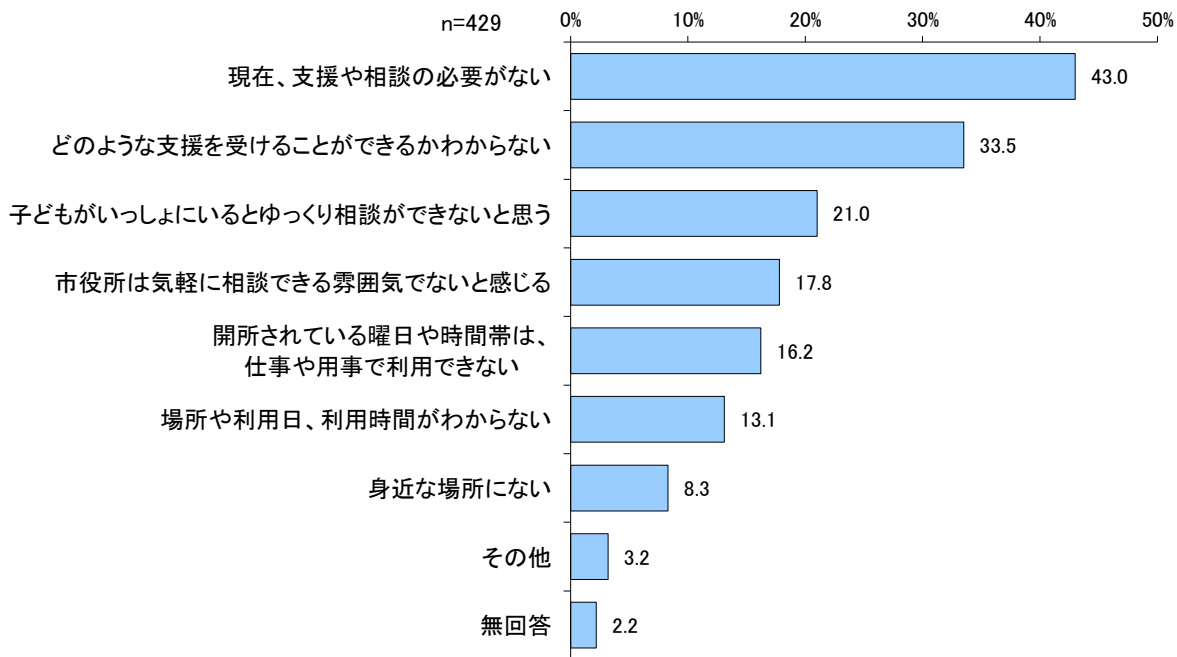
問 39-1 で「2 利用したことはない」と回答した人のみ回答

問 39-2 就学前児童

「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用しないのはなぜですか。

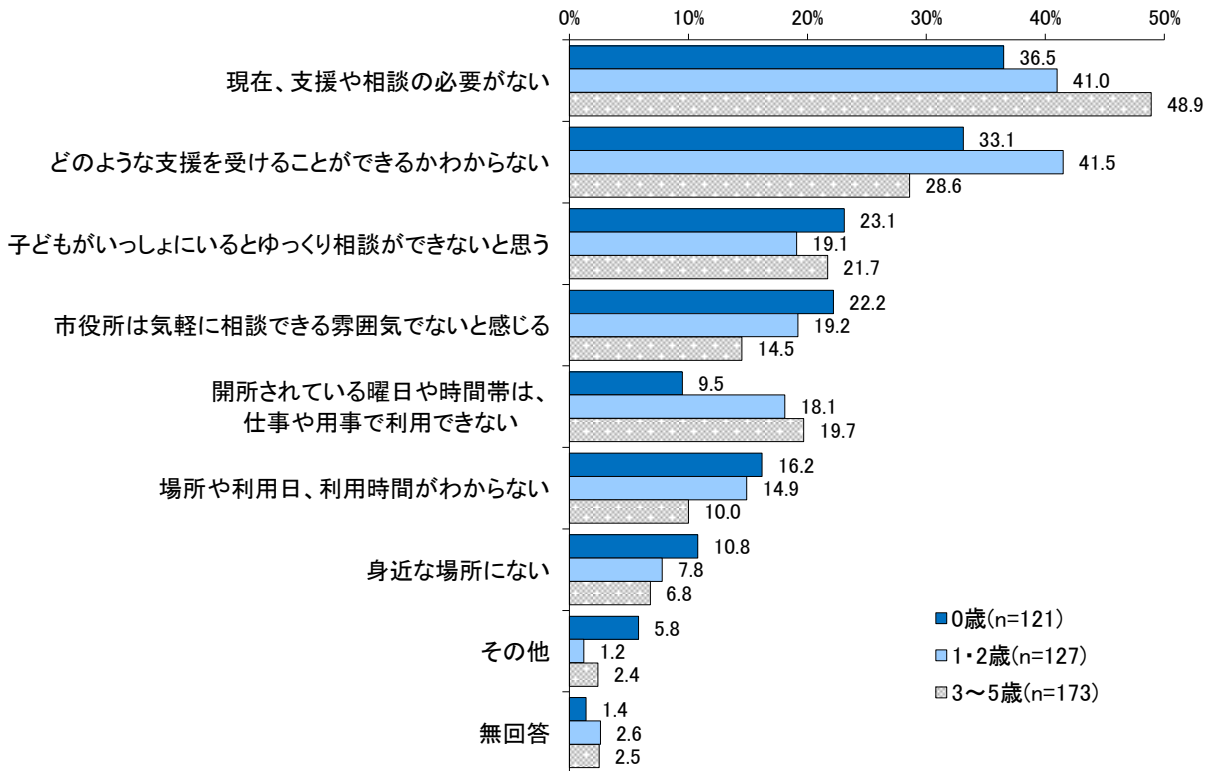
【〇は当てはまるものすべて】

【「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用しない理由】



「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用しない理由について、「現在、支援や相談の必要がない」を除くと、「どのような支援を受けることができるかわからない」と回答した割合が最も高く 33.5%であり、次いで「子どもがいっしょにいるとゆっくり相談ができないと思う」(21.0%) となっている。

【「出産・育児サポートセンターすくすく」を利用しない理由（就学前児童・年齢別）】

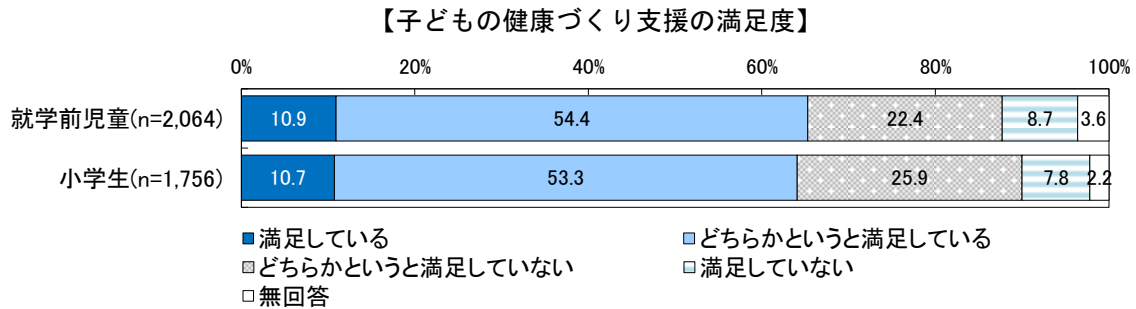


年齢別にみると、「どのような支援を受けることができるかわからない」と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

(11) 健康づくり支援の満足度

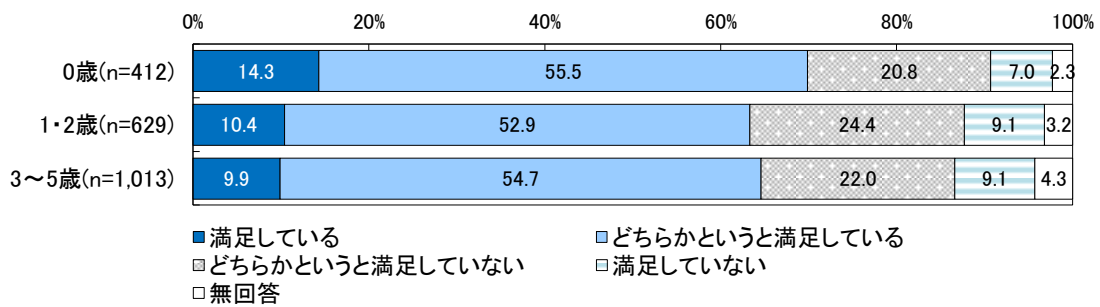
問 38 就学前児童・問 29 小学生

(1) あて名のお子さんへの健康づくりの支援に満足していますか。【〇は1つ】



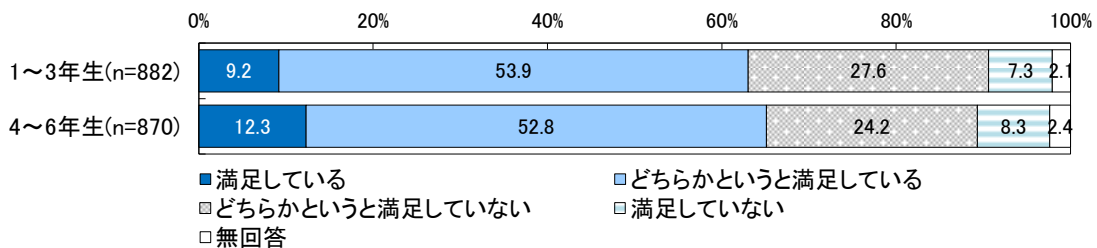
子どもの健康づくり支援の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合は就学前児童で 65.3%、小学生で 64.0%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合は就学前児童で 31.1%、小学生で 33.7%となっている。

**【子どもの健康づくり支援の満足度（就学前児童・年齢別）】**



年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は0歳で高くなっている。

**【子どもの健康づくり支援の満足度（小学生・学年別）】**

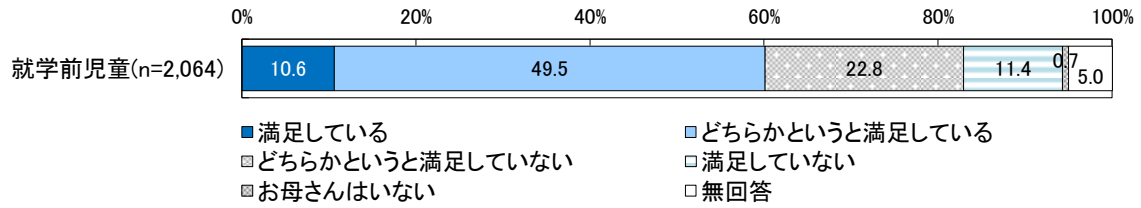


学年別にみると、大きな差はみられない。

問 38 就学前児童

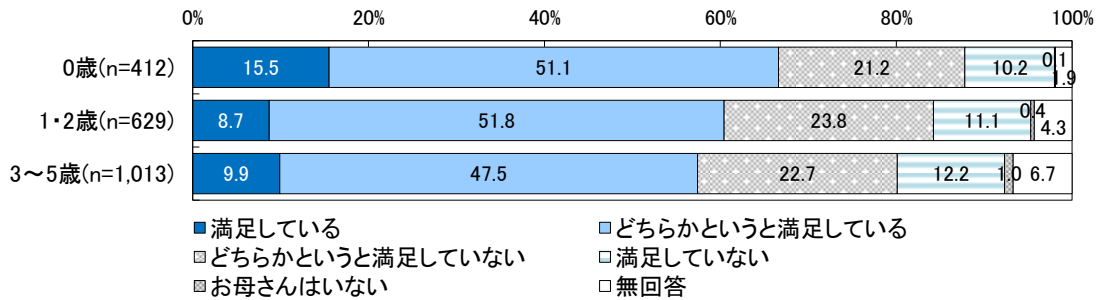
(2) 産前・産後のお母さんへの健康づくりの支援に満足していますか。【〇は1つ】

【産前・産後の健康づくり支援の満足度】



産前・産後の健康づくり支援の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合は60.1%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合は34.2%となっている。

【産前・産後の健康づくり支援の満足度（就学前児童・年齢別）】



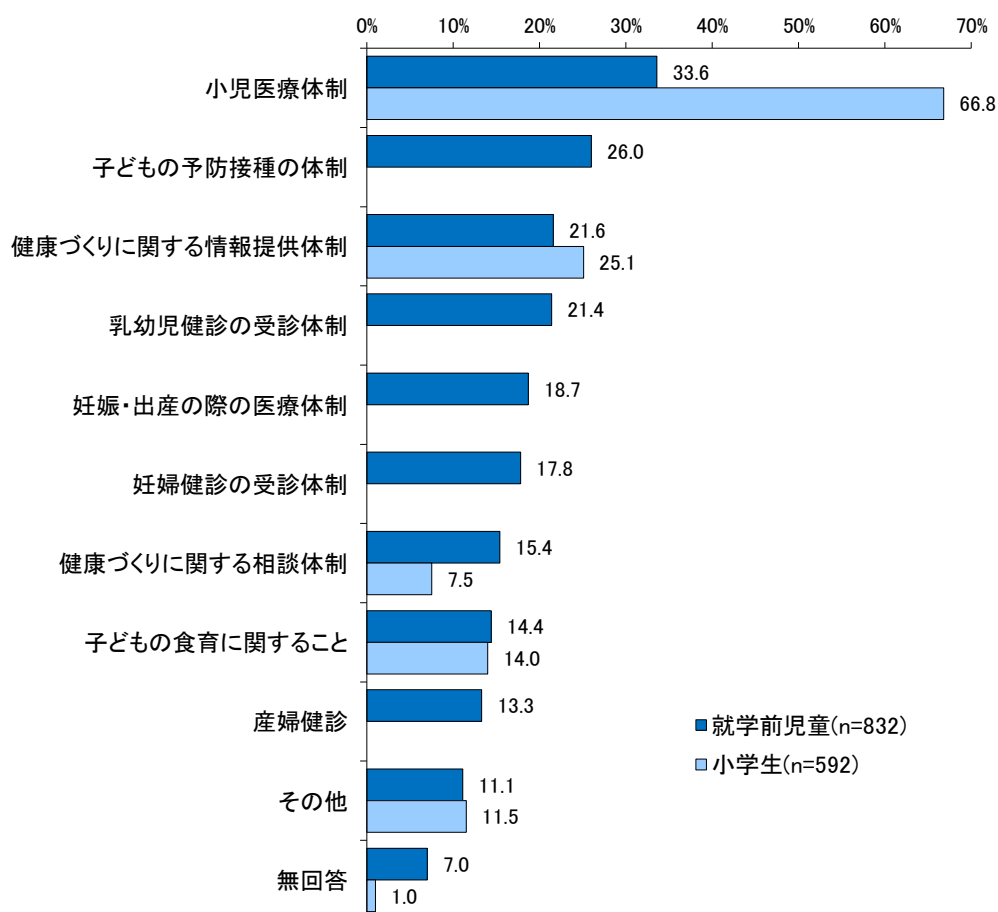
年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は0歳で高くなっている。

問 38(1)(2)・問 29 いずれかで「3 どちらかという満足していない」または「4 満足していない」と回答した人のみ回答

問 38-1 就学前児童・問 29-1 小学生

満足していないのは、どのようなことですか。【〇は当てはまるものすべて】

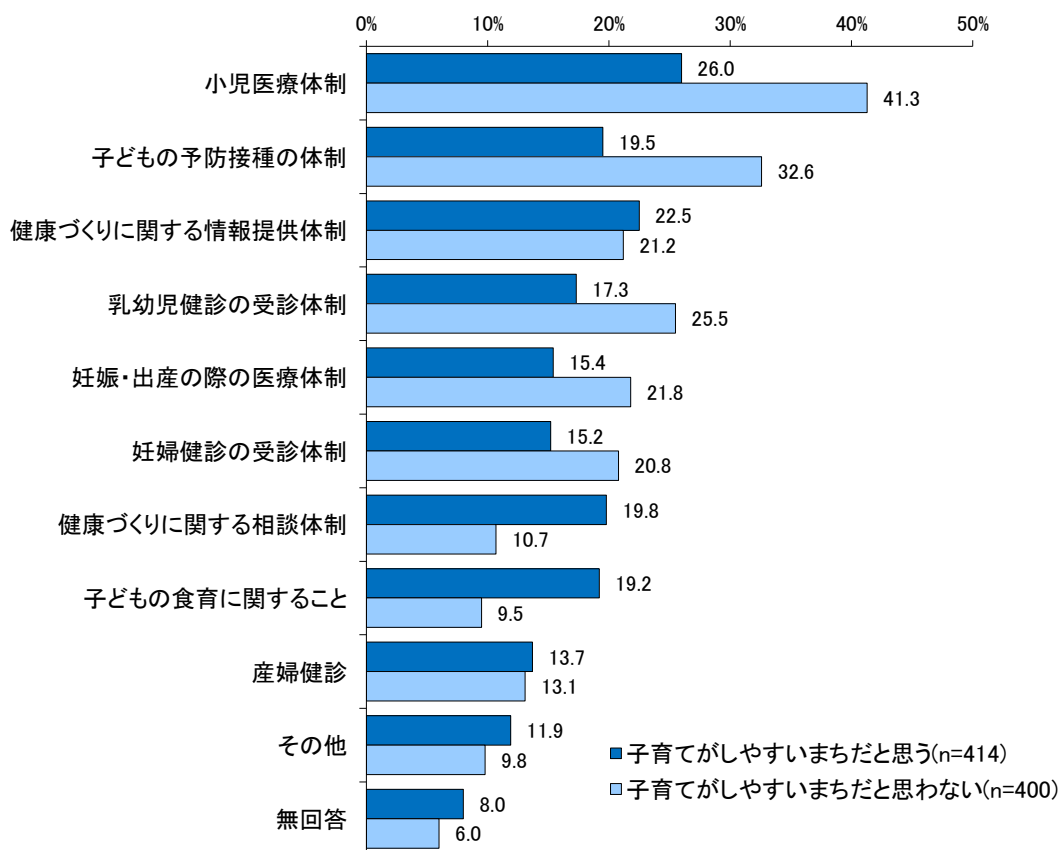
【健康づくり支援の満足していない内容】



健康づくり支援の満足していない内容について、就学前児童では「小児医療体制」と回答した割合が 33.6%と最も高く、次いで「子どもの予防接種の体制」(26.0%)となっている。

小学生では「小児医療体制」と回答した割合が 66.8%と最も高く、次いで「健康づくりに関する情報提供体制」(25.1%)となっている。

【健康づくり支援の満足していない内容（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



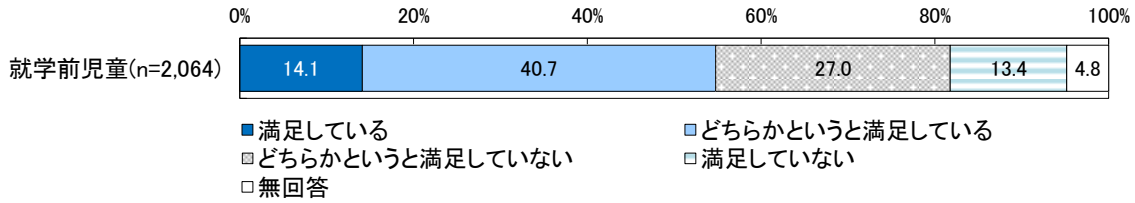
子育てがしやすいまちの評価別にみると、「小児医療体制」、「子どもの予防接種の体制」、「乳幼児健診の受診体制」、「妊娠・出産の際の医療体制」、「妊婦健診の受診体制」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(12) 教育・保育事業や一時的な保育を行う事業の満足度

問 40(1) 就学前児童

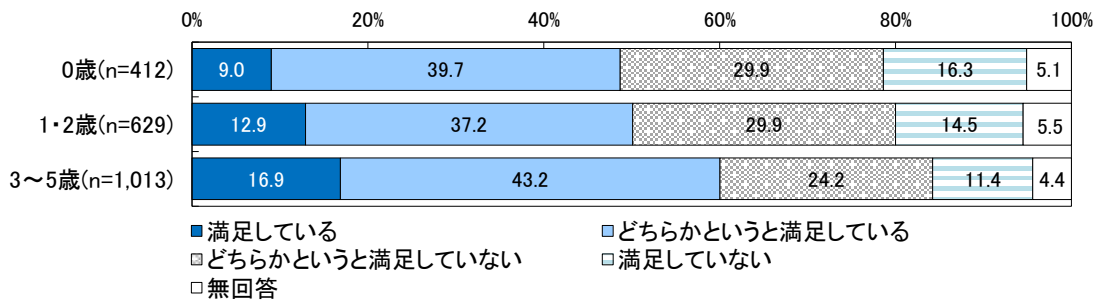
子育てと仕事を両立するための教育・保育事業に満足していますか。【○は1つ】

【教育・保育事業の満足度】



教育・保育事業の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合は54.8%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合は40.4%となっている。

【教育・保育事業の満足度（就学前児童・年齢別）】



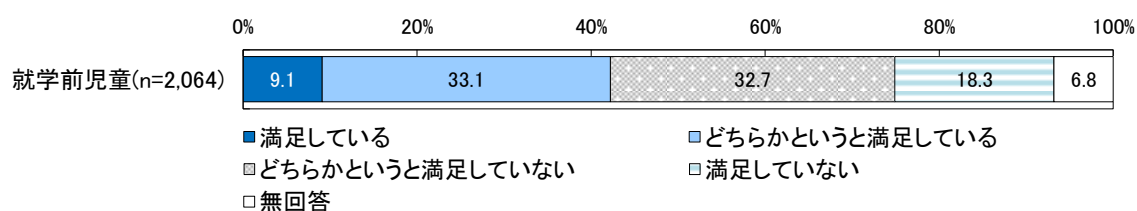
年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は3～5歳で高くなっている。



問 40(2) 就学前児童

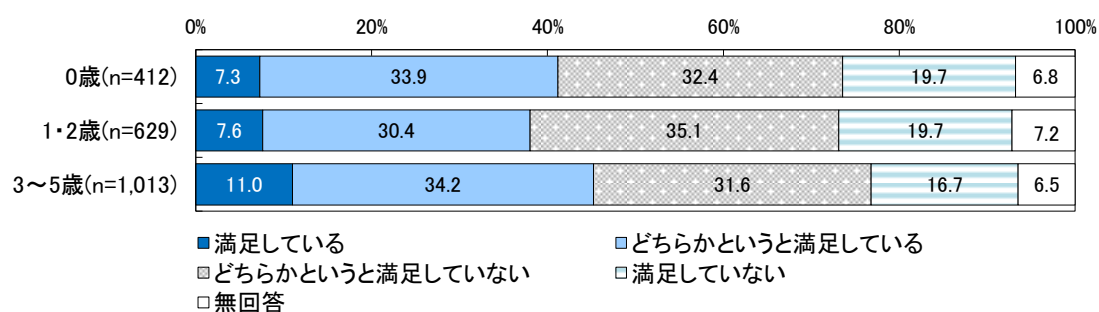
緊急時や保護者の用事の際などの一時的な保育を行う事業に満足していますか。【〇は1つ】

【一時的な保育を行う事業の満足度】



一時的な保育を行う事業の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合は 42.2%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合は 51.0%となっている。

【一時的な保育を行う事業の満足度（就学前児童・年齢別）】



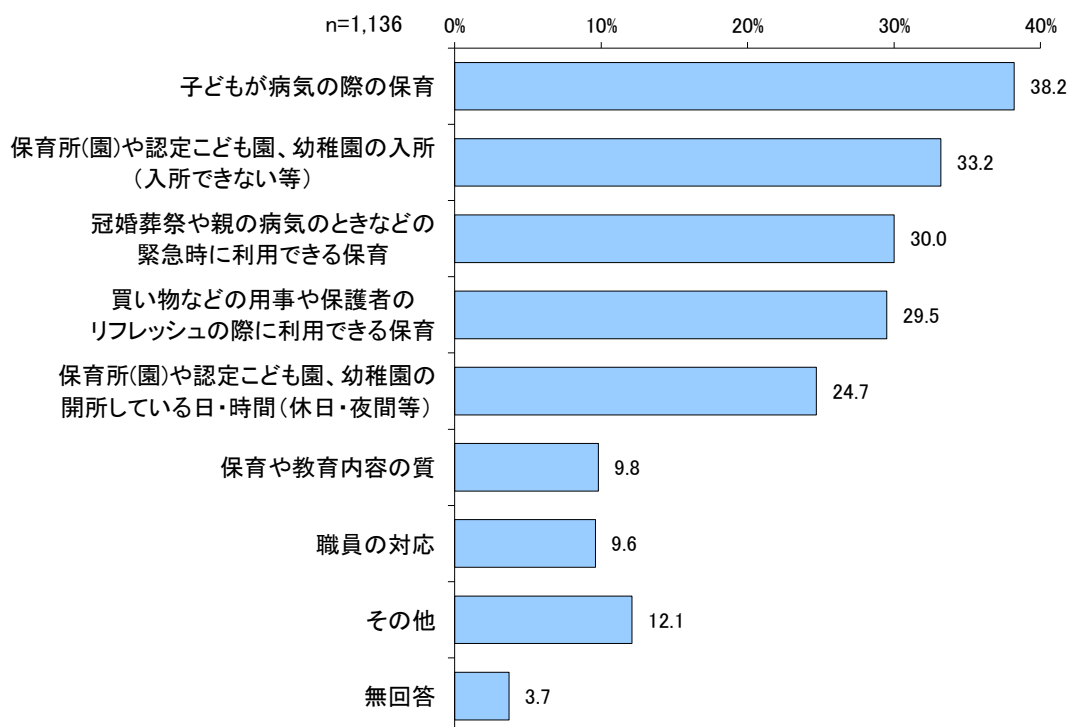
年齢別にみると、大きな差はみられない。

問 40(1)(2)いずれかで「3 どちらかという満足していない」または「4 満足していない」と回答した人のみ回答

問 40-1 就学前児童

満足していないのは、どのようなことですか。【〇は当てはまるものすべて】

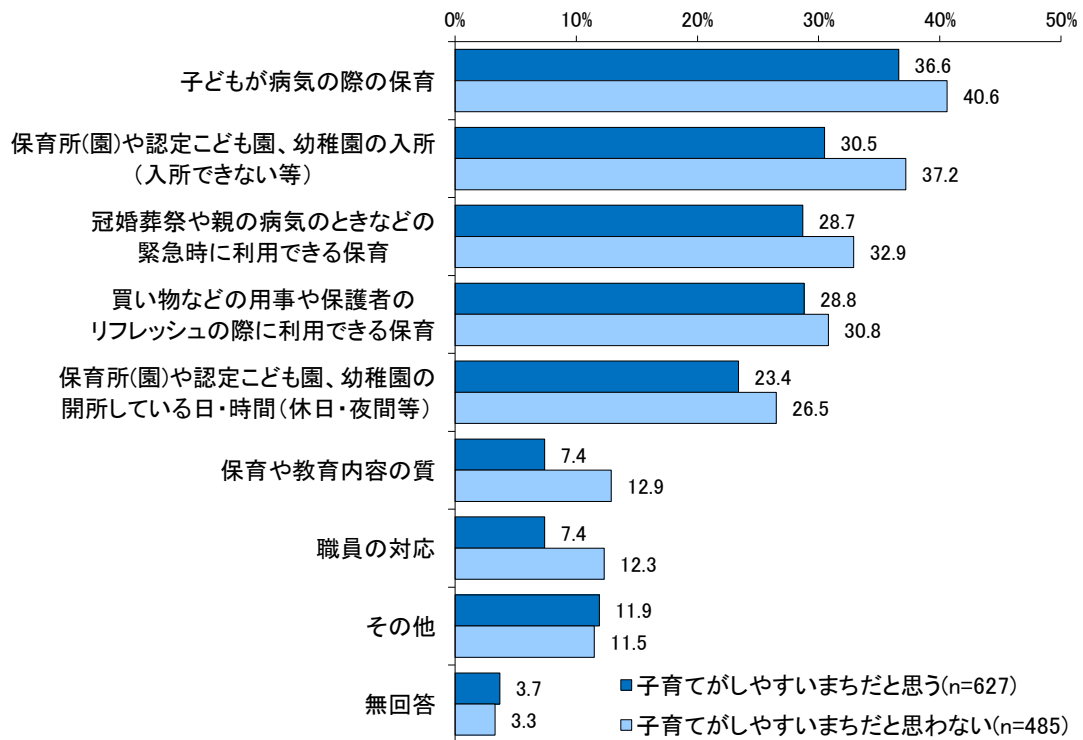
【教育・保育事業や一時的な保育を行う事業に満足していない理由】



教育・保育事業や一時的な保育を行う事業に満足していない理由について、「子どもが病気の際の保育」と回答した割合が 38.2%と最も高く、「保育所(園)や認定こども園、幼稚園の入所(入所できない等)」(33.2%)、「冠婚葬祭や親の病気の時などの緊急時に利用できる保育」(30.0%)、「買い物などの用事や保護者のリフレッシュの際に利用できる保育」(29.5%)、「保育所(園)や認定こども園、幼稚園の開所している日・時間(休日・夜間等)」(24.7%)が続いている。

【教育・保育事業や一時的な保育を行う事業に満足していない理由

(就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別)



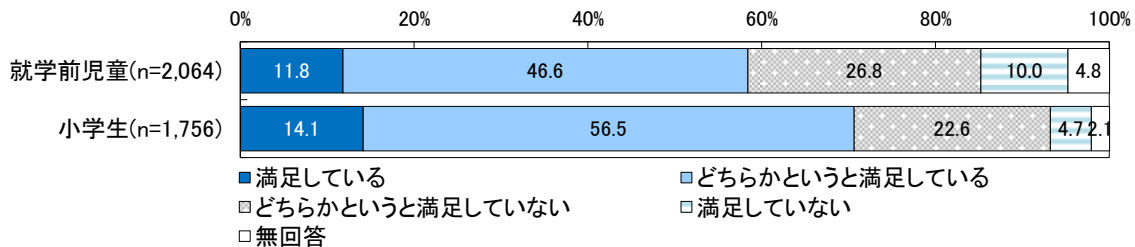
子育てがしやすいまちの評価別にみると、「保育所(園)や認定こども園、幼稚園の入所(入所できない等)」、「保育や教育内容の質」、「職員の対応」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(13) 子どもの地域交流や体験の満足度

問 41 就学前児童・問 30 小学生

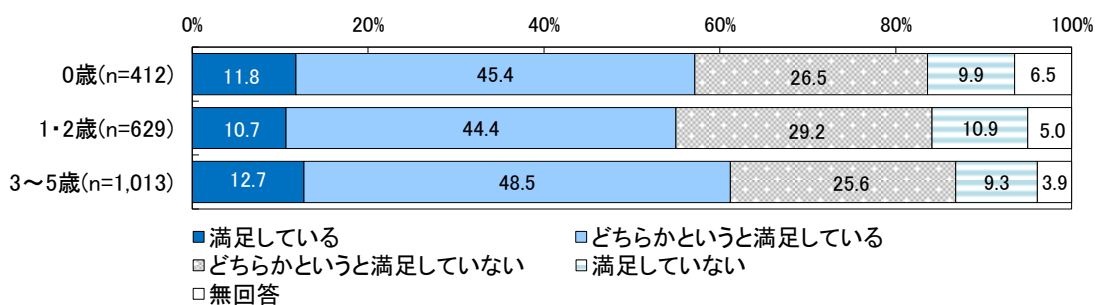
子どもが、地域の人と交流したり、地域の資源をいかしてさまざまな体験を行うことができる環境に満足していますか。【〇は1つ】

【子どもの地域交流や体験の満足度】



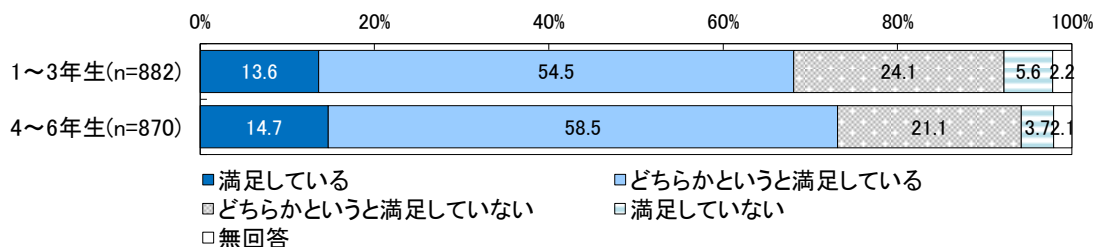
子どもの地域交流や体験の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」）と回答した割合は就学前児童で 58.4%、小学生で 70.6%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかという満足していない」）と回答した割合は就学前児童で 36.8%、小学生で 27.3%となっている。

【子どもの地域交流や体験の満足度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

【子どもの地域交流や体験の満足度（小学生・学年別）】



学年別にみると、『満足している』と回答した割合は4～6年生が1～3年生よりも高くなっている。

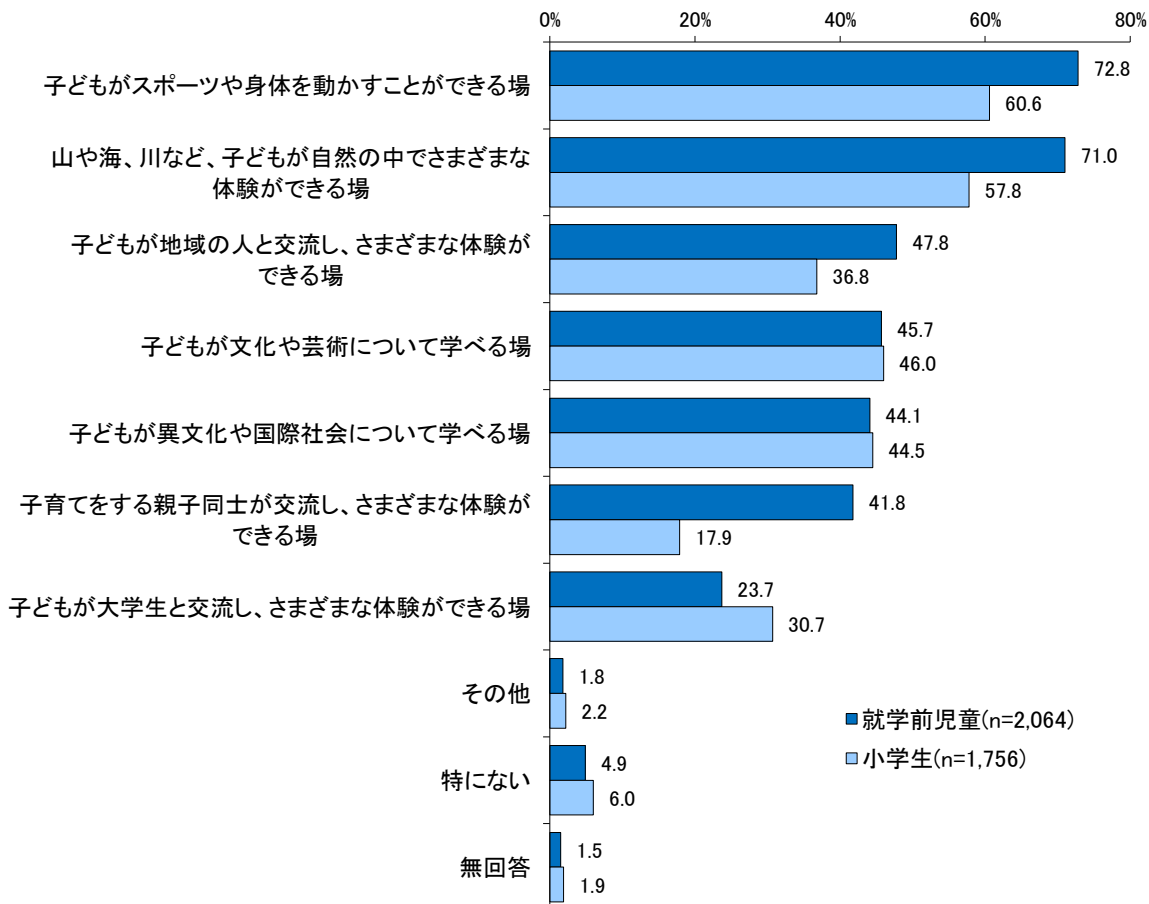
(14) 子どもの地域交流や体験場の参加希望

問 42 就学前児童・問 31 小学生

次のような場があったら参加したい、あるいは子どもを参加させたいと思いますか。

【○は当てはまるものすべて】

【子どもを参加させたい地域交流や体験の場】



子どもを参加させたい地域交流や体験の場について、就学前児童では「子どもがスポーツや身体を動かすことができる場」と回答した割合が72.8%と最も高く、次いで「山や海、川など、子どもが自然の中でさまざまな体験ができる場」(71.0%)となっている。

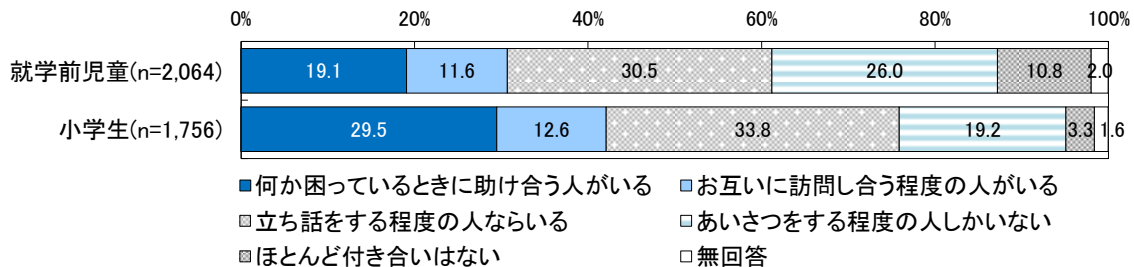
小学生では「子どもがスポーツや身体を動かすことができる場」と回答した割合が60.6%と最も高く、次いで「山や海、川など、子どもが自然の中でさまざまな体験ができる場」(57.8%)となっている。

(15) 近所付き合いの程度

問 32 就学前児童・問 23 小学生

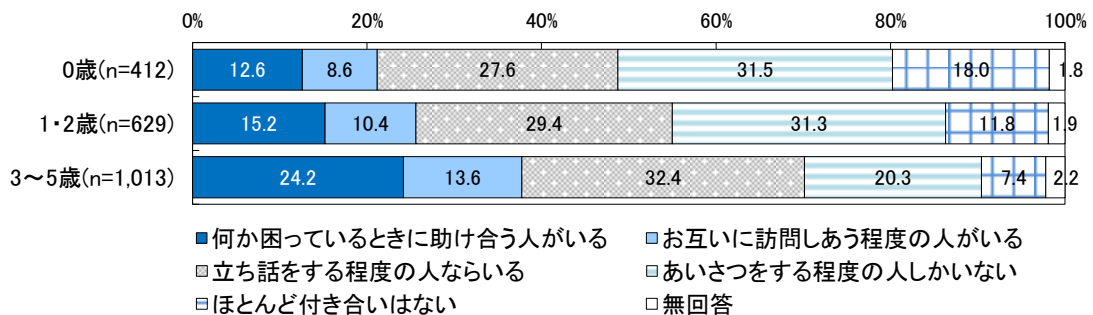
あて名のお子さんのご家族は、近所の人とどの程度付き合いがありますか。【〇は1つ】

【近所付き合いの程度】



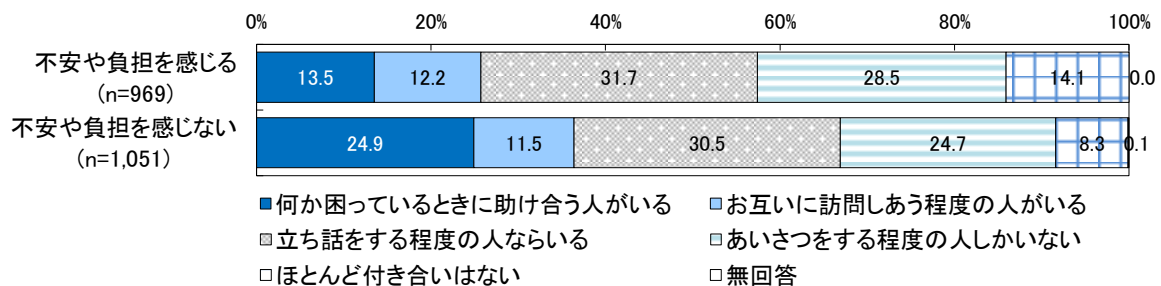
近所付き合いの程度について、「何か困っているときに助け合う人がいる」と回答した割合が就学前児童で19.1%、小学生で29.5%、「お互いに訪問し合う程度の人がある」と回答した割合が就学前児童で11.6%、小学生で12.6%であり、『深い付き合いがある』（「何か困っているときに助け合う人がいる」+「お互いに訪問し合う程度の人がある」）家庭の割合は小学生が就学前児童よりも高くなっている。

【近所付き合いの程度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、年齢が高くなるほど、『深い付き合いがある』家庭の割合が高くなっている。

【近所付き合いの程度（就学前児童・子育てに対する不安・負担の有無別）】



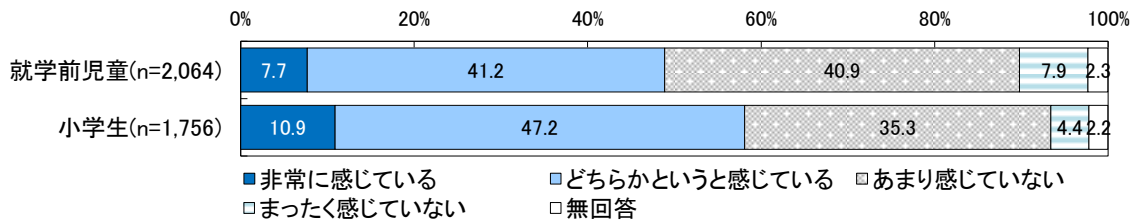
子育てに対する不安や負担の有無別にみると、不安や負担を感じる層では『深い付き合いがある』家庭の割合が低くなっている。

(16) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方

問 29 就学前児童・問 20 小学生

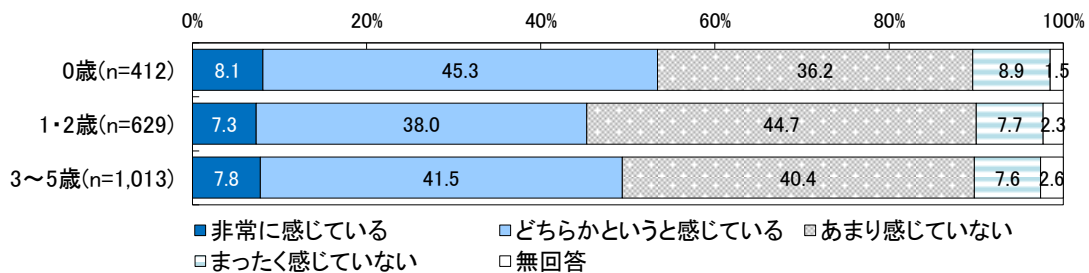
子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【〇は1つ】

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方】



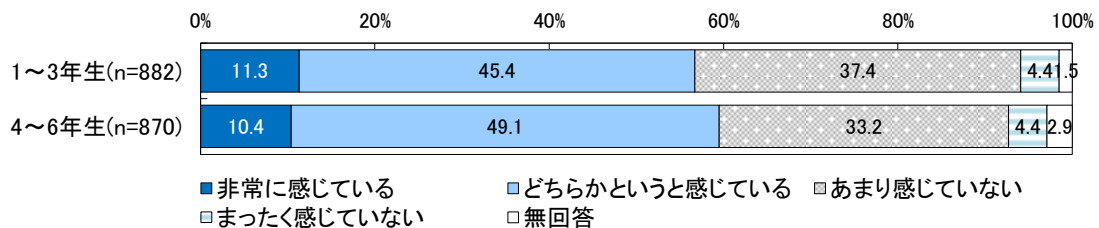
地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、『感じている』（「非常に感じている」＋「どちらかというと感じている」）と回答した割合が就学前児童で 48.9%、小学生で 58.1%、『感じていない』（「まったく感じている」＋「あまり感じている」）と回答した割合が就学前児童で 48.8%、小学生で 39.7%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（就学前児童・年齢別）】



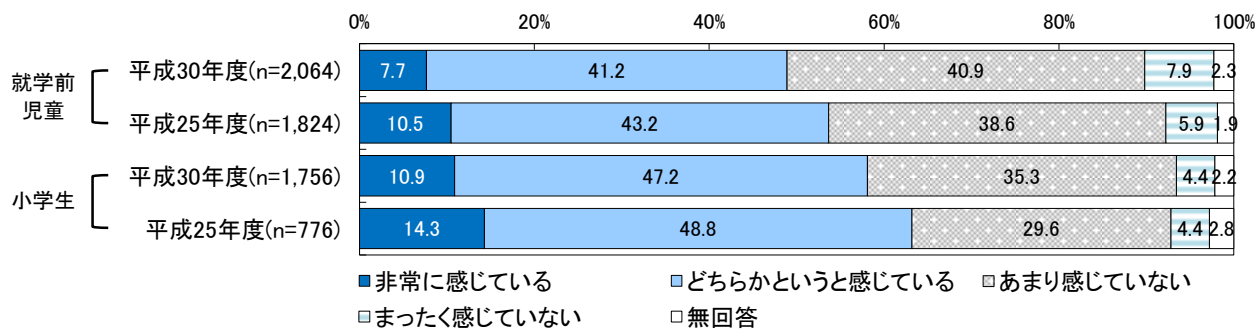
年齢別にみると、『感じている』と回答した割合は0歳で高くなっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（小学生・年齢別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（前回調査結果との比較）】



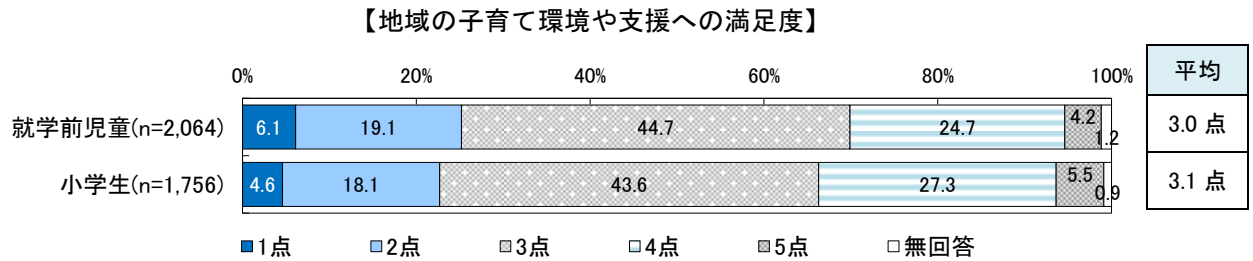
前回調査結果と比較すると、『感じている』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに低下している。



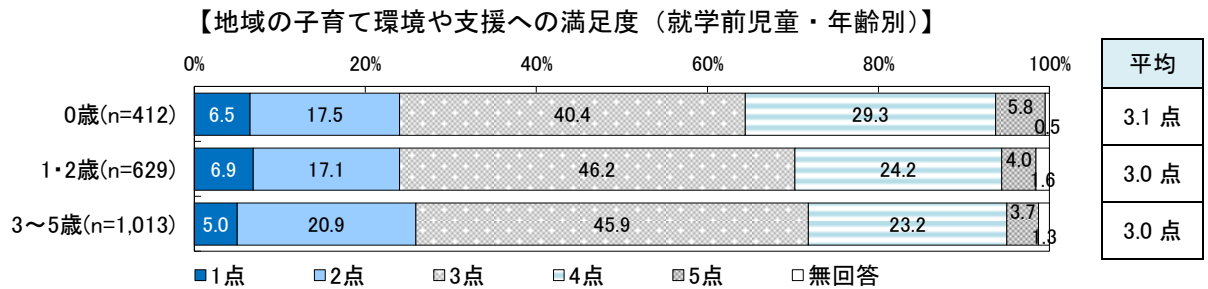
(17) 地域の子育て環境や支援への満足度

問 43 就学前児童・問 32 小学生

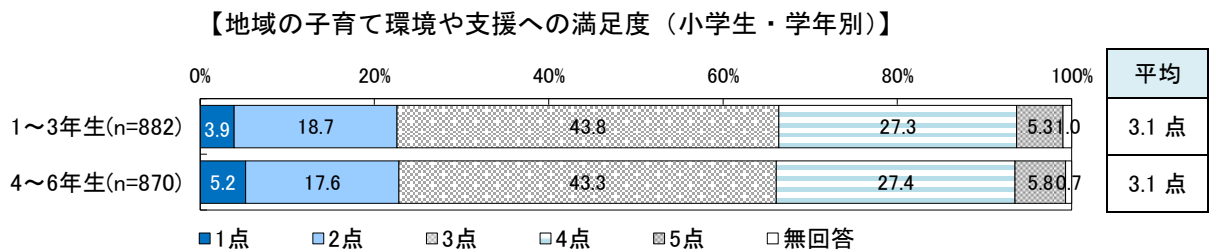
お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号を選んでください。【数字に○】



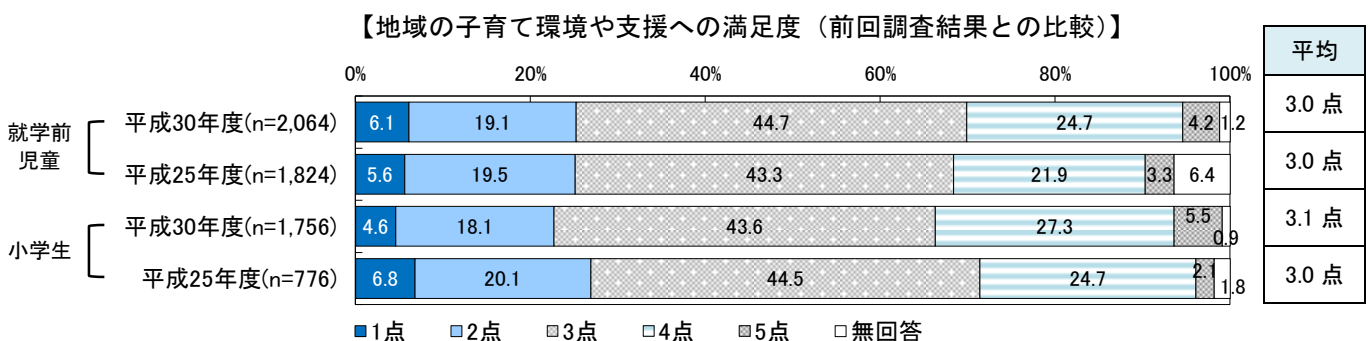
地域の子育て環境や支援への満足度について、『4点以上』の割合が就学前児童で28.9%、小学生で32.8%であり、『2点以下』の割合が就学前児童で25.2%、小学生で22.7%となっている。



年齢別にみると、大きな差はみられない。



学年別にみると、大きな差はみられない。



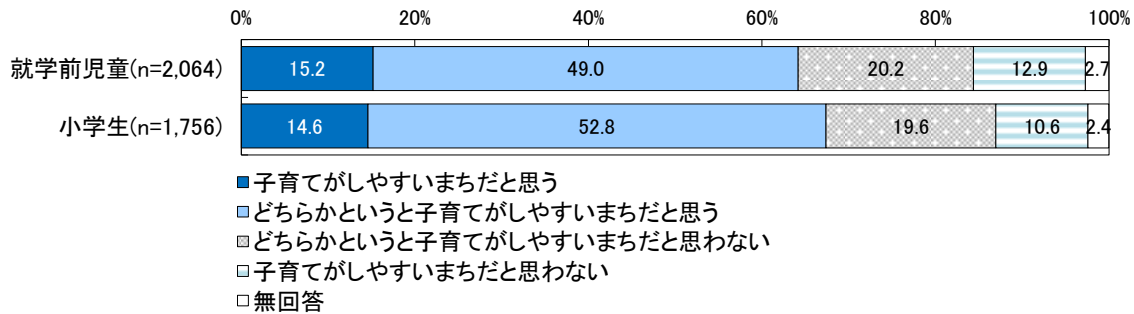
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

(18) 東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか

問 28 就学前児童・問 19 小学生

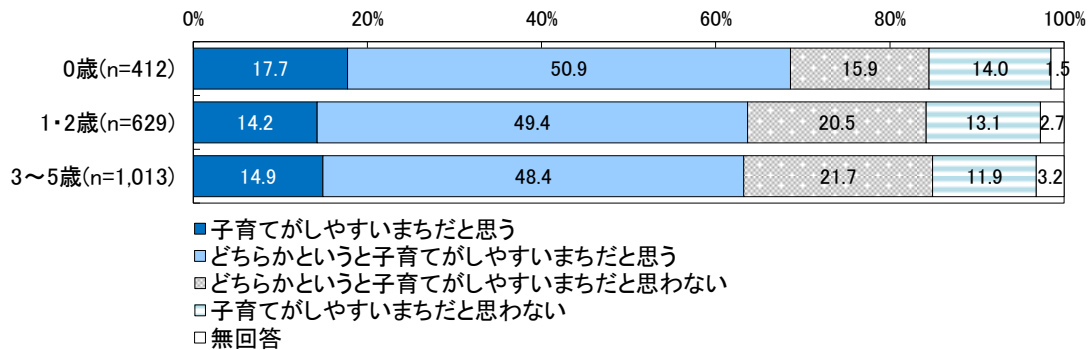
東広島市は子育てがしやすいまちと感じますか。【〇は1つ】

【東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか】



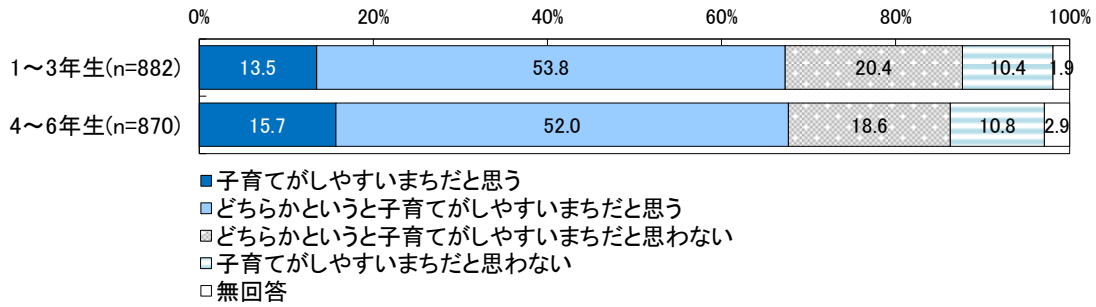
東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるかについて、『子育てがしやすいまちだと思う』（「子育てがしやすいまちだと思う」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思う」）と回答した割合が就学前児童で64.2%、小学生で67.4%、『子育てがしやすいまちだと思わない』（「子育てがしやすいまちだと思わない」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思わない」）と回答した割合が就学前児童で33.1%、小学生で30.2%となっている。

【東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか（就学前児童・年齢別）】



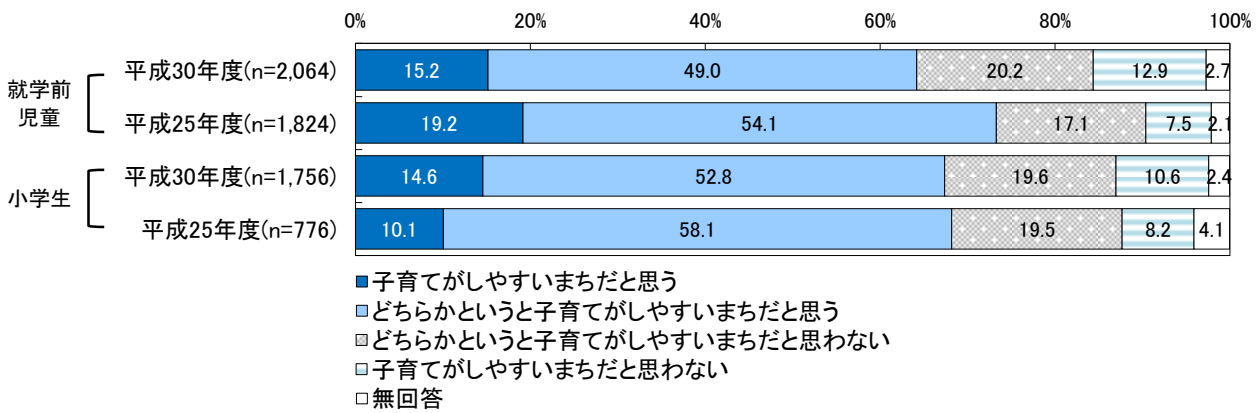
年齢別にみると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は0歳で高くなっている。

【東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

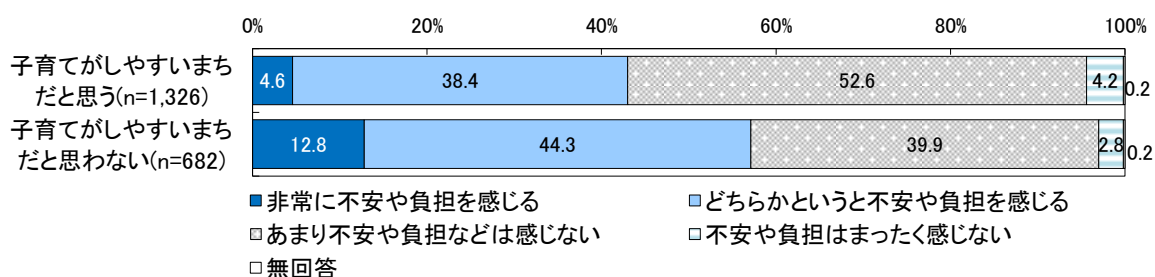
【東広島市は子育てがしやすいまちだと感じるか（前回調査結果との比較）】



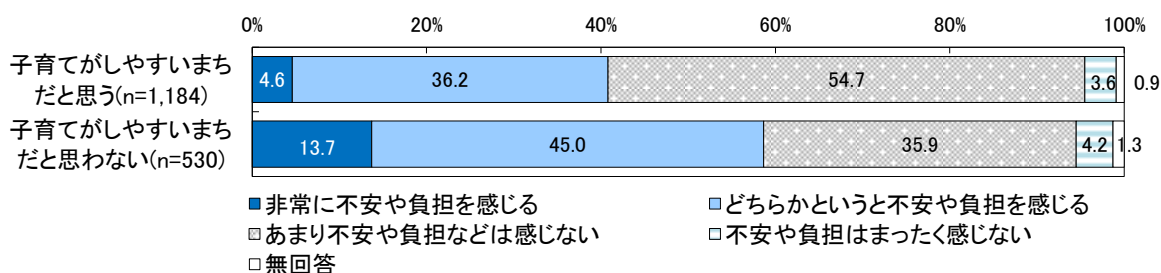
前回調査結果と比較すると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は就学前児童で低下している。

【子育てに関する不安や負担の程度（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）



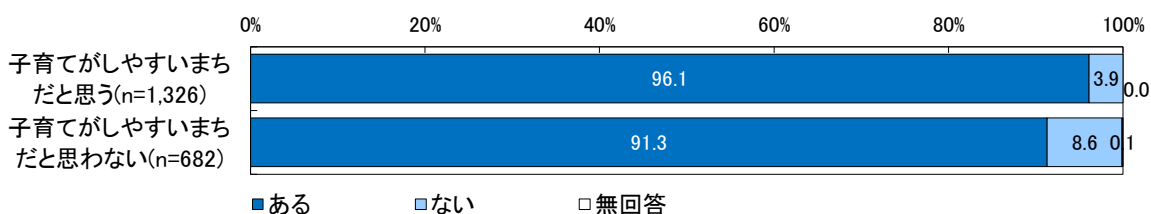
（小学生）



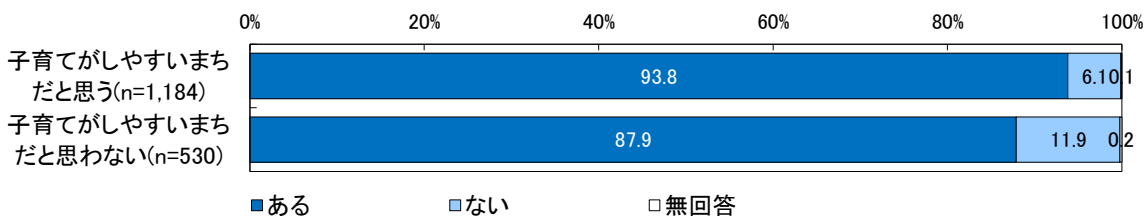
子育てに関する不安や負担の程度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『不安や負担を感じる』と回答した割合が高く、就学前児童で57.1%、小学生で58.7%となっている。

【子育てについての相談先の有無（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）



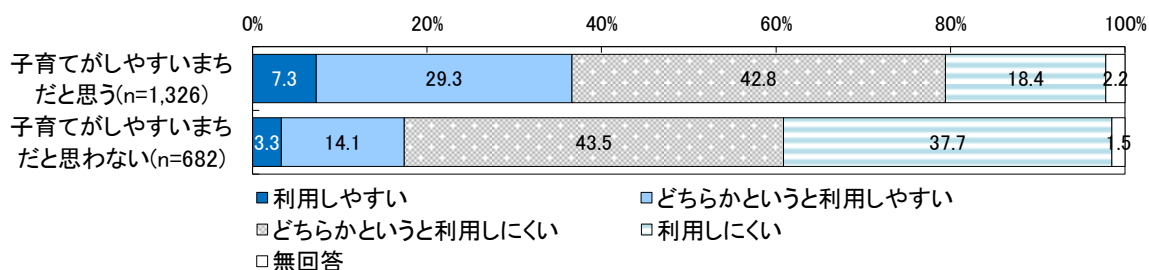
（小学生）



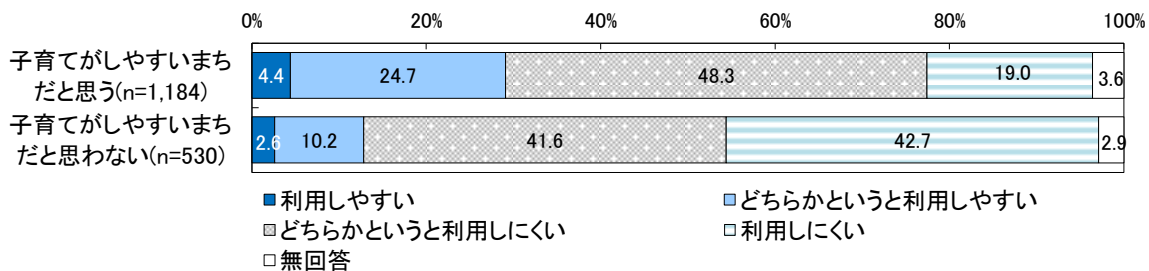
子育てについての相談先の有無について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいと思わない層では相談先が「ない」と回答した割合がやや高く、就学前児童で8.6%、小学生で11.9%となっている。

【公的な相談窓口の利用のしやすさ（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童別）



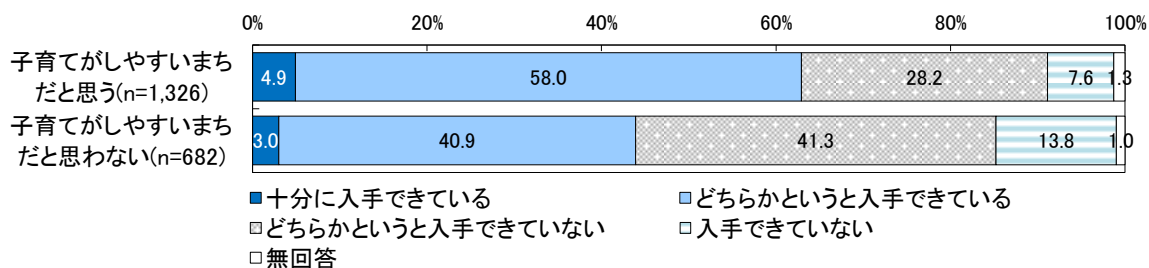
（小学生）



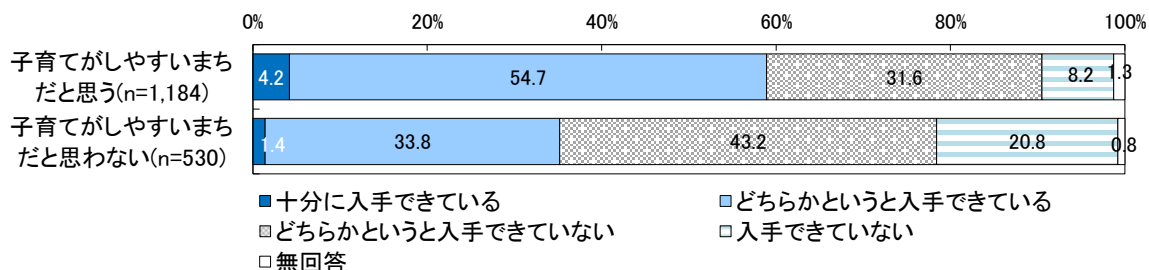
公的な相談窓口の利用のしやすさについて、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『利用しやすい』と回答した割合が低く、就学前児童で17.4%、小学生で12.8%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）



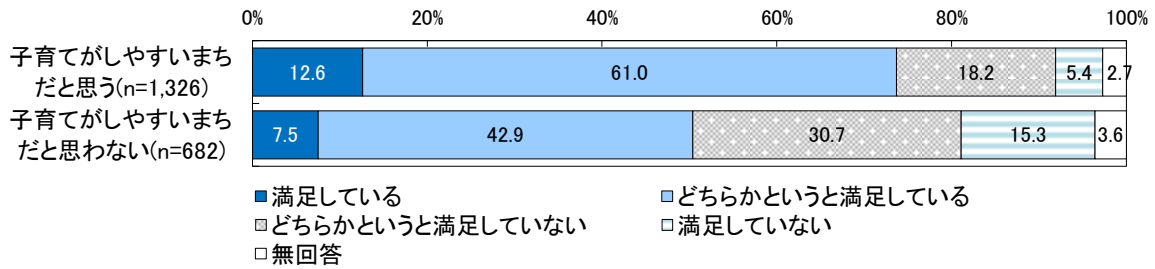
（小学生）



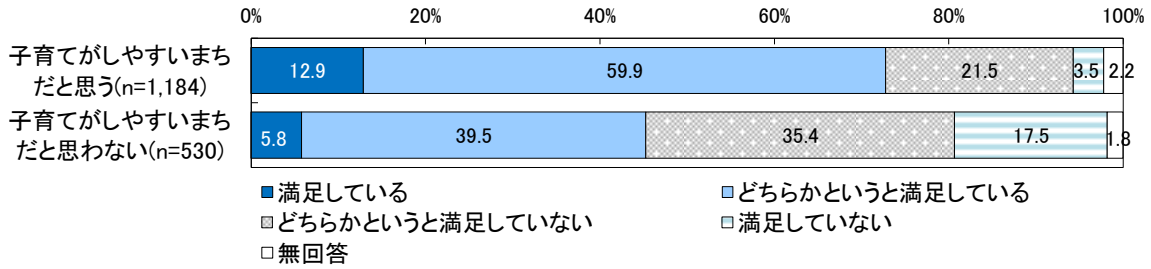
子育てに関する情報の入手状況について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『入手できている』と回答した割合が低く、就学前児童で43.9%、小学生で35.2%となっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）

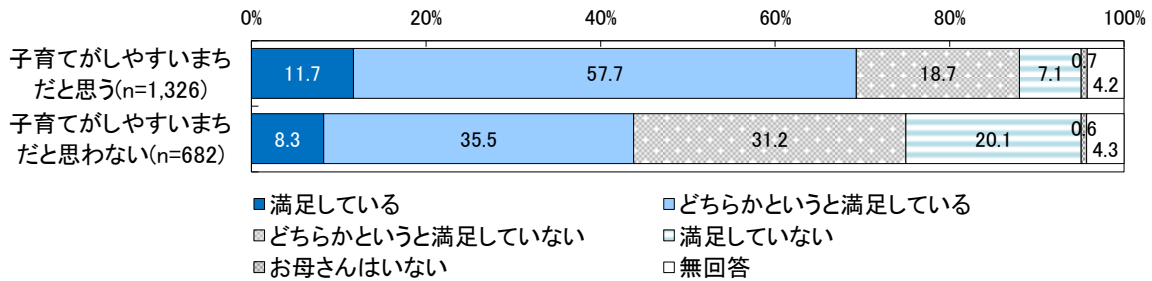


（小学生）



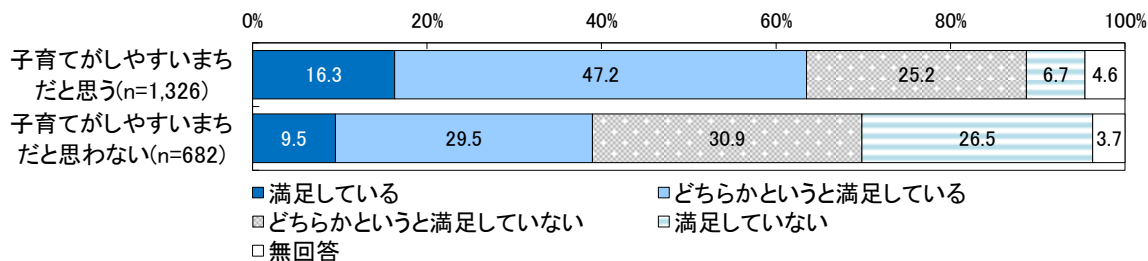
子どもの健康づくり支援の満足度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、就学前児童で50.4%、小学生で45.3%となっている。

【産前・産後の健康づくり支援の満足度（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



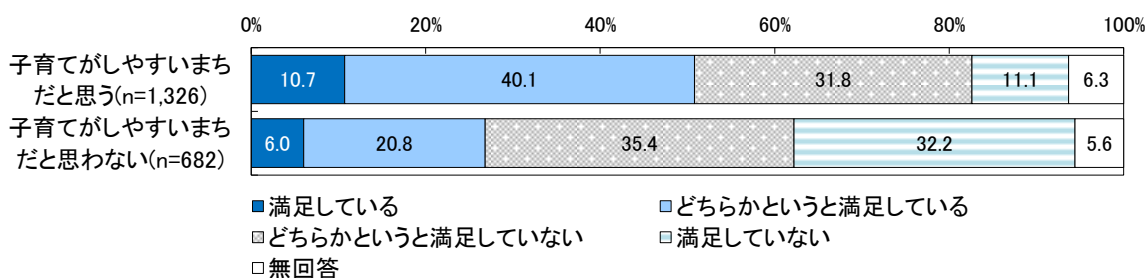
産前・産後の健康づくり支援の満足度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、43.8%となっている。

【教育・保育事業の満足度（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



教育・保育事業の満足度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、39.0%となっている。

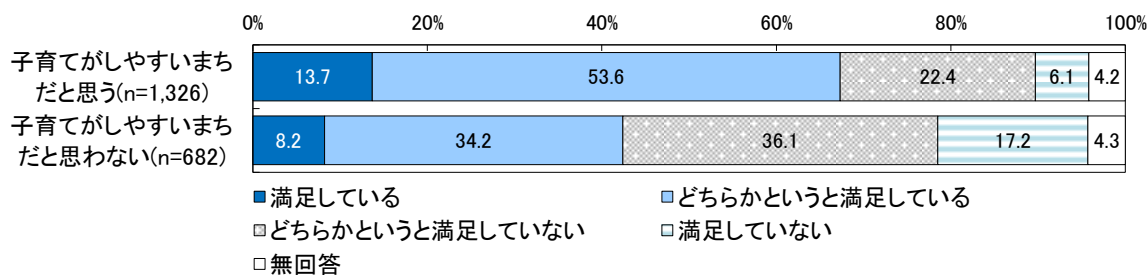
【一時的な保育を行う事業の満足度（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



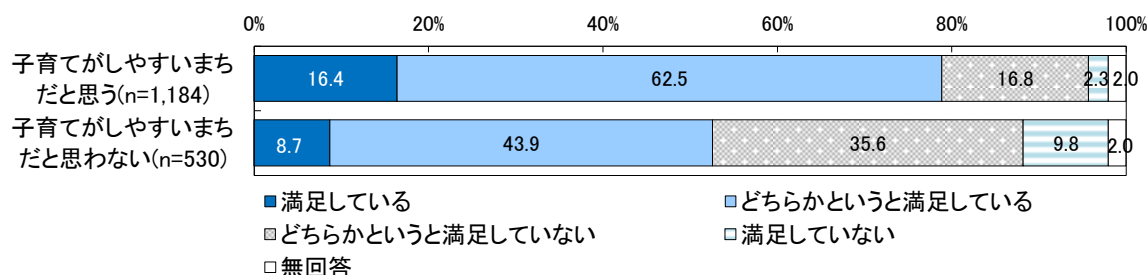
一時的な保育を行う事業の満足度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、26.8%となっている。

【子どもの地域交流や体験の満足度（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）



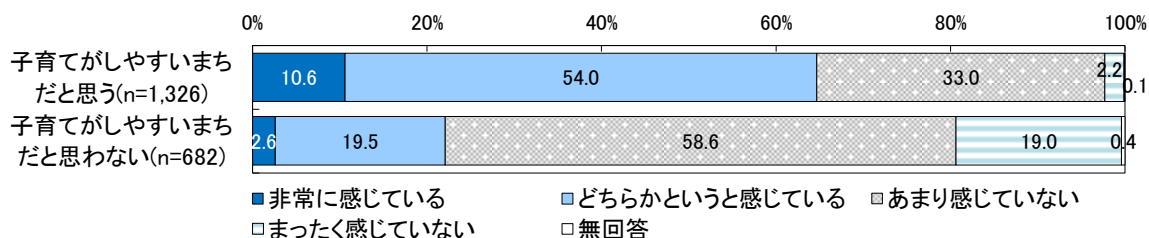
（小学生）



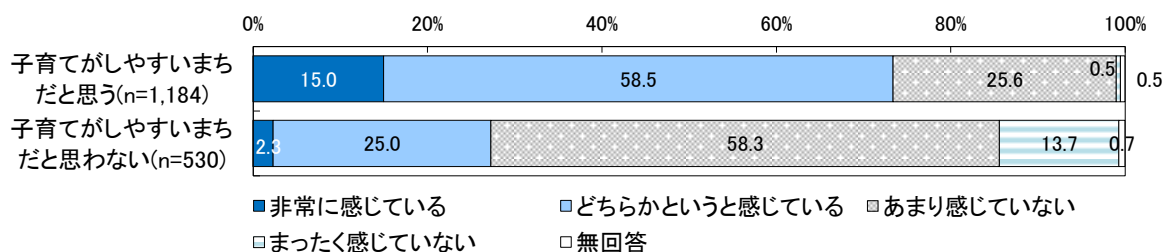
子どもの地域交流や体験の満足度について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、就学前児童で42.4%、小学生で52.6%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（子育てがしやすいまちの評価別）】

（就学前児童）



（小学生）



地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、子育てがしやすいまちの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『感じている』と回答した割合が低く、就学前児童で22.1%、小学生で27.3%となっている。